滿洲日報
九月廿四日發行
發行人 鈴木 界
編輯人 卜部 喜代治
印刷人 木村 武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

滿洲の海關封鎖
南京政府、斷行に決定
明二十五日より實施

【南京二十三日發】滿洲國は日本の承認に引續き支那に對し關稅行政上純然たる外國と看做す旨宣言を發するに至つたので南京政府は從來技術上實行困難で躊躇してゐた滿洲の海關封鎖をなすことゝなり、本日の行政院會議で滿洲海關封鎖の決議を行つた、尚在滿中國海關吏に對し現在の海關を撤去し執務を續行し得る場所に移動す可き旨訓令を發した、右海關封鎖の正式聲明は二十四日財政部からなされる筈

【南京二十三日發】本日開かれた行政院會議で東北海關封鎖斷行を決定したので、國民政府財政部長は二十四日海關布告を以て總稅務司より封鎖に關する詳細なる規定を公布し廿五日滿洲稅關の新稅實施と同時にこれを實施することに決定し外交部よりは廿四日海關布告と同時に關係各國及び國際聯盟にこと茲に至つた事情を通告することに決した

忍べるだけは忍んだ
關稅は支那本土海關で徵收
宋財政部長の聲明書

【上海廿三日發】東北海關封鎖斷行に關し本日夕財政部總長宋子文は左のステートメントを發表した

所謂滿洲國外交總長謝介石は十五日滿洲國は今後關稅、貿易、船舶、航行に就いても支那を外國として取扱ふ旨を宣し九月廿五日より支那と滿洲國間に輸出入稅を徵する旨發表せるが右に對し國民政府は財政部長に對し支那當局は當分滿洲各港にて合法的關稅をも

徵收し 得ざる爲め在滿海關を後日指示ある迄閉鎖し在滿各海關にて徵すべき關稅は臨時的に支那本土各海關にて徵收すべし

と命令した、今春日本が滿洲國の名の下に在滿各海關を奪ひ六月には大連海關を奪つた、これに對し國民政府は終始最大の寛容を示し滿洲と支那の他の部分との間に輸移出入に對し何等變更を爲さず

滿洲は支那の領土でありその人民の九十六パーセントは支那人なる爲め輿論の壓迫に拘らず滿洲に對し報復手段に出づるを差控へた、滿洲に對し報復手段を執ることはその結果が支那國民を苦しめることゝなるのみであり更に國民政府を自省せしめた他の理由は既にリツトン委員會が事態を調査中なりし爲めで國民政府は日本の挑發的行爲に拘らず聯盟の日支間に發生せる事態を惡化に導く手段を避くべしとの勸告に從ふに努めたのである

日本は 滿洲國外交總長の名を藉り凡ゆる國際條約協定經濟法則を無視して滿洲と支那本土間に關稅障壁を設け滿洲を分離した、九月十六日所謂滿洲國外交次長大橋忠一は滿洲國承認國以外には門戶開放せぬ旨宣し滿洲は支那にも鎖されて了つた

國民政府はこの未曾有の挑戰に拘らず何等報復手段に出でず單に滿洲關稅を滿洲外の支那海關で出來るだけ徵收する手段を執るに止めた、支那は滿洲に對しその住民數の點より云ふも多大の利害あり又投資に於ても日本より格段的に大である

貿易上の打擊輕微
支那の現在としては
大體穩和な方法か

南京政府は滿洲國內に於ける支那海關の徵稅機能が消滅したるを以て別項の如く滿洲國內の支那海關を封鎖し支那開港に於ける海關にて徵稅する旨の聲明を發するに至つた、卽ち南京政府が滿洲國の獨立を承認せざる以上且つ又滿洲國內に於ける支那海關の機能が消滅したる以上

當然 右の手段に出でゝ來るであらうことは豫め想像された所であつて滿洲國の對支貿易に及ぼす影響が甚大であるにせよ既に滿洲國が完全に獨立した以上は已むを得ないものであるとせねばならぬ、貿易業者としては輸出稅(若しくは輸入稅)の上に更に轉口稅を支那海關に於て徵收されることは二重課稅以上の打擊を免れぬが萬一支那側にして滿洲國承認の曉に於ては轉口稅の代りに輸出稅若しくは輸入稅を支那海關に於て課稅されることになるからその見地からすれば未だ打擊は幾分

輕微 であり支那側としては滿洲國の承認を排擊してゐる關係から大體穩和な方法に出でたものと解される、卽ち滿洲國に對する支那側の執るべき關稅方策としては大體三つの手段が豫想された卽ち

第一は今回の聲明に於けるが如く滿洲國內で徵收する代りに支那各港の海關で轉口稅を課することで最も穩和な方法

第二は滿洲國を承認せざる立前から何處の國とは判らぬが兎に角外國から來た貨物として輸入稅を課すること

第三は海關の正式手續きを經ぬ違法行爲として

貨物 沒收の擧に出る最惡の大義的手段である、然しながら日本が認めて正當とするものに對して沒收の擧に出るが如きは瞭かに日本に對する挑戰であるからかゝる最惡の手段は容易に執り得ないであらう、要するに今回の滿洲海關の封鎖による支那側の轉口稅徵收は已むを得ないものであらう

滿鐵後任二理事決定
山崎元幹氏と河本大佐

【東京廿四日發】滿鐵理事後任は軍部より河本大作大佐、社員より山崎元幹氏と決定した

【東京二十四日發】林滿鐵總裁は廿四日午前十時十五分官邸に柴田翰長を訪ひ河本大佐、山崎元幹兩氏の理事任命に就き打合せした(寫眞は山崎元幹氏)

滿鐵の新記錄
山崎氏の鮮かな昇進

山崎總務部次長が、一躍理事に決定したとの東京電報は土曜日の滿鐵本社を驚かした、もちろん氏の拔擢說はこの夏から度々噂へられたところだが、社內からのたゞ一人の理事として選ばれやうなどゝは豫想した人がない、そこでこの噂が社內を驚かしたわけだ

◇

山崎さんは明治二十二年生れだから數へ年四十四歲、大正五年の東大政治科出だから入社以來十五年、それで理事といへばそのスピードは鮮かな滿鐵記錄だ、總務部交涉局第一課をふり出しに社長室外事課、文書課、參事など最初から滿鐵の政策的方面を擔當したたゞさが道中雙六の「上り」を早めたゆえんか、大正十四年には撫順炭礦參事に出て同年同所庶務課長となり昭和二年再び本社にもどつて文書課長に、五年は交涉部涉外課長に、昨年夏總務部次長になつたばかり

◇

全く萬年主任や、萬年課長などの多い滿鐵で、山崎さんほどにまるで梯子段を驅足で登るやうに昇進して行つた人は類がない、かゝる出世男には得て羨望から來る誹謗が付物であるが山崎さんにはにそれがない、それがこの人の人德でありこの人德が逆にいよく出世雙六をスピーデイにしたことになる

◇

といつて、上役の襟元につく諂ひでなく、むしろ反對に、正しいと信ずれば上役と正面衝突をも辭せぬ意氣がある(大平副總裁との間の事件などはあまりに社內に有名だ)純理的であくまで公正な立場を固守するが、情熱的な人懷しさに富む、そんな色々の長所が社內で推重され、歷代の總裁も自然重用するに至つた

◇

「適任だ」──それが社內の一致した批評だ、しかし、今の若さで重役となり僅か一期四箇年で滿鐵を去られねばならぬとすれば惜しい人で、むしろ今少し次長として鍛きたいといふ社員も多い、とにかく若し山崎理事が實現したら社員出身理事中にも、こんな若い有爲な人物が居ると滿鐵は誇つてもよからう

頭から『噓だ』
理事任命の報を齎し 山崎次長と一問一答

理事任命の報を齎して山崎次長を訪へば頭から「噓だよ」と否定しつゝ語る

問 東京から何とかいつて來ませんか

答 何にも話はない 交涉もなかつたですからね、それもない、もし任命されるとすれば豫め何とか話がありさうだと思ふがね

問 もう押し詰つてゐるから虛報とは思へませんがね

答 そうだね、だが人事は愈々にならねとね

問 任命の電報が來たら、むろん就任でせう

答 未來の事は何ともいへぬ、しかしこの椅子の方がいゝね と座りなれた總務部次長の椅子を撫でた

滿鐵航空問題打合

梗橋滿鐵技術局次長は廿四日午前十時から次長室に岡村、野中兩審查役、由利庶務課長等を招集、航空問題について打合せを遂げた

農業保險法案 通常議會提出

【東京二十四日發】農業保險制度は夙にその必要を高唱され議會毎にその提案を云々されてゐたが農林省では調査研究を終り既に成案を得過般の臨時議會に提案の豫定であつたが同議會は時局匡救議會であり緊急案の速かなる審議を行ふ爲め提案を見合せたが一日も早く農業保險制度の確立を期する必要あるので愈々來る通常議會に提案することに決定した

靈元天皇二百年 式年祭の御儀
けふ宮中と御陵で

【東京二十四日發】人皇第百十二代靈元天皇崩御ましましてより本年は二百年、二十四日はその御命日に當るので宮中皇靈殿並に京都月輪の御陵に於て式年祭が行はれた、皇靈殿に於ては午前九時五十分より秩父宮殿下はじめ各皇族方御參列一木宮相以下宮內勅奏任官總代各一人何れも大禮服又は正裝で參列九條掌典長以下掌典部員奉仕して御祭典を行ひ同十時天皇陛下には御東帶黃櫨染御袍にて御拜遊ばされ皇后陛下には御代拜として油小路女官を御差遣遊ばされた、一方山陵に於ては渡部諸陵頭以下參列の上御祭典を執行畏き邊よりは勅使として掌典小出英延子が參向御代拜を奉仕した

支那の審議促進案
討議は後廻し
開會した聯盟理事會

【ジユネーヴ二十三日發】六十八回聯盟理事會は二十三日午前十一時よりヴアレラ(愛蘭自由國首相)氏議長となり開會秘密會に入り事務的議事を上程し散會す

【ジユネーヴ二十三日發】第六十八回聯盟理事會は二十三日午前十一時半アイルランド自由國代表首相デバレラ氏司會の下に非公開で開會二十三日の議題には滿洲問題に關する支那代表部の審議促進案が上程されてゐないが右事態に對し支那代表顏惠慶氏は會議席上不滿の意を表明何故に支那代表部の提訴が最終議題となつてゐるかと說明を要求これに對し議長はリツトン報告書は到着したばかりで未だ理事會提出準備整はざること、支那代表部の提訴が審議される場合は報告書の公表後六週間の檢討期間を經た後日本政府の意見書と併せ審議すべき旨の日本代表部の要請も同時に討議さるべき旨言明した、理事會は更にパラグワイ、ボリビヤ兩國の境域に關する紛議解決のため三名より成る特別委員會を任命した次いでノールウエイ代表ハンブルー氏は聯盟各國の聯盟分擔金滯納の事實を指摘し斯る事態が改善されぬ以上來年度に於て聯盟は財政上重大危機に直面すべきを強調した最後に理事會は支那教育實情調査委員會の報告を審議し採擇したが右審議に當り顏代表は調査委員會の勞を謝し左の如く述べた

該委員會が異常な困難を克復して調査事業を完成された事は南京政府の滿足に堪へぬ所だ余は報告書の勸告に悉く同意する者ではないが調査團の努力は至高の讚辭に値する東洋と西洋との教育思想を打つて一丸となせば教育上最善の結果を擧げることは余の確信する所だ

斯くて理事會第一日は散會二十四日午前十一時より續會する

昭和製鋼所本位に
鞍山製鐵所を合流
製鋼所案最後的決定

昭和製鋼所は二十四日重役會議を開き最終的決定をなす筈であつたが、旣に前二回の會議で事實上本極りを見てゐるのでこれをもつて最終案として二十六日伍堂理事と斯波顧問が

上京 の途に就くことゝなつた、しかして案の大要は昨報の通りであるが、この決定を見るまでには

一、昭和製鋼所を解消して鞍山製鐵所內で滿鐵が製鋼する案

二、昭和製鋼所を本位に、滿鐵が鞍山製鐵所を切離してこれに合流し銑鋼ともに昭和製鋼所で製造する案

の二案があつたが、結局經濟的に經營し且つ內地製鋼業者の資本も參加せしむる意味から第二案に決定したものゝごとくである、しかして現在の鞍山製鐵所はさきに原價償却を行つたので現在の評價額は約三千萬圓で實價に近く

滿鐵 はこれを新に投下資本の內に數へその他現有の機械その他と共に資本金一億圓、半額拂込みの會社として明春より事業に着手する段取りとなる模樣であるしかして工場が鞍山に決した結果新義州に設置せんとした際のごとく六千萬圓の巨資を投ずる必要なく、製鋼所だけでは半額三千萬圓以下で足る筈である、しかも製品をシート、バーに限定した結果現在の機械でほゞ十分であるから今後實際に支出する額は比較的小額で濟み第一年度たる八年度にも三百萬圓程度を計上してゐるものゝごとくである

佛、態度豹變
ボ代表の發言で裏書

英紙の報道

【ロンドン二十二日發】英國自由黨機關紙ニユースクロニクルのジユネーヴ通信員は滿洲國に對する聯盟の態度に就き左の如く論じてゐる

滿洲國から聯盟に送つた通牒の寫は聯盟加入國に配布し得ない狀態にある、右は聯盟が滿洲國の存在を認めてゐないからである、依つてこの際滿洲國は先づ日本斡旋の下に聯盟の一員たることを願出づるにある、これに對する聯盟の回答こそ滿洲國の獨立自主權要求に對する絕對最後的試金石であらう

【ジユネーヴ廿三日發】フランスの態度豹變しつゝあるとの報道傳へらるゝ折柄理事會の佛代表ボンクール陸相が廿三日の理事會席上南米ボリヴイア、パラグアイ兩國間の紛爭に關し發言し左の如く言及せるは右噂を或程度裏書きさせるものとして注目さる

聯盟規約に依り結ばるゝ二國家間に紛爭起る時は假令夫れが世界の如何なる部分に發生するも夫れは聯盟を無視したもので聯盟にとり一つの敗北である

【ジユネーヴ二十三日發】長岡代表は本日ボンクール氏を訪ひフランスの對滿洲問題政策に就き質したるにボンクール氏は

余は未だ報告書を見てゐないが佛國の政策は日本の合法的なる權利の限界に於て日本を支持するであらう

と答へた、尚フランスはアメリカと共同步調を執ることには愼重な態度を持し未だワシントン、パリー間に何等正式取極めは出來てゐない

西山政猪氏 けふ來滿

滿洲國政府に聘され文教部總務司長に就任の前文部省宗教局長西山政猪氏は二十四日入港うすりい丸にて來連船中語る

滿洲には南支北支の視察の歸路寄つたことがあると云つても大正九年頃の話だから隨分古いものだ、今回は總務司長とか云ふ仕事だそうだが仕事に對しては全くの白紙で今後滿洲國の教育統制などに關してもよく實地につき勉強した上でなくては意見は述べられない何分この教育と云ふものは御承知か知らぬが國民精神の糧でまづこの方面からグンく仕事をして行くのが本當だと信ずる、大連には一日居つて明日の朝北行赴任の豫定だ滿洲には澤山の友人先輩が居るからこの人達によく事情を聽くことが最も肝要だ、教科書の問題や、學校系統の組織や教材の問題等はすべて赴任後の問題である、重ねて云ふが總てに對して白紙である

中野正剛氏

來長中の中野正剛氏は二十四日正午滿洲國鄭國務總理以下各部總長の招宴に臨み夜は最高法院長林棨氏の招待を受け二十五日午前八時半發急行で南下奉天に一泊の上二十六日午後一時二十七分發急行で赴連同日午後八時大連着の豫定(新京電話)

ばいかる丸船客

【門司特電二十四日發】二十六日大連入港豫定のばいかる丸主なる船客諸氏

永井中尉、成田勉、西田善藏

徵發された 永利號歸る

山東の危機と共に軍需品輸送の爲め支那汽船新利號、同順號と共に劉珍年軍に徵發された政記公司所有永利號(船長湊川茂吉氏)はこの程解放され廿四日午前入港した湊川船長の語るところによると目下戰線はかなり遠く濰縣を中心としてゐる關係で芝罘龍口一帶は割合平靜で僅かに劉軍一味の家族連が避難準備をしてゐる位だ、本船は芝罘に廿日に入港したところ政記公司の出張所より劉軍に徵發されてパン粉八千袋と鐵條網五百卷を積んで濰縣に最も近き萊州府灣內の海廟後に向つて出帆した、幸ひ兵士は僅三名で案外おとなしかつた一方源順號も同樣食糧を滿載して行つた、本船は一航海のみ徵發されたが他船はまだ輸送に從事してゐる模樣だつた、廿三日やつと芝罘に歸りすぐ煩らはしい問題の起きないうちに來航した

劉の家族避難

芝罘一帶殊に劉珍年軍一味の家族連は劉軍の不利を見越してすこぶる動搖してゐるが廿三日午後芝罘より入港した永利號がもたらすところによると目下芝罘天津間の各船舶はこれ等避難家族が家財と共に續々登載して物々しい光景を呈し

人事

▲本庄廉三氏(陸軍豫備少將)廿四日午前九時發北行
▲鎌田正曜氏(奉天驛長)廿四日午前八時着來連
▲入江正太郞氏(滿電專務)二十四日午前九時發急行にて北行
▲石橋米一氏(滿電常務)同上
▲西山政猪氏(新任滿洲國文教部總務司長)廿四日入港うすりい丸にて來連
▲西一雄氏(橫濱正金銀行大連支店長)同上
▲櫻井養秀氏(川崎飛行機製作所員)同上
▲岡田源太郞氏(內外棉重役)同上
▲淺野金兵郞氏(長崎高商教授)同上
▲木村正道氏(滿鐵社員)同上
▲住友信太郞氏(前本庄中將副官)同上
▲滿洲特產協會總會出席者一行廿五名 同上
▲滿洲派遣兒童使節一行 同上
▲高須一雄氏(大每大連支局員)廿四日出帆香港丸にて內地へ
▲江口親憲氏(前關東廳商工課長)拓務省に轉任挨拶のため二十四日市內各方面を歷訪

蛇角

◇ リツトン報告內覽の印象は、結局「認識不足」の四字に盡く。

◇ 御託宣にいはく?「滿洲國は當然解消すべきものなり」と、邪山がちやいけない。

◇ 双方の顏を立てるつもりで双方の顏を潰す、リツトン報告の不評知るべきのみ。

◇ 但し、歷史を覆へし、若くは地球運轉休止の方法あらば、また何をか況んや。

◇ 宋子文の言分によれば支那ひとりが「最も忠實なる國際條約の遵奉者」に見える。

◇ 馬鹿も休みくいふべし。滿洲事變はどうして起つた。

◇ 內地全國選拔の爆彈使節來る、ようこそ、ようこそ。

滿蒙の戰慄 (108)
直木三十五作 淺枝次朗畫

闘爭(二ノ五)

「よしつ」

と、上東が叫んだ。何の爲めによし、と云つたのか、誰に、そう叫んだのか、わからなかつたが、上東は、部屋の中を、一走りに、裏手へ走り出ると

「さ、來い」

と、叫んだ。蒼白な顏をして、眼は、もう人間の眼でなく、猛獸のやうに、凄い光を放つてゐた。

土匪は、そんな聲に、そんな眼に、何の恐れもなく、機關銃の口が、前へ向いたのを見ると、また立上つて、走り出した。と見るゝすぐ、機關銃が、又唸り出した。土匪は、周章てゝ、しやがんでしまつた。

道木の隊は、戰ひの最中らしく遙かから、銃聲が、ひつきりなしに、響いてきてゐた。

だ、だ、だあーん

土匪の方に、銃が響くと、うわーつといふ叫びが、又あがつた。だが、それを壓して、鋭い、彈の音が、ぱ、ぱ、ぱと、鳴り出した。

だが、上東は前の敵の近づいてくるのに、もう、その方の戰ひを見てゐる餘裕は無くなつてしまつてゐた。

「連絡の、ちやんころ、何うしたかな」

と誰かゞ、叫んでゐるのが、聞へた。上東は

(早く、援兵が來なけりや、全滅だ。己は、死んでもいゝが、あの人のいゝ兵を殺してはならない)

そう思ひつゝ

「くそつ」

と、叫ぶと、一人の土匪へ、覘ひをつけて、だあ——んと、放つた。だが、當らぬらしく、何か叫びつゝ、一人は、もう、河の中へ入つて、手を上げて、槍を振りつゝ、後方へ、合圖をした。

(淺い、と云つてやがるんだな)

そう思ふと、上東は

(渡られたら、おしまひだ)

と、感じた。水の中に、よろくと、步んでゐる一人に、十分覘ひをつけて

だあーん

土匪は、よろめいて、水の中へ斃れると、すぐ、手を振りつゝ—又斃れて、立上つて斃れて——それを見て、二人の土匪が、堤から走り下りて、川の中へ、飛び込むと共に、一人は、泥に足をとられたらしく、前へのめつて、水を、はね上げた。

だあーん

二發目の彈が、一人の肩へ、當つたらしく、肩を押へると、川の中へ、しやがんで、首だけ出しながら、堤の方へ退きかけた。殘つた四人が、一齊に、河の中へ、入つて、水を蹴りつゝ、近づいてきた。

(もう駄目だ)

人を射ても、三人は、堤を上るにちがひないと、思ふと、上東は銃をもつて、堤の所へ、走り出して行つた。土匪は、それを見ると水を亂しつゝ、槍をもつて、飛上るやうに、走り出した。

だあ——ん

一人が仰向きに、水の中へ斃れて、そのまゝ起上らなかつた。だが、殘りの三人は、上東の前へ、黃色い齒を剝出して、何か呼びつゝ、槍を構へて近づいてきた。

「來い、畜生ッ」

上東は、銃を、もつた。そして土堤へ、一番に登らうとする一人の槍を、力任せに、拂つた槍が折れる、穗先が、とんだ。だが、次の敵の槍が、脚のところへ閃いてきた。

日滿兩國旗を翳して
けさ元氣で上陸
訪滿學童使節の一行

ようこそ！いらつしやい！全國聯合教員會並に大每東日主催訪滿學童使節一行十五名は大每經濟部長西村眞琴博士外三名附添の下に滿洲國建國の祝意と正式承認と共に日滿親善の重大使命を双肩に擔ひつゝけふ二十四日午前七時大連入港のうすりい丸にて恙なく來連したが先發員横川麹町小學校長を始め岡野市長代理有賀學務課長その他在連教育界の人々や在連學童代表の日本橋小學校土佐町公學堂生徒等多數の出迎へを受け日滿國旗を打ち振り／＼賑々しくその目的地に可愛らしい第一歩を印した

この日夜來の雨は次第に晴れて清々しい秋の姿に彩られた大連の全景が港外の船中より眺めた學童使節一行の心は既に躍り、デツキに並んで日滿兩國旗を手に手に打ち振る無邪氣さである、連鎖の絆いと強く日滿融和の實を結ばんとする

可愛 い使節は皆揃ひの紺と白の學童服で胸に日滿兩國旗を配したマークを附して重き使命を擔いその双肩に擔ふてゐる姿は愛ほしい、やがて埠頭壁に着くや日本橋小學校並に土佐町公學堂等の新らしい友達や在連知名士等多數出迎人の打ち振る日滿兩國旗の旗のトンネルをくゞり埠頭待合所に入り本社佐賀營業局長の紹介にて岡野市長代理並に在連小學兒童を代表する越智日本橋小學校長の無事來連の祝辭を受け一行を代表して西村博士の答辭と共に在連學童の合唱する學童使節歡迎歌に

歩調 勇ましく午前八時滿洲文化協會の中滿氏並に本社高橋事業部長等の案內にて自動車を連ね大連神社に詣で一行を代表して札幌代表山口豐君及び廣島代表小島君子孃は玉串を奉奠、次いで午前八時半忠靈塔に參拜滿蒙に犧牲の血を流した勇士の靈を弔ひ同じく一行を代表して北陸代表荒川宏君及び關根洒子孃が玉串を奉奠したが忠靈塔下に起つて全市街を眺め嬉しい學童使節は嬉々としてまるで繪の様だと嬉しがつてゐた、かくて午前九時大連市役所に小川市長を訪ふ、二階應接間にて市長に面接した學童使節は快活に然も明瞭に自己

紹介 をなし次いで東京江東小學校高野道雄氏は日本全國六百萬の日本少年少女諸君の聲におくられて遙々こゝに日滿親善の重大使命をおびて來りまして只今その玄關の大連に着きました、私達の使命は數々ありますが、滿洲の少年少女諸君としつかり手を握つて將來を共に親しくお交ひして行きたいと思ふのであります、何卒私達のために御力添へ下さい

と述べ名古屋露橋小學校小栗房子さんは女生徒を代表し可憐な彼女は

うすりい丸と云ふ大きな船でけふ到着しました、埠頭に大勢の皆樣方が私達をあんなに盛大によく來た／＼とお迎へ下さつて本當に／＼涙が出る程嬉しく胸がわく／＼致しました、大連は立派な街と聞いて來ましたが實際來て見て本當に想像以上に美くしいのに吃驚りしました、私達は滿洲の方々と仲よくなりたいと思ひますが初めは一寸恥かしくてもすぐ仲よくなれると思ひます、また私達の爲めに働いて下さつた兵隊さん達にも御禮が申上げたいと思ひます、何卒皆樣方の御力で達はして下さい

と挨拶し列するものをホロリとさせた、次いで小川市長も使節一行の

使命 の重きを謝しその勞を犒つたが、引續き民政署に訪問大內署長に面會同様の挨拶をなした

滿鐵本社を訪問
八田副總裁に挨拶

學童使節一行は午前九時半滿鐵に八田副總裁を訪ふて九州代表山口文二君東京代表藤の木清子孃は一行を代表して訪滿の挨拶を述べ「お父樣方の汽車で滿洲のお友達に逢はせて下さい」と無邪氣な處を見せたが八田副總裁は

わざ／＼御禮れ下さつて感謝します、滿洲をよく聞える耳で聞き、よく見える目でよく見ていらつしやい、これから日滿兩國は大人だけでなく皆さん達少年少女も一緒に滿洲國をお手助けして行かねばなりませんこれから日滿關係に最も强き印象を殘こして來て下さい

と少年少女使節を勵ました次いで本社を來訪した一行は仙臺代表松岡達君大阪代表西尾幸代孃より松山本社長に挨拶し松山社長は快活で明瞭な使節一行に讚辭を述べその使命の無事にはたされん事を祈つた、引續き埠頭に出迎へを受けた土佐町公學堂及日本橋小學校等を訪問謝意を表したが到る處で日滿學童融和の實を示して交驩をなし正午大連新聞主催招待宴に列席登瀛閣に赴いた

全滿各地で一齊に
承認慶祝大會
重陽節を期して開催
國家精神振興

永年の暴政より脫し、三千萬民衆の翹望を荷なつて三月九日つひに獨立して滿洲國の成立を見て以來半ケ年、治安維持、內政の整理等政府當局の辛苦の結果九月十五日友邦日本の獨立承認をなり、いよ／＼完全なる獨立國としての第一歩を踏み出した滿洲國政府では各方面からの希望もあり、兼ねてこれが慶賀の方法につき具體的案の研究中であつたが、斬同の打合せもすみ、國務院會議の決議も得たのでいよ／＼大同元年十月八日、陰曆九月九日の重陽節を期して新京は新京特別區市政公處主催でりその他奉天、ハルビン、チチハル、錦州、安東、營口、吉林等全滿一齊に日本よりの承認を慶祝し又三千萬民衆の國家精神の作興並びに列國の承認促進の意味を兼ね大々的に承認慶祝大會を開催することになつた

尚これが中央準備委員會をつくり委員長趙實業部總長、委員鮑新京市長、史新京總商會々長、董同副會長、朱外交部總務司長、川崎同實業司長、黃同地方司長、中野民政部總務司長、黃同地方司長、上村文教部總務司長、白濱國務院總務廳長、皆川秘書長等をあげ又各地方には地方別に地方委員をあげて當日の催し物の準備に當る筈であるが新京では主として全市長がこれに當り目下諸般の準備を進めてゐる、また文教部又は民政部よりは各地方に對しそれ／＼準備方の命令を出し、中央委員會よりは通告を發しこれが開催方につき注意、意見を述べる所あつた

當日は全滿各學官署は一齊に休業し祝意を表する筈である、新京では滿洲國首都のこと〻てその盛大さも思ひやられるが行事としては各學校官署では先づ祝辭、國旗敬禮、執政教書朗讀、國務總理訓諭朗讀等あり終つて旗行列に移りその他芝居、高脚踊り等の餘興あり全市民をあげてこれを慶賀する筈である【新京電話】

國旗を授與
結團式
忠靈塔健兒團

大連市忠靈塔健兒團は今回名譽團長に邊見勇彦氏を團長に下島元次郎氏を推戴し二十五日午前六時より忠靈塔前にて華々しく結團式並びに小川市長よりの團旗授與式を擧行することゝなつた、なほ當日午後三時よりは忠靈塔休憩室に於て少年團日本聯盟理事三島通陽子の講話が行はれるはずである

昨夜立山で
匪賊擊退
三方から來襲

二十三日午後七時五十分頃立山附屬地の東南北の三方より約百五十名の匪賊來襲し驛舍及び附近建物を目がけて亂射し來つたので驛守備兵及び警官派出所員はこれに應戰した、急報に接し鞍山守備隊塚本中尉の一隊と井上、貴志警部補の率ゐる警官隊及び鐵谷消防隊が鞍山驛待機列車にて出動又首山驛よりも岡村中尉の一隊が直に出動し猛烈な銃砲擊を浴びせたので賊は東方山地に逃走したが、この賊團は東方を徘徊中の匪首青山の一味である、守備隊は二十三日午後十時五十分鞍山に歸つたが、警官隊は徹宵警戒し二十四日午前八時歸還した、賊團に多大の損害を與へ我に損害なし【鞍山電話】

報知日米號
壯途へ
けさ淋代出發

【淋代二十四日發】太平洋橫斷の壯途を前に天候定まらざるため待機中だつた第三報知日米號は二十四日朝愈々全コースの天候良好の報に男鹿本間中佐馬場飛行士石田通信士の三勇士は揃の赤革電服に着換へ自動車で三時半飛行場着直に食料品を積込み機體の點檢等を行ひ四時二十分名殘の朝食を濟ませ記念撮影をなし同五時三十四分山田航空官その他三澤村附近部落の男女小學生多數見送り萬歲裡に約一千四百米滑走同三十五分見事離陸ノームに向つた

襟裳岬沖通過　【落石無電局二十四日發】報知日米號は二十四日午前七時二十分襟裳岬沖を通過した

擇捉島を通過　【報知機發落石無電經由二十四日】二十四日午前十時十六分擇捉島南端沖二十哩の上空を飛行中

更生のリーグ戰
愈よ今日から始まる

【東京二十四日發】スポーツ淨化の試練を經て見事更生した六大學リーグ戰は雨のため一日延期され二十四日復歸の早大と新歸朝の立敎の第一回戰で華々しく開始された先づ午後零時半戶山學校軍樂隊の奏樂裡に立敎を先頭に各大學選手百四十八名ユニホーム姿凜々しく入場今春の優勝校慶應の攝政杯返還式に次いで若ケ代奏樂裡にマスト高く大日章旗揭揚斯くて午後一時より兩チームのフリーバッテング後文相の始球式に次いで二時半愈々試合は開始された

長敦線全通

長敦線の復舊は漸く大體完成廿三日から久し振りに最終驛である敦化まで貨物および小荷物の取扱ひを開始することゝなつた

言ひ掛りの難題
夫の養母、一切を否認

怪事件の主人公渡邊芳男氏を若狹町自宅に訪れると折柄不在で養母のかれさんが代つて語る

あの子(清子のこと)は離緣したものでなく澤井さんの方から離婚を迫つて來られたので、當方では寧ろ引き止めたのですが、澤井家では强ひて引き取るといはれたので、當方としても清子が我儘者で家庭が常に面白くゆかない矢先とて承諾したのです、ハンカチに包んだ藥を渡したといふことですが、そんなことは斷じてありません、芳男は警察でも立派に否定してゐるし父と私とが訊ひ質した結果、事實無根であることが證明されます、それであるのに毒藥を服せたなど、難題を持ちかけるのは以つての外で先方は爲めにせんとする言ひ掛りで目的は他にあると思ひます、それから御紋章附菓器だとか懷劍や寶石などを渡さぬといつてゐるそうですが、そんなものは見たこともなく、勿論當方にある譯けはありません、元來あの子が私方へ嫁入りして來る時は衣裳から道具一式當方が仕立てやつた位で、そんな出鱈目がよくいへたものです先方がこんな告訴をしようとそれは勝手ですが殺人呼はりをされるのは迷惑千萬で第一澤井さんが鄉里へ歸られてからも復緣して呉れと賴んで來てゐる事實から見てもそんなことはあり得ないことでせう

離別した若妻をめぐる
呪ひの毒藥を裁く
怪事件遂に告訴さる

離別した若妻に睡眠藥と僞つて毒藥を服ませ殺害を企てたといふ怪事件は既報の如く被害者の訴へにより大連署司法係で取調中であつたが、二十四日被害者は遂に小野田辯護士を代理人として夫芳夫氏を相手取り殺人未遂並に橫領の告訴を大連地方檢察局に提出し內檢察官の手で本格的取調が開始されることゝなつた、被告訴人は市內若狹町二丁目五十一番地土木建築請負業渡邊八郎氏の長男芳男(三一)告訴人は市內敷島町東華公司澤井敎吉氏の息女で芳男の妻清子(二一)で双方共に大連では相當知られた家柄であり殊に探偵小說的な幾多の謎を秘めた怪事件だけに百パーセントの獵奇的興味を集めてゐる

離別されるまで

怪事件の告訴狀によれば芳男氏と清子とは昭和五年五月十五日昭和工業專務岡田徹平氏の媒介で盛大な華燭の典を擧げたが養父八郎氏(芳男は養子)の內緣の妻木澤かれ(六二)が常に告訴人である清子を虐待し、かれの橫暴から家庭は風波の絕え間がなかつた、清子の實家澤井敎吉氏方では家事の都合で去る五月十四日鄉里岡山縣へ一家を纏めて引揚げることゝなり清子が手傳のため實家へ歸つてゐるとその當夜突然渡邊家から清子を離別する旨の通告を受けた

藥を服んで苦悶

澤井家では驚いたが日頃のかれに虐待されてゐることを思へばこの際娘を引き取つた方が心配ないといふに相談一決し翌十五日うすりい丸に乘船すべく埠頭へ來たところ見送りに來てゐた夫芳男は清子に「之は船醉によい藥だから船中で服むやうに」といつてハンカチーフに包んだ丸藥を渡された、そうして同夜八時ごろ件の藥を呑んだところ間もなく苦悶し初め血液や泡を吹き遂に危篤狀態に陷り船醫宍戶忠太郎氏や同乘の大連醫院盛新之輔博士の手當を受け辛うじて生命を保ちつゝ門司入港と同時に同市仲町七番地編島醫師の診察を受けた、しかし容體刻々と惡化し同醫からは「諦めて下さい」と死の宣告まで受けたが十九日朝に至り奇蹟的にも意識を回復し醫術の限りを盡した結果漸次快方に向つた

恐ろしい企みか

次に何故に清子を毒殺せんとしたかといふ疑點に對し渡邊家には幾多の醜惡な事實が潛んでをり、清子を離婚すればそれが世間に知れる恐れあり、清子自身の過失死の如く裝ひこれを隱蔽せんとする恐ろしい企みであつたと言及してゐる

家寶を橫領した

更に橫領の點に就いては清子が入嫁の際持參した澤井家の家寶たる恩賜の菊花御紋章附茶器、備前長光の懷劍一口及び寶石類數點を離別後媒介人を介し幾度も引渡し方を要求するも言を左右にして返還しないといふのである

多數證人を申請

なほ告訴狀には埠頭で藥を渡した事實を目擊した證人に市內臺南町二二番地內山善市氏を、病症狀を知る證人として門司の編島醫師、盛博士、船醫宍戶醫師外船長ボーイなどを申請してゐる

芳男が清子に渡した丸藥は船醉ひ止めの藥でなく正しく劇藥で清子毒殺の目的であつたといつてゐる

墜落騷ぎ
敎室の天井
松林小學校で

大連松林小學校は屋上ベランダから常に雨漏りし最近は殊に降雨ごとに作法室および普通敎室廊下等に甚だしく最近六年生女子敎室の天井壁が突然墜落したのを始めとして二十二日またく四年生女子敎室の中央天井壁が大音響と共に落下し大騷ぎを演じ幸ひ被害はなかつたが、降雨ごとに天井壁が墜落する様では兒童の保護上危險この上なく學校當局は頗る憂慮してゐる

洮昂線開通期

洮昂線江橋鐵橋の修理復舊工事は一時材料の搬入不自由であつたため兎角遲れ勝であつたが、最近漸く材料の供給も圓滑となつたので復舊工事意外に進捗し、十月十日までには土運列車の運行可能の見込がついた、從つて順調に運べば十月十五日ごろ遲くも二十日までには營業列車の運轉を見る筈である

警備艇受取り

目下入港中の滿洲國軍艦海威號はさきに市內日光商會に注文中であつた遼河一帶の河港警備用に使用する發動機船四隻を受取りに來たもので該發動機船は既にロシア町阿部造船所において竣工し廿四日午後二時より試運轉を行ひ直に營口へ運搬するさ

女優久米順子來る

新興キネマ女優久米順子及び平塚泰子が廿四日入港のうすりい丸で日本電報通信社關西支社長玉木潤一郎氏に引率されて來連したが玉木氏は語る

立花專務の諒解を得て大連見物に連れて來ました二十日間の豫定で東京カフエーでサービスします、私は最近の滿洲映畫界の實情、根岸氏らの事業の調查等が主な目的です

臨時競馬
第二日午前

廿四日の星ケ浦秋季臨時競馬第二日目午前中の成績左の通り

◆第一競馬(古呼五頭)千六百米第一着武幾烏矢(保利騎手)二分四秒四、第二着左近(一馬身半)第三着別嬪(二馬身)
配當(單)九圓三十錢(複)一着五圓八十錢、二着十二圓(附加券)一等六十圓、二等廿圓
三等十圓、以下五圓

◆第二競馬(秋抽九頭)千六百米第一着南州(吉長騎手)二分廿八秒一、第二着春日(七馬身)第三着右近(半馬身)
配當(單)五十圓(複)一着八圓、二着五圓二十錢、三着五圓八十錢
(附加券)一等九十二圓六十錢、二等三十圓八十錢、三等十五圓四十錢、以下二圓五十錢

◆第三競馬(各抽四頭)二千米第一着天龍(福島騎手)二分五十三秒一、第二着豐(八馬身)第三着光團(九馬身)
配當(單)廿一圓七十錢
(附加券)一等百十四圓二十錢、二等三十八圓、三等十九圓、以下十九圓

◆第四競馬(秋抽六頭)千八百米第一着石光(奧田騎手)二分廿八秒四、第二着王光(大差)第三着豐龍(一馬身)
配當(單)四圓九十錢(複)一着五圓九十錢、二着廿四圓三十錢、(附加券)一等百四十六圓三十錢二等四十八圓八十錢、三等廿四圓四十錢、以下八圓十錢

寫眞說明

【上から】けさ來滿した訪滿學童使節一行(うすりい丸甲板)埠頭待合所に於ける日滿兒童の交驩 神戶出帆のテープで造つた滿洲國旗、本社を訪問した一行

天氣予報

二十五日
北西の風　晴時々曇
滿潮(午前五時四十分　午後六時十五分)
干潮(午前零時四十五分　午後)

各地溫度

	廿四日午前十一時	前日最高
大連	一九・三	二一・五
旅順	二〇・〇	二三・四
營口	一七・二	二三・五
奉天	一九・五	一八・九
長春	二〇・六	二〇・四

けふの小洋相場(正午)
金百圓は一三四圓五〇錢

國難日本刀（104）

高桑義生作
京極佳夕畫

公心と私情と(七)

「何をするにも金である。財力の充實は、結局國力の充實である。攘夷の實をあげるにも、戰爭するにも、先立つものは、金だ。幕府は天保以來極度に財力に缺乏してゐるのだつた。

勘定奉行の川路左衛門尉が、何よりも心痛してゐるのは、この事だつた。心ある幕府の役人は、年來この問題に考慮をはらつてゐる小栗又一もさうだ、有事の際、幕府は金のために手も足も出ない。

その時、幕府にかはつて勢力をのばす者は、雄藩の薩摩である、長州である。幕府にとつては、最も危險な事である。

又一はあらかじめ、それに備へる方法を、たてなければならないと思つてゐるのだ。

利權を外國に與へて資金を借りる――なるほど近道であるに相違ないが、しかし、そんな事がいつになつたら出來るのか、今日の狀態では、思ひもよらない。

又一が、小金井傳次を秘密に米艦に潰はしたり――すべての暗中飛躍は、彼の好感を、歡心を、後日のために得て置かうとするのだそれが、國家民心を安定せしむる結果であり、幕府の地位を安定せしむる方法である。

「親睦をむすぶ事ですね。出來るだけあめりかの好感を得て置く事ですね」

と萬次郎もいふ。

「その通り、ゆく〳〵はその力をかりて、不逞の輩を抑へねばならん」

半刻あまりの會談を終つて、萬次郎は小栗邸を辭した。又一は自分の駕籠で送らせた。

駕籠は小川町から柳原に出た。闇、漆黒の闇をついて、二人の武士が萬次郎の駕籠に迫ひすがつた。ふたりとも覆面をしてゐた。

「待てッ」

振返つた駕籠舁きの目の前に、拔刀が突きつけられた。

しかし、侍屋敷の駕籠舁きだけの事はある、すぐ逃げ腰にならないで

「な、なんだッ。亂暴するなッ」

「駕から棒に、手前たちは何をしようてえんだ。御勘定奉行小栗又一樣の御用駕と知られえな。人違ひをするなッ」

ときめつけた。

「如何にも小栗の駕籠と知つて、つけて來たのだ。乘人は、或上りの中濱萬次郎、われ〳〵は彼奴に用があるのだ」

「貴樣たちはさッさと歸れ」

さッと一人が、先棒の提灯に斬りつけた。

「わッ」

彼等は駕籠を棄て逃げ出した。

萬次郎は駕籠から出た。

「誰方です？」

その聲は落着いてゐる。

「中濱萬次郎ッ……」

「さうです。さういふあなた方は？御用向は？」

「貴樣の命をもらふのだ」

「國を賣る不德漢、天誅をくらへッ」

いふより先に、斬りつけた。

萬次郎は倒れながら、避けた。

「ま、待てッ」

「卑怯者ッ」

更に一人が斬りつけた。

「あッ」

萬次郎は肩先を割られた。が、かれは屈せず

「待てッ、待つてくれ。一言いふわたしは……わたしは日本人だ。それだけをはつきりいふ。誤解するな」

二の太刀を振り上げた。

「わたしは武藝を知らぬ。刀を拔く術さへも知らぬ。しかし、如何なる場合も、わたしは……日本人だ」

さういふと、中濱萬次郎は大地に倒れた。

覆面武士はなんと思つたか、刀をひつさげたまゝ走り去つた。人が來た。

銀鈴少女會

銀鈴少女會は愈々今明日本年度最初の公演を協和會館に於て催するが同會本年度の傾向は舞踊より群舞に意を注ぎ殊に從來の接舞形式より脫出して樂曲の歌詞並にメロデーを第二次としそのテンポを擴…

好評の小圓孃　常盤座の浪曲

常盤座の京山小圓孃一行は久し振りの女浪曲と小圓節が人氣を呼び初日以來好評を博してゐるが、今夜の讀み物は左の如くである
▲慶長の亂、伊勢春▲壷坂寺、谷風情節美▲俠骨祐天、晴雲▲けぶ角力、錦子▲義に勇む俵星、(前席)無筆の出世(後席)小圓孃

…調してゐる點が注目され行詰りの觀ある童謠舞踊界に一の新味を示すものとして期待されてゐる會費は五十錢

阪妻がひさりよがりから漸く大衆的に轉向して來たと云はれる彼の最近の傾向を示した作品である、今までの阪妻映畫のやうにピンからキリまで全幅的に阪妻がのさばつてゐないのが氣持がよい、而も後半、彼獨特の力強い演技を以てファンに阪妻映畫として滿足を與へることをも忘れてゐない、近來の阪妻物として上乘の娛樂映畫である

原作は文藝春秋オール讀物號に揭載された吉川英治の作品で佐々清雄脚色、東隆史監督、友成達雄撮影で、ストオリは戀のため覺手に斃されんとして盲目となつた松山新助(阪妻)が復讐に全生命をうち込み、自分を仇と狙ふ荻生少年を配した悲劇である

このストオリの持つ興味を東監督は牛ファンに感づかしつゝ筋を運んでこの因果的仇討物語を描いたのは大衆的に成功である

阪妻の松山新助は盲目となつてからが彼の捨て難い演技を以て終始し阪妻ファンを滿足さすのに充分である、また殺陣も少しくどいやうだが、優れてゐるし近來の阪妻物の佳作品である

(寫眞は阪妻の松山新助)

噂話

四萬圓競馬が始まつたトタン、その第一日に中央映畫館の「續の騎手」がヒットして出た▲この四萬圓の穫者は長氏がまた太秦の撮影所へバラ撒いて映畫人から幸運者と出さうと頑張つてゐる▲浪速館時代のファンにお馴染の澤陽一郎君が歸つて來て中央映畫館が喋つてゐる▲けふの船で新興キネマの女優久米順子、平塚泰子が東京カフエーに來たと放送されてゐる▲帝國館の「自由は我等に」は流石に名映畫の折紙で初日から滿員の盛況

電氣事業統制先驅 延吉敦化工事準備

滿電、滿洲政府より認可內諾 來春早々點燈を見む

滿洲事變勃發以來滿電では全滿洲の電氣事業統制に種々畫策敦化、延吉の兩地にも合辦の電氣事業會社創立を企畫し新政府吉林省政廳に認可申請中であつたがこの程高橋常務は當局と種々折衝を重ねた結果正式認可は下らないが、工事着手の內諾を受け、近く着工の運びとなつた、就て右計畫は日滿人合辦の下に敦化は資本金十萬元、延吉は二十萬元とし前者は七十五キロ、後者は三百キロの發電能力を有する電燈會社を創立し敦化、延吉兩地に於て電燈事業を經營せんとするもので、敦化は敦化電業株式會社、延吉は延吉電業株式會社と內定した、尙敦化延吉に於ける點燈需要數は各三千燈內外の豫定であるが料金は銀建となるべく延吉のみは鮮人在住者の多數と金票流通のため或は銀建金拂制となるやも知れない、滿電では右內認可と共に早速準備に着手、敷地も既に契約成り工事は大倉組の手により近々着工の豫定で遲くとも明春早々には點燈の運びに至るべく意氣込んでゐる

……は二十四日午前十時三十分、市役所に小川市長を訪問し反對に補償金の增額方を要望する處あつたこれに對し小川市長は今更增額は不可能だと一蹴し卽時諾否の回答を迫つたが、再び猶豫かたを申出たので二十六日中に最後の回答を爲すべく約束し十一時四十五分會見を終つた、脫退組に對しては右回答を俟つて交涉する肚らしいが今の處市會の決議による十月一日よりの市營單一制實施は全く絕望の態である

州內酒造組合 秋季品評

關東州酒造組合では來る十月十二日から十五日まで大連民政署に於て秋季品評會を開催することになつた、十二日は出品採取十三日は審査、十五日褒賞授與式の豫定であるさ

實施前の原料に 課稅免除方申請

商議より大連稅關へ

滿洲國は愈々二十五日より支那輸入品に對し輸入稅を徵收支那品を純然たる外國品扱ひとなすことは既報の如くであるが、結果は原料品にして關東州內にて加工、更に滿洲國に輸入せらるゝもの其他新關稅實施前に州內に輸入されながら直に滿洲國に輸入せられざる事情にあるもの尠からず、これらは新關稅實施により損害を蒙ること尠からざるに鑑み大連商工會議所では二十二日の委員會決議に基き二十四日午後藤田副會頭は大連稅關に福本稅關長を訪ひ、左記陳情文を手交、前記事情にある諸商品工業生產品に對し便宜取計らひ方陳情するところがあつた

支那品の外國品取扱に關する件

拜啓貴關に於ては本月十六日附告示第二號を以て中華民國より到着せる貨物にして關東州租借地境界を越へて滿洲國に輸入せらるゝ場合には來る二十五日より現行稅率に依り輸入稅を課すべく布告せられ候に付ては、或種の商品は右期日前に滿洲國への輸入申告をなすも新關稅の實施に依る損害を免れ得べきも多數商品の內には直に同樣の手配を爲し得ざるものあり殊に原料品にして州內にて加工され、然る後滿洲國に輸入せらるゝものは直に輸入申告の手續をなし得ざるのみならず此種商品の性質として先物の契約多數に存在し從て右新關稅の實施に依る損害に堪へざるの實情に有之候

依つて此際貴關に於かせられては其の賣買取引の慣習が多く先物の性質を有する商品に對し又從來貴關にて前記製造者に取締の便宜上發給せられたるメモ、オブ、インポーテーションを有するものは勿論其他先物契約にして賣買者双方間往復電報又は其の他の書面等證據類に依り右布告前に其の成立を立證し得るものに對しては貴關が適當と思惟せられる方法に依り從前通りの取扱を受けしめられ、なほ前記の工業生產品に對しては原料に對する輸出稅を以て滿洲國に輸入し得るの特權を許與せらるゝ樣滿洲國財政部に對し貴關より可然御申達相成度此段及請願候也

單一制問題 解決近づく

大連中央卸賣市場の市營單一制實施に關し妥協を憫みつゝあつた殘留組に對し、小川市長は二十三日まで日限を切り諾否何れかの回答を求めつゝあつた事は既報の通りであるが、之れに對し代表者四名……

參つた以上 充分視察します

特產業總會出席の一行着連

滿洲國の承認と共に各方面の日滿提携が叫ばれてゐる際滿洲特產協會では第八回通常總會を大連において開催することゝなり內地における斯界の代表二十五名は二十四日入港うすりい丸で來連、總會出席旁々滿洲における經濟事情を調査することゝなつた、一行の團長格たる東京の後藤一郎氏は語る

滿鐵沿線や奧地の物騷な話で豫定五十名位のものが僅か廿五名に過ぎないと云ふ不勉强ぶりです、しかし來た以上、來られなかつた人の分も視察して行かうと云ふ熱心なるもの許りです、硫安肥料を主とするもの各方面の專門家許りですこの滿洲特產協會と云ふのは、滿鐵の後援によつて大正十三年に設立されたもので全國の各種肥料組合を會員と見なす組織で丁度八回目の總會なのです、時期がら會場を大連に持つたので總會は廿五日ヤマトホテルで開き、濟んでから奧地を見るつもりです

尙總會は廿五日午前十時より開き午後は滿鐵中央試驗所に佐藤正典氏同地方部小須田常三郎氏、同鐵道部山口十助氏、大連錢鈔信託古澤丈作氏等より夫々專門につき講演がある豫定で廿四日は上陸と共に中央試驗所及び滿蒙資源館を參觀、午後一時より浮保豆粕懇談會に出席の豫定である、本日來連の主なる會員は大阪の木下金藏氏、女流テニス選手安宅登巳子さんの御父さんの安宅氏、森六郎氏、尾家福太郎氏、田中喜一郎氏、井上精一郎氏、蘆澤芳雄氏、後藤時一氏、伊藤正一氏等である、なほ一行は滿鐵特產關係方面の出迎へを受け遼東ホテルに投宿したが、少憩後午前十時より中央試驗所及滿蒙資源館を參觀した、尙午後一時より滿鐵社員俱樂部に於て滿鐵々道部關係者、當地特產三團體關係者等出席の上、豆粕混保制度の改善に關して懇談を遂げた【寫眞は着連の內地特產業者一行】

內地は弗々景氣 滿洲熱依然旺盛

失業者は減つた模樣だと 廿四日歸連の西氏談

橫濱正金銀行大連支店長西一雄氏は總會出席の要務を帶び內地出張中であつたが二十四日入港のうすりい丸にて歸連語る

總會には間に合はなかつたが、時節柄、最近の滿洲に對し各方面より質問も受けたし說明もして來たその他私用もあつたので遲れてしまつた、內地はインフレーシヨンを見越して諸物價が上りどうやら景氣らしい氣配がする、物價の如き國產品で二割見當、外國物はグッと騰貴してゐる、それに各種の企業その他が最近失業者が減つた事は事實だ、次に農村の方はよく知らないが、大分疲弊してゐるらしいさにかく滿洲國の承認と云ふ興味ある大きな潮流に押されて些か省みられなかつた嫌があつたがその滿洲國既に承認濟みになると中小商工業者の救濟と共に農村問題が眞劍に考へられて來た、そして自分は今度ほど內地の人達が眞劍に滿洲の事について考へてゐるには吃驚した、いたる所滿洲に就いて聞かれた、內田外相にも會つたが色々聞かれた、田村副會頭は低利資金問題で元氣よく猛運動を續けて居られた

內地特產業參加 第八回總會開催

二十五日大連ヤマトホテルに於て開催の滿洲特產協會第八回大會の順序左の如し

一、午前十時開會
主催者挨拶
理事長挨拶
事務會計報告
理事改選
提出議案審議
名譽會長推戴
次年度開催地決定
一、閉會
一、正午晝餐會
一、午後一時講演
滿鐵中央試驗所工學博士佐藤正典氏
滿鐵商工課長小須田常三郎氏
滿鐵鐵道部營業課長山口十助氏
大連錢信事務古澤丈作氏
一、休憩三十分
一、午後四時三十分活動寫眞開始
滿鐵弘報係撮影の時局及產業に關するもの
一、午後六時三十分懇親會（ヤマトホテルに於て）協會主催

浮說亂れ飛んで 鈔票は崩る

墨滿の金本位制等々

二十四日前場大連錢鈔市場の鈔票は海外情報休日前に比し銀塊倫敦現物先物共十六分の一高、紐育八分の一安、米日爲替は前日五十二仙安、けさ十五仙高で休日前に比し結局三十七仙安と海外材料さへ、むしろ强材料を入れたが上海標金は前日より十九兩七高の七百二十六兩に寄り引は更に四兩と奔騰を入れ二圓乃至二圓四五十錢安と暴落した、上海の標金高はメキシコの金本位制採用說が傳へられた……

總會に出席 特產業者日程

滿洲特產協會大會內地側參加者の旅大に於ける日程は二十五日總會終了後左の如くで二十八日から奧地視察に赴く豫定である

一、二十六日 午前九時大連取引所、午後……

一、二十七日 午前八時三十分大連發……

圓滿解決

ラ地綿業爭議

【マンチエスター二十三日發】ランカシアの綿業爭議は……

根本對案研究

輪組の委員會

滿電重役北行

滿洲移植民 第一義は人と土【上】

先づ鄕土の建設に進め

隨つて初期の農業移住者が選ぶ所は、最も故國に風土氣候の近似した土地を擇ぶことであります、之は勿論時代が激成した新氣運に順應して、資本組織の下に或る特殊な集團移民地を基礎附けやうとする場合とは、おのづからその機動機を異にしての主張でありまして、人類移動の前例を通覽しましても、ヨリ良き土地への轉住か、成るべく寒暑の差別すくない方面へ、順次押進んで行くのが共通現象であつて、一足飛びに溫熱帶から寒帶圏の只中に、若くは寒帶圏から酷暑圏地域への大移動は容易に行はれない、縱し行はれてもそれは或る特殊な國情に餘儀なくされた結果であり、且つそれに適はしい大犧牲が拂はれねばなりませぬ、政治論では如何やうにも理由附けられるが、移住者各自の常識から中々さうはいへないのであります、胡馬は北風に嘶き、越鳥南枝に巢くふのが、人類移動の常態であつて、少くとも個人はこの點に深い研究を怠るべきでありません、さう考へると滿洲への農業移住は、溫帶圏に馴らされた邦人に取つて、先づ如何なる地域を擇ぶべきかといへば、最も日本海に近い東部滿洲の山岳地帶が、母國と風土氣候の大差ない黃海沿岸かと好適だと私は信じます、私の意見によれば南滿に就いての國人の認識は甚だ淺い、極端な論者は安奉線と滿鐵本線との中間區域など、テンで問題にして居ませんでした……

◇

……

昭和八年十二月二十五日 第三種郵便物認可

滿洲日報

滿洲海關閉鎖告示
滿支間貨物税率發表

【上海廿四日發】國民政府は廿四日附左の海關告示を發した
日本の滿洲占據に依り國民政府は滿洲各港に於ける合法的支那關税を徴し得ずハルビン、營口、安東、龍井村各海關を九月廿五日限り當分閉鎖し右各港にて徴收すべき關税は暫時支那の他港で徴收すること、爲せり

◇滿洲各港行貨税率左の如し
一、內國品(工場製品を含む)不變
二、外國品(二重課税を避ける爲めの證明書を有するもの及輸入税完納の證明を有するもの)不要
三、關税完納の證明書を得んとするものは積出港で輸入税を完納すべし
四、無税再輸出品は再輸出港で輸入税を完納すべし
五、保税倉庫品は積出港で輸入税を納入すべし

◇滿洲國各港より到着の貨物税率左の如し
一、內國品移入税及附加税を課す
二、工場製品積出港にて支拂ふべき出　税及附加税を課す
三、外國品、輸入税を課す

◇大連港に對しては左の税制を適用す
一、內國品、輸出税を徴す
二、工場製品仕向地の如何に拘らず出廠税を課す
三、外國品滿洲同貨物と同じ

四、大連よりの輸入貨物は輸入税を課す

◇以上貨物には附加税水災救濟附加税を課すなほ九月二十五日以降滿洲海關で發行せる書類は總て無効とす
◇外國より滿洲へ滿洲より外國へ直送貨物で寄港地に陸揚げせざるものは課税せず二十五日以後滿洲各港にて發給の無税納入證明書は一切無効とす

大連港の外國扱は日本への挑戰
貨物輸送徑路變革か

國民政府は二十四日附を以て二十五日限り滿洲における海關を閉鎖すると共に滿支間の輸出入貨物に對しては支那本土の海關において關税を徴收し而も大連港に關する限り外國扱ひとして輸出入税を課する旨指示した、卽ち安東、營口經由の貨物には轉口税を徴收するも大連よりの輸入貨物には輸入税を課し大連向貨物には輸出税を課するわけで當業者方面で憂慮した支那側の現行輸出入税の賦課を大連經由貨物に限つて實現するわけで大連港壓迫といふよりも寧ろ日本に對する挑戰であると解されるかくては滿鐵貿易業者が豫測して居たよりも以上の痛切なる打撃を被らざるを得ざるべく、滿洲輸出入貨物は必然的に營口、安東經由を增大することにならう、殊に大豆、豆粕、豆油等滿洲輸出品は輸入地に於ける從價の輸入税を徴收されるために現率五倍乃至二十倍の税額となり、石炭、硫安等何れも同樣の運命に置かれて居り、大連經由貨物の打撃は測り知り得ざるものがあり、大連と支那との取引は自然衰微せざるを得ざるべく滿洲と支那との貿易に一沫の暗影を投げかけたわけであつて、貨物の輸送徑路にも變革を來すことになりはせぬかと觀測されてゐる

撫順炭に增課せば明かに條約違反だ
谷川滿鐵商事部次長談

大連を外國なみに視て輸入税を課するとの支那國民政府の方針は二十四日午後滿鐵本社へも上海より情報が入つたが撫順炭及び硫安銑鐵の支那輸出に至大の關係があるので、谷川商事部次長、弟子丸輸出課長その他關係主任は遲くまで居殘つて對策を協議するところがあつた、しかして滿鐵としては飽くまで平生通り二十五日も石炭を積出し上海においてもそのまゝ揚荷する方針でその際における支那側の出方を見て對策を決定する考へらしく、協議後谷川商事部次長は左の如く語つた
全く驚くべき暴擧でお話しにならぬ、大連も營口も等しく滿洲國の税關で、その間に區別のあらう筈がない、又大連から輸入された貨物が滿洲のものか州內のものかそれとも日本內地から來たものかゞ不明だといふなら原産地證明の方法は色々ある、ここに撫順炭に關する限りは日支間に條約があるのだからこれに規定以上の關税を課するのは明かに條約違反である、そこにかく滿鐵としては平生通りに輸出するまでゞ、支那としても好んで日本に挑戰する愚はすまいと

赴日する鮑全權

【上】奉天にて武藤全權と會見左武藤全權、右鮑全權【下】大連驛にて鮑全權、その隣同夫人

對南支取引杜絶せん
思つてゐる

支那が大連を外國扱ひとし大連經由貨物に對し本土海關において輸出入税を課することになつたことは南支方面を缺ぐべからざる顧客とする大連油房にとつては致命的打撃であると觀られ、殊に農產物は從價による輸入税を徴收されることになり自然關税は從來の五倍乃至二十倍に達するものもあり支那に對する大連よりの取引に及ぼす影響は甚大である、右に關し滿洲重要組合書記長照井長次郎氏は語る
大連經由貨物に對し輸出入税を課することになつたのですが、實に困つたことですれ、大連と南支との取引は駄目になるようなことはないでせうか、殊に大連油房の如きは對命的打撃を受けますれ、御承知のように日本向豆粕はさして振はず、南支は大連油房にとつて大事な顧客ですし、一方歐洲向の豆油の需要が最近減退しつゝあるときですから揚地で輸入税をとらるゝことになれば大連油坊としては非常な苦境に陷るわけです、當業者としては何とか方法を講ぜなければなりますまい

大した事はない
大連税關長 福本順三郎氏談

支那が大連を外國扱ひとし大連壓迫の擧に出ることは滿洲國の接收以前からあつたことですし、愈々露骨にその態度を現はしたわけでせう、これによつて起る影響としては滿鐵の鐵、石炭、硫安、それから農產物等の支那向貨物は大連を經由すれば高くなるから營口を經由することになる、從つて大連としては多少淋れるといふことになるが、然し大連は外國貿易によつて繁榮を維持してゐるのであるから大したことはあるまいと思ふ

報告書審議延期要求
廿四日理事會で審議
結局我要求容れられん

【ジュネーヴ二十三日發】調査報告書の審議をその內容發表の六審間後になすべしとの日本の要求は理事會議事日程の最後に置かれてあり或はこの要求は討議さるゝこともなく終るのではないかと見られて居たが **本日に至り突如變更せられて眞先にこの要求を審議するに決した** 從つて長岡代表は廿四日理事會劈頭に要求理由の說明をなすに決定これに對し篩書處よりは當然抗議も出づるものと見られて居る、尚聯盟では日本政府が調査報告書を正式に接受後これを公開し日本としての方針を決定し最後の訓令を據べたる特使を派遣するには少くも六週間を要するものと認め居り **理事會員の大多數は日本の要求に同意を表して居るので結局審議は十一月中頃となる見込である**

【ジュネーヴ二十三日發】日本のリットン報告書審議延期要求は殆ど確實に實現されるが **報告書發表は十月五日以前となり審議開始は十一月十五日又は二十一日と見らる**

報告書審議の理事會
十一月十七日より開會

【東京二十四日發】二十四日正午長岡代表より外務省に達せる公電によれば報告書審議の理事會開會の時期は聯盟事務局において左の通り意見一致し二十四日午前十時よりの理事會において正式討議し決定を見ることゝなつた
一、報告書は**九月三十日頃印刷**完成直ちに聯盟各國に配布す
二、報告書審議の**臨時理事會は配布後七週を經て十一月十七日より開會**
三、日本政府の意見書提出は右期間內とす
四、日本政府の滿洲國承認問題は報告書と共に審議せらるべき事件なるを以て**支那政府よりの分離審議要求は**

これを却下す
尚英佛側は世界平和上と國際聯盟自體の爲めにも日本を聯盟より失ふを極力防止すべしとの意見が有力である

議定書の配布要求は拒否

【ジュネーヴ二十三日發】ドラモンド氏は二十三日の理事會で非公式に
滿洲國は日本との關税協定、日滿議定書を各國に配布すべく要求し來つたが、余は配布し得ざる旨滿洲國に對して通告した、依つて右文書は聯盟保管文庫に保存してあると報告した

日本の援助で積極的に進む
赴日の途鮑全權來連

駐日滿洲國代表として赴任の途にある鮑觀澄氏は夫人同伴、大迫參事官、福島事務官、孫秘書を隨び二十四日午後八時着列車で來連、驛頭山西滿鐵理事その他多數の出迎へを受け直にヤマトホテルに入つた。途中まで出迎へた記者に對し左の如く語る

七月に官制が發表され同時に駐日滿洲國使節として赴任する事になつてゐたが今回貴國によつて滿洲國家が承認された以上一般の使節と赴きを異にして一歩進んだ一國一國の代表として赴任する。最初赴任と決つた時は滿洲國の承認問題が重要使命であつたが承認された今日では日滿兩國の正式外交を如何に圓滑にやつて行くかにあるのだつまり、常軌の道を踏んで**日滿國交の**親善を圖り更に一歩を進め如何に兩國關係を結び付け滿洲國に援助して貰ふかゞ自分としての重大な責任なのである、日本はこれまで滿洲國に對し好意的な援助を惜しまなかつた。今後も恐らく援助して下さるものと思ふが自分はこれに對して何等方法によつて援助して貰ふ事がつまり經濟的積極的な成果を納め得られるのか事も振りかゝてゐる責任として感じてゐる。今後**世界各國の**國際關係はますゝ複雜を極めるであらう。併し滿洲國は何處までも日本の援助を乞ふものであるから自分としては出來得る限り之れに善處し經濟的によりよき大なる効果を納めるかを刻下の急務と考へてゐる云々

鮑全權一行

なほ一行は二十五日午後五時三十分、滿洲館に內田滿鐵副總裁を訪問、正式の挨拶を爲し引き續き晩餐の饗宴を受け二十六日出帆のうすりい丸で出發二十九日朝上京の豫定であるが事務所は當分帝國ホテル設置の豫定であると

滿洲國駐日代表鮑觀澄氏一行は二十四日正午ヤマトホテルにおける臧奉天省長、閻奉天市長主催の歡迎午餐會に臨んだ後午後一時二十七分發列車で大市に向つたが臧省長、趙、金井、入三谷各廳長、閻市長、日本側板垣少將、原田軍司令部第三課長、川越參事官、森島領事代理等日滿官民多數驛頭に見送り奉天中學堂、日滿小學校生徒等も整列歡呼して行を既にした、一行は二十五日大連より乘船下關に上陸、途中特に廣島に立寄り滿洲國の恩人土肥原少將を訪問した後滿洲國最初の駐日使節として晴れの東京入りをなす筈である【奉天電話】

滿洲國の對外政策
飽く迄常道で進む
承認せざる國の權益否認說を
外交部當局では否定

謝外交總長が近く列國に對し承認を要求し四箇月乃至六箇月內に承認し又は承認の交涉を開始させざる國に對しては無條約國として遇しその有する權益を認めざるがごとき聲明書を發する準備中の趣きを言明したと報じた向もあるが苟くも一國の外交總長ともあるべきものが四箇月乃至六箇月を限つて承認を强要し承認と交換にその有する權益を審判せんとするがごときは正に常道をふまんとする滿洲國の圓滿なる外交上に一大支障を招致すると甚る憂慮されてゐる、それに對し外交部當局では常識的に考へてもそういつた聲明はあり得ないし總長の言明なども考へ得られないと一笑に附して居り又總長もそんな言明は斷じてしてゐないと洩らしてゐる【新京電話】

承認後の事態

【ジュネーヴ二十三日發】リットン報告書中には滿洲に自治權を與へるのが妥當なり、日本の承認後の新事態は理事會で鑑識せよと述べてゐると

英紙の論說

【東京二十四日發】英政府機關紙として國際輿論を左右するモーニングポスト氏は二十二日の朝刊に左の如き論說を揭げセンセイションを起してゐる
滿洲問題に就き報告書提出前に論ずるは暇想で日本の有する幾多の歷史的背景、特殊關係を考慮せねばならぬ、滿洲國建設の可否は滿洲全土の秩序安寧を維持し善政を布き得るや否やに在り日本の力にてこれを爲し得るに於ては滿洲國出現は日本のみならず全世界の利益なり

露國の承認說で米國に衝動
極東政策に大支障と

【ワシントン二十三日發】露國が滿洲國を承認すべしとの報はワシントンに非常な衝動を與へフーバー大統領スチムソン長官の對極東政策は一大障碍に遭遇したと政界注目の標となつてゐる、併し右モスクワ政府の積極態度の原因は
一、スチムソンがジュネーヴを訪問した時米露連絡につき何等考慮を拂はなかつたこと
二、滿洲國と直接種々なる交涉問題が續出しつゝあり遂に親滿に傾いたこと
三、ロシアの最も恐るゝところは日本のシベリア侵略で產業五ヶ年計畫中日本とことを構へるを好まぬこと
等にありとされロシア今回の行動の裏には日露不侵略條約締結の秘密的諒解が成立してゐるものと解釋されてゐる

村井總領事

【上海二十四日發】村井總領事は今朝十時各國領事及び官民多數の見送りに春洋丸で歸國した

命令を受けたなら喜んで御奉公する
滿鐵理事決定說に 河本大佐語る

理事就任決定の報を齎し瀋陽館に河本大作大佐を訪ふと氏は語る
未だ正式に何んの通知も受けておらぬので申し兼ねるが軍部と滿鐵の事務連絡上軍部から理事を推薦することが便利だといふので本庄前司令官も武藤全權もそうしたお考へのやうであつたため私に話はあつたが私としては日本のため且つ滿洲のために一身を捧げてゐるのであるから理事となりその職責を完ふするに滿洲をよく知つてゐるからとのために命令を受けたなら喜んで御奉公する覺悟はある、ところが失職してゐるから救ふためとか或は特殊事情のためにとの理由で就任するのだといふやうに曲解されるやうなら私として斷然拒否するものでない、私としては赤心を披瀝し滿洲關係に沒頭する意志は依然として變りはない、この決心は何れの場合いづこにおいても忘れないのである【奉天電話】

滿鐵顧問に山內中將

【東京二十四日發】荒木陸相は廿四日午前十時官邸に山內靜夫中將の來邸を求め滿鐵總裁並に各方面で滿鐵顧問として出廬されんことを希望し自分にその交涉を一任されたので是非御承諾願ひ度しと慫慂したるに對し山內中將も遂に內諾を與へた

山東の劉韓兩軍一先づ停戰
蔣伯誠調停に奔走

【北平二十四日發】調停に來た蔣伯誠に對し韓復榘は劉珍年軍の現駐地を撤退し此處を土匪討伐のため將來永駐すべきことを强硬主張しこれに對し蔣伯誠は一應中央に報告善後の方法を講ずるまで停戰方を要求、韓復榘の同意を得て二十三日夜十時過ぎ濰縣發歸平の途に就いた

は最終的に解決されるものと期待されて居たが、交涉は最後の土壇場で再び紛糾し印度教徒領袖は二十三日夜被壓迫階級選擧區制に關する協定は依然達成されず今尚妥協案の基礎に着手するを得ない旨を言明した、エラウダ刑務所で六十四歲の老軀を賭して絕食抗爭を續けて居るガンヂー氏は二十日正午絕食開始以來未だ四日――八十四時間を經過したに過ぎないが早くも衰弱甚だしく吐氣、眩暈に惱まされ二十三日夜は目を開いて居ることも困難な狀態にあり尚交涉停頓の結果ガンヂー氏の絕食抗爭中止の見込立たず印度は今や極度

全印に憂色
ガンヂー衰弱

【プーナ二十三日發】二十三日午後の印度教徒領袖並に被壓迫賤民階級代表數名とガンヂー氏との會見で被壓迫賤民階級の選擧區制度

文官分限委員會
會長以下委員決定

【東京二十四日發】文官高等普通分限委員會會長以下委員本日左の如く決定を見た

▲高等委員長 齋藤　實
▲委員 河合　操
同 和仁　貞吉
同 湯淺　倉平
同 宇佐美勝夫
同 潮　惠之輔
同 黑田　英雄
同 原　嘉道
▲豫備委員 大審院部長 池田寅二郎
同 會計檢査院部長 三宅　德業
同 行政裁判所評定官 河野　秀男
同 通信次官 大橋　八郎
同 遞進次官 久保田敬一
▲幹事 內閣書記官 橫溝　光暉
同 川島　孝彥
▲普通委員長 稻田　周一
▲委員 法制局參事官 堀切善次郎
同 外務書記官 橫溝　光暉
同 內務書記官 金森德次郎
同 大藏書記官 三谷　隆信
▲豫備委員 陝間　茂
同 法制局參事官 大野　龍太
同 司法書記官 黑崎　定三
同 文部書記官 坂野　千里
　菊澤　季麿

尚二十八日正午齋藤首相は前記委員を官邸に招致し官吏身分保障に關し政府の方針を述べるに決定した

齋藤代理大使

【ワシントン廿三日發】代理大使齋藤博氏は廿三日着任した

辭令

【東京二十四日發】
關東廳技師 岩朝　庄作
兼任關東廳農事試驗所技師

衛研學術集談會

滿鐵衞生研究所第五回學術集談會は二十六日午後一時より同所圖書室にて開かれるが演題は左の通り
一、家兎血糖量の測定誤差並に生理的變動の範圍に就て 鈴木　陸一
二、飲食物特に醬油中の「ナフトール」檢出法に就て 東田　久司
三、諸種吸血昆虫による發疹熱及び發疹チブス病毒媒介に關する實驗的研究 河野　通男
四、滿洲に於ける狂犬病の小實驗並に卑見 西川　[illegible]

滿洲國行小包
米國で扱はず

【ワシントン二十三日發】アメリカ遞信省は滿洲間の小包郵便及送金爲替は取扱はざる旨公表したが信書は事實上支那又は日本の郵便物と同一取扱ひを爲してゐる

東洋事情を米國人に紹介

【ワシントン二十三日發】日本大使館は東洋事情につき米國民に正しき理解を求めるため本日「支那の現狀」「日本、滿洲、蒙古の關係」と題する二種の公式刊行物を發行した

の憂色に包まれるに至つた

關東州辯護士會協議

雨後の筍のやうに新規の辯護士が開業し近く四十名を突破しようといふ情勢に關東州辯護士會では自衞上起つて新規辯護士の食ひ止め策を講ずることゝなり二十四日午前十一時三十分から大連地方法院內で齋藤、大內、木原、高橋、小野、相川、河內山の諸氏が會合第一回委員會を開いた
卽ち關東州では內地と異り辯護士開業は放任主義で有資格者は關東廳へ登錄さへすればその日からも開業出來るがこれを內地と同樣開業廢業に對し許可制度にするにあり近く法規改正請願運動を起す筈である、なほ當日は滿洲司法制度に關する件、事件促進に關する件などを協議した

社説

極東戰爭と支那の安危
孫科氏の暴論

香港電報として傳へられてゐる孫科氏の談話は、實に亂暴極まるものである。孫科氏が果して斯かる亂暴なる談話を試みたるや否や、吾人は寧ろ之れを疑はざるを得ないのであるが、世界の大勢を知らざる支那人中には、或は斯かる淺慮のものがあるやも知れざるを以て、一應之れに對する批評を爲すことゝする。孫科氏の意見では、滿洲問題の解決は、極東戰爭より外に途がないといふのである。しかも其の極東戰爭とは、必ずしも日支兩國間の戰爭ではなく、日米戰爭を主とする日本と歐米諸國との戰爭、卽ち世界戰爭を意味するのであるから驚かざるを得ない。

◇

獨り孫氏のみでなく、世には滿洲問題が原因となりて、日本と歐米某々國との間の大戰爭を豫想するものがないではない。併し斯かる議論は、所謂十人十色で如何樣の放言を爲さうとも吾人は敢て怪しみはしない。只吾人は、支那の要地に在る有力者にして、自國を他國の戰場に供して恥ぢず、其上或は軍事的に又は經濟的に、日本擊破の役割を諸外國に一任し、支那自身は格別の責任をも感ぜず、只其結果として萬一の利益を僥倖せんとするが如き廉耻なき心事を有するのを憐れむものである。凡そ斯の如き、弛緩せる精神は、決して支那を救ふ所以にあらず、日米戰や、日本の勝敗は姑く措き、吾人は此の心事其ものが支那を衰亡に導く所以となるべきを思はざるを得ない。

◇

孫科氏の說では、日本が若し砲彈戰、又は經濟戰によりて、一敗地に塗るゝことあらば、之れが爲め支那の國運は隆々として勃興するが如く考へてゐる樣である。此れは見當違ひの甚しきものである。實は歐米諸國の現狀に於て、極東に兵を出して敢て日本と一戰を試みんとするが如き餘裕ある國家は、目下の處殆んど見當らない。又對日經濟封鎖を爲し得る勇氣もない。萬一對日戰爭を起すものがあつても、又對日經濟封鎖が企てられても、日本は自ら之れに處する覺悟を有する。非常時には自ら非常時の途を開き得ない程の大和民族ではない。此を以て日本は極東戰爭も、對日經濟封鎖も、毫も恐るゝ所ではない。只正義を踏んで世界に邁進奮鬪するのみであるが、それは姑く別問題として、萬々一世界的大戰爭が起り、其結果假りに日本が敗北を招くことありとするも、之れが爲め支那が果して利益し其の獨立を維持し、又は其の領土を保全し得るであらうか。これ吾人が孫科氏若くは孫科氏と同一の意見を有する支那人に質問せんと欲する處である。

◇

元來世界各國が九國條約を設けたり、又は其他の方法で支那保全とか獨立とかを維持せんと苦心する所以のものは、歐米國から見れば、或は之れによりて日本を抑制せんと企つるものであるかも知れぬ。然れども萬々一歐米諸國が克く日本の東洋に於ける勢力を抑壓し得たりと假定するならば、其の結果は果して如何。歐米諸國は最早や支那の獨立や保全を云爲する必要を見ず、彼等は互に協定して對支共同侵略に歩を進む可きは明白である。これは敢へて吾人の想像でなく、過去の歷史は實に明かに之れを證してゐる。此時に方りて支那は果して如何の方策を以て此の大勢を防止せんとするか。吾人は先づ此點に於ける彼等の明答を聽かんことを欲するものである。

◇

孫科氏は勿論支那人であるが幼少の頃より外國教育を受けた爲め、支那を知らず、東洋を知らず、又日本を知らぬ。故に其の思惟する所は概ね東洋の事情に迂遠である。乃父孫逸仙氏は同じく外國に學んだけれども、自ら東洋人たるの自覺心强く、日支の唇齒輔車の關係を充分に承知してゐた。只時利あらずして其の對日政策を實施する事が出來なかつたが、日本を國際的に無力の地位に陷ることが、決して支那の利益であるとは考へてゐなかつた。

◇

孫科氏は之れに反して日本が今日のドイツの如くになることを豫想し、且つ之を希望するが如き口吻を漏らしてゐる。吾人は實にその淺慮と短見とに驚かざるを得ない。孫科氏が實際斯くの如き無思慮の言を吐いたや否やは不明であるが、支那には斯くの如き愚見を抱く者必ずしも少しとせぬ。吾人は、斯くの如き東洋を忘れ、歐米を知らず自ら衰亡に導くが如き自屈思想に對しては、極力その反省を希望するものである。

酒精抽出法による 豆粕見本に輸入稅
奇怪なる內地稅關の處置
滿鐵は對策を凝議

滿鐵技術局が佐藤博士の研究になるアルコール抽出法による大豆製油工業化について着々準備を進めつゝあることは屢報の如くであるが、これが製品の內地販賣につい

研究を
重ねることゝなり八月末中央試驗所から大阪の某商店に見本品としてアルコール抽出法による豆粕を少量送附したところ廿四日技術局に對し同見本品が輸入稅を課せられた旨の情報があつた、從來豆粕については何等の課稅がなかつたものが今回突然の課稅を見たため技術局では事の意外に驚き如何なる

條文に
よつて本品が課稅されたかを直に取調べる一方大阪に對してもその眞相を問合せたが技術局としては若し日本政府の關稅方針としてアルコール抽出法による新製品に課稅するが如きことゝなれば今後の同製法の工業化について一大障礙となるためこの事實を重大視し是非共これを機會に事の眞相を確める必要ありとし斯波顧問、根橋技術局長、由利庶務課長等は急遽午後四時すぎから局長室で鳩首協議を開いた、而して滿洲の諸重要工業は唯に大豆のみでなくその他殆どの重要工業がこの關稅問題にひつかゝつてゐる

現狀に
鑑み滿鐵として日滿統制經濟問題の第一步頭に關稅問題を解決するの必要があるとして各種の具體的問題を纏めつゝあり廿六日上京の斯波顧問はこれ等の諸案を携へ、政府當局者と徹底的に交涉を遂げる筈であるが何れにしても大豆工業は硫安、製鋼と共に實現の可能性が最も多く技術局としても既に萬端の準備を終つてゐるものであり今回の意外な課稅に對し技術局の間では

日本で
飽くまで課稅するなら日本に賣らなくて好い、外國に賣る工夫を考へるのださまでいきまいてゐる

波蘭商人の滿蒙進出慫慂

【東京二十四日發】在ワルソー河合公使二十三日發外務省着電ポーランド一、二新聞は二十一日社說にて滿洲國の成立に依りポーラン……

特產業者會議
混保期間据置に決定

二十五日より開かるべき特產協會大會に先立つて、內地側肥料關係者代表と當地特產業者および滿鐵代表との打合會議は二十四日午後一時半よりヤマトホテルに開かれた出席者は

（內地側）清水東京特產組合書記長ほか八名

（大連側）爪谷長造、安倍三井支店長、寺田三菱支店長、照井重要特產組合書記長、萩原取引人組合理事ほか、

（滿鐵）伊藤營業課長代理小林貨物係主任、早川混保主任、吉井商工課員

で開會直に問題の豆粕混保制度改善問題に移つた、內地側がまづ豆粕混保々管期間の六箇月は永きに失するから短縮すべしとの意見を出したが、これに對し滿鐵側より保管期間は六箇月だがこれは混保證券の流通期間を意味するもので、實際の混保期間は早ければ一週間、おそくも三週間で平均二週間である、今年は特殊の事情で永くなつたがそれでも最長七・八十日であつたからこれを短縮するは徒らに商取引の圓滑を缺ぐのみで無意義であると說明し、內地側も結局混保期間は現在のまゝ据え置くことゝなつた、ついで斤量の目減り問題については內地側は

現在混保豆粕の自然減量は十月一日より六月三十日までの千分の三十、七月一日より九月三十日までの千分の五十になつてゐるが、內地では平均千分の五位であるからあまりに多きに失するとて減量率の低下を要望した、これに對し滿鐵側は

現在の減量率は實驗の結果したものであるからこれを低減する時は滿鐵は過重の負擔をし損害は大である

と說明、結局問題の禍根は……あるからこれを混保檢査の……に加へることは出來ぬかと……側の申出に對し滿鐵は實際としては極めて困難ながら十……することを約した、なほ內地側より當地特產業者に對し價格……意を希望し、當地側も出來……これに添ふことゝして四時……た

北滿に働く現業員を訪ねて（五）
呼海線に於る犧牲者
滿鐵派遣……に同行……五百頭匪特派員

最後に呼海線の事故統計を語りを紹介しやう、今春來の兵匪による損害は……所、驛舍燒失二ケ所、電線……五ケ所でそのうち最も大き……は經費十二萬五千圓で修築……驛四百米の木橋である、水……る損害は橋梁破損六ケ所、築堤浸水……切取崩壞七ケ所、……二〇粁、電線不通修理延長……

新國家のため努力を誓ふ
黑河にある蘇炳文

近郊の鮮農部落へ各地から警官派遣
農作物の收穫を保護

奉天省公署地方費補助

……二十二萬元を支給した【奉天電話】

華僑の抗日會援助打切り

學良、匪賊頭目を旅長に任命

入船驛を新設

滿鐵では鮮魚介類、鹽干魚介類、鮮肉、生果野菜、氷等の急送貨物輸送のため大連市入船町に沙河口驛より四粁の地點入船驛を新設することとなり來る十月一日より營業を開始する筈でこれによつて大連驛は純然たる旅客專用驛となつたわけである

山城鎭まで列車運轉
瀋海線の復舊

瀋海線の匪害による不通箇所はその後漸次復舊進捗し廿三日から清原まで貨物取扱ひ差支へないことゝなつたが目下清原英額門間の復舊を急ぎつゝあり廿四日中には山……

夥しき癈疾傷兵に授產すべく講究中
負傷者二千三百餘名

事變犧牲の軍人救濟慰問を協議
陸軍出身の有力者が

……產事業に當つてゐる啓成社をして、之等癈疾者の授產を行はしむる方針で目下具體案の作成を急いでゐる

拓務省來年豫算
滿洲移民費は未決定

【東京二十四日發】拓務省では二十四日午後一時から拓相官邸に來年度豫算に關する省議を開いた結果滿洲移民費を除き大體左の通り決定した【單位千圓】

本省費　七六〇
移民收容費（長崎神戶）二〇〇
南米並に南洋移植民及び海外拓植事業等保護獎勵費七六〇〇
滿洲產業調查費　二六〇

右の內主なる新規事業は滿洲產業調查費でその他滿蒙移民費等については軍部その他關係當局の意向を徵する必要もあるので目下愼重……

怪火の正體
大鵬生

林警務局長
近く國境視察

市會協議會

大連市會では二十六日午後二時より市役所會議室において協議會を開き市政に功勞ありし者の表彰に關し詮衡を行ふ筈

人事

市況

株式
內地株變らず 當市保合

特產
南支筋買ひ 大豆强調

錢鈔
鈔票小軟り

商品
綿糸保合

神戶特產
市場電報

傳統の破壞

◆……古き傳統に拘束されるな、傳統を破壞しろ……といふ聲は最近よく耳にするところです、藝術上の一例をあげれば、いはゆる西歐近代劇を基調とした新劇ばかりを讃美して我が三百年來の歌舞伎を頭ごなしに輕蔑する人があります、成るほど新劇には歌舞伎に見られぬ深刻な人生の再現はありますが、藝術なる點より見れば歌舞伎も立派な一つの生命を持つてゐます、又劇に限らず、映畫も創作も共にこの傾向は近來甚だしいやうです

◆……この無批判的な傳統破壞と流行的西洋追隨主義は、單に藝術方面のみならず、經濟に、法律に、宗教に、道徳に――あらゆる日常生活の細々した點に非常に多く行はれてゐます、例をあぐれば、街頭を濶歩する所謂モダンガール、新らしき女性の存在です細く長くひいた眉毛、斷髮、腕もあらはな洋裝――必ずしも此れを頭から否定しやうといふのではないが、唯彼女達に一應日本髮の美しさや、日本服の美しさを認識したことがあるか否かを、又頭髮、服裝と日本女性の生理的關係を考察したことがあるか否かを聞いて見たいと思ひます、單なる流行の模倣ではありますまいか……

◆……傳統の破壞――それが時代の潮流であれば何うすることも出來ないでせう、然し無批判な破壞は何處までも避けるべきです、我々は何處までも日本の傳統を再認識しなければなりません

日本兒童使節を伴ひて

西村眞琴

滿洲の國の幸いのりつゝ使節の子等は玉ぐしたさゝぐ（明治神宮に詣でゝ）

〇

御ゆかり深き御調度おろがみて明治の御代のたゞならぬを思ふ（明治神宮寶物殿參拜）

〇

櫻木の葉敷ちりしく拜殿にぬかづく人等陽にかゝよへり（靖國神社に詣でゝ）

〇

北滿の水災救助と記したるポスターに見入る使節わらべら（義捐金募集のポスターを見て）

〇

うすりい丸いよゝ出で立つ幾千條テープはきるゝテープはきるゝ（神戸港にて）

〇

使節等は五色のテープ貼り交へ滿洲國の旗をつくれり（船中の手すさび）

〇

わらんべの使節はいゆく海のあなた雲は渡る王道の國（甲板に夕映ゆる空を眺めて）

〇

壹岐のしま近よりわらしわが船の行く手遙かにかもめ飛びかふ

〇

玄界も波しづもりて壹岐對馬ながめて語る夕べなりけり

〇

朝あけのキャビンのまどは夢なれやあかれの海をながる島々（多島海にて）

映畫女優の影響をうけて　大膽なウエーヴを

この秋・洋髪界のモード拜見

流行といふものは理屈を抜きにして時代人の心理をひきいるもので す、そこに一九三二年秋のモードといふものが現在女性の注目を惹いてゐるわけです、洋髪といへばウエーヴを忘れられない近代の女性の髪に移りつゝある流行の姿を眺めて見ませう、寫眞の（A）はこの秋を風靡しやうとする新しいウエーヴの型（B）は在來の洋髪のウエーヴです、共にマーセルウエーヴであることに變りありませんが感じにおいて大變なちがひがあります（A）即ち最近のウエーヴは著るしくアメリカ邊のシネマ女優の影響を受けてゐるのがわかりませう、眞ん中から或は七三に分けた髪はアイロンも逆毛も使はずにピッタリと左右に撫でつけ、こめかみの邊から下へかけて思ひ切つて大膽なウエーヴを施してあります、これに較べますと（B）は殆ど毛の分け際からウエーヴがかゝつてをり、そのウエーヴも技巧的ではありますが、ごくおとなしい感じです（A）のあらけづりな技巧のない技巧の美がシネマを愛し、ラグビーを愛し、ボキシングを愛する近代女性に迎へられやうとすることも、また否みがたい時代の力でせう（すゞらん美容院内田秀子さんの話）

家庭顧問

子供の蕁痲疹は放つて置いて差支へないか

【問】五歳の女兒十日ばかり前から全身に蕁痲疹を生じ苦しんでゐます、毎年秋冬の頃、たびたび侵されますが放置して差支へありませんでせうか、醫療と民間療法を御教へ下さい（霞町節子）

體質から來た蕁痲疹で　精神的肉體的に惡影響

金子甚藏

【答】蕁痲疹は體質から來るものと食餌性中毒から來るものとの二種があります、御文面によりますと季節の變り目に來るもので別に食餌の中毒でもないやうですから お子樣の特異な體質から來るものと思ひますが、さうとすれば根本的治癒は一寸難しいでせう、一度診た上でなければ確答出來ませんが體質から來たのであれば放つて置くと再々發して神經質、不眠、食慾減退等の原因となり精神的にも肉體的にも惡影響を及ぼします、蝦、蟹、章魚、鯖等は一般によく蕁痲疹の原因となりますが、特異體質の人には卵、肉類等の異種蛋白質さへ蕁痲疹を惹き起すことがありますから平生なるべくこれ等の食餌を避け鯛や鰈等の輕い消化のよい魚類や野菜、果物類を多く攝るやうにします、一方特に便通に注意して一日でも便秘したら浣腸しなければなりません、食餌性の中毒で蕁痲疹を生じた時は直に下劑をかけて胃腸内の中毒物を體外に出し藥を飲み食餌に氣をつければ割合に簡單に癒ります、蕁痲疹が出來ると大變痒くて氣持が惡いから塗藥を塗り、あまり痒い時には薄荷水を脱脂綿につけて拭くと氣持よくなります、酒精で拭くのも効果がありますが子供はよくかきむしりますから酒精では沁みて痛いでせう。

果物の秋・酣

市場の青物屋の前に立つ時・何と眞赤に子供の頰つぺたのやうに輝いてゐる林檎のつやゝかさ！サックリと嚙めば甘い汁のしたゝりさうな梨のその色のよさ！一粒一粒香り高い果汁をはちきれるほど含んだ葡萄のつぶらかさ！透明さ！果物の秋は今たけなはです……！

得も云へぬ高い香りと、甘酸つぱい味と、幾分歯ごたへのある硬度を持つた目覺めるやうに眞赤な紅玉がポツ／＼出盛つてまゐりました、昨今のお値段飛び切りで卸一貫匁三十五錢といふところ、普通品が二十錢から二十五錢見當ですから昨年から見ると約半値ですが味は未だ十分とまで行きません、今二週間も經つたら味も百パーセント美味に、品も豐富に、お値段ももつとやすくなりませう、初秋の食卓を賑はしてくれた祝や旭ももう末でこれからいよ／＼紅玉の獨舞臺ですが、貯藏用として喜ばれる國光も十月中旬あたりからボツ／＼姿を見せませう。今年は國光は例年にない不作だとは申しますが、大連附近の果樹の結果期にあるものゝ數が著るしく殖えてゐるために國光も總量に於ては遙かに昨年より増加して居り、紅玉に至つては到底前年の比でない増加ですから、日本の貨幣價値が下つても昨年よりもずつと安く美味しい林檎が食べられやうといふわけです

◇梨も洋梨のバートレット（あの豐醇な香氣をもつた舌にのせると獨りでとけるやうなきめの細い水分の多い瓢簞梨）が今盛りで小賣百匁七八錢、平たい大粒の長十郎はもう盛りをすぎました、水色のすき透つたやうな水分の多い二十世紀は未だ走りで十二錢見當の高値、二十世紀に似たもので太白といふのは幾分風味は落ちますが値段ははるかに安くこれもこれから出盛りです

◇林檎梨（又は紅梨）は熊岳城附近の特産でこれは十月半すぎになりませう、葡萄も今出盛り、玫瑰香のところ一番美味で上物十錢見當、これに似て粒の密着してゐるのは全然別種で美味しくありません、他に幾分青味をもつた大粒の丸い龍眼も今澤山出てゐますがこれは酸味がつよくて一般向でありません、小賣百匁五六錢です、ぼつぼつ走りの出て來た牛奶（ニューナイ）はうす青く透明で卵のやうな形をしてゐますが香も味も前の二種より遙かに上で値段も最高位にあります。これも未だ少し早く十月半頃でなければ本當の味は見られないでせう（中央卸市場事務所調べ）

木村光江個人洋畫展

東京女子美術專門學校出身で岡田三郎助畫伯に永らく師事してゐた木村光江女史は明二十六、明後二十七の二日間大連滿鐵社員俱樂部に最近の作品三十數點を陳列して個人洋畫展を開催するが入場無料

秋と女　R

天上界に遊ぶ歡び　茶道に身が入るも妙

大連市敷島町六五　岡入花子さん

爐を据えたり、お釜をかけたりそして松風の音のさわやかな中でお茶を立てるのにはやつぱりこれからでございます。久しく御無沙汰してしまつたお茶の先生のお宅にしらず知らず足が向くやうになつたのも流石に秋なればこそと思はれます

……◇……

お花や、お茶や、琴や、お針やいろんなお稽古事の中でも秋から冬にかけては一番茶道に身が入るのも妙でございます、茶道と申しましてもほんの表門口をまたがして頂いた位のことですけれどお茶の席にまゐりほどよく立てられた薄茶を頂いたり、主人役になつてお茶を立てたりいたします時の氣持――無我の境とも申しませうかさながら天上界にでも遊ぶやうなすがすがしいよろこびを味ふことの出來るのもこの時でございます

……◇……

お年を召した先生のお伴をしてお辨當持ちで出かける春秋二度の野立は何よりうれしいおいしいお茶の會でございます、先達ては中央公園の後の山へまゐりました。人の影もない秋草の亂れ咲くあたりに席を敷き上座に先生を据してたのしいお辨當を戴いたあとお茶の會がはじまりました。若い者ばかりで土を掘り石を集めて即席のかまどを拵へました。丈夫な木の枝をたわめてお釜を吊るし、枯枝や枯草を集めて火を作りました。短冊箱に短冊を立てかけ、虫の聲をきゝ乍らの野立のお茶は一しほでございました。

……◇……

緋毛氈を敷いての花かげの春の野立はたのしいといへばたのしいものでもございますが、人影もない秋の山の野立ほどの野趣は到底見出せないやうに思ひます、茶室にしろ、野外にしろ、お茶をたのしむには矢張りもの靜かな秋の方がしつくりした氣持になれます

……◇……

でも先生の前でキチンとしてお稽古するお茶は味ふまでの氣持には未だなか／＼まゐりません、父のゐない靜かな夜、母をお客樣にして好きなお菓子で頂く薄茶のおいしさ「今日のは大變具合よく立ちました」との母の一言をまるで五つ六つの子供のやうにうれしく眞正直に受取るほどすなほな氣持にかへれるのも茶の湯のありがたさ、ただ我ながらしみ／＼感心したり……

……◇……

今年のおけいこもいよ／＼これからだと思ひますと何かしら嬉しいことが行手に待ちかまへてゐるやうに心のときめきを覺えます、上手になりたいといふことよりもあのお茶の靜かなよろこびに浸り切る秋を迎えたことが今私をこんなにも期待にみちた氣持に導いてゐることを私はよく存じて居ります

満日各地版

奉天に振替貯金口座の所管廳を設置
送金日數著く短縮す

【奉天】久しく懸案となつてゐた奉天に於ける振替貯金口座の所管廳設置問題は最近遞信局當局に於てもその重要性を認むるに至り、今回來年度豫算に計上さるゝに至つたので愈々近く實現のはこびとなつた、右所管廳設置の曉は從來の如く大連や京城あたりに口座を持たなければならない不便から救はれ、またこれによつて送金日數は著るしく短縮されるわけで、奉天在住者は勿論近郊在住者もこれによつて非常な利便を受けることゝなる、なほ現在奉天在住者にして振替貯金加入者の口座は左の通りである

大連七一、京城七八、釜山二、下關七、福岡六、大阪一二、東京七、名古屋一、金澤一

州外柔道爭覇戰
滿洲國軍優勝す
個人優勝は佐伯選手

第三回州外柔道優勝旗爭覇戰は二十三日午前九時から奉天道場に於て擧行、參加チームは鞍山、滿洲國、長春、鐵嶺、大同學院、奉天道場、奉天警察等から選り出された猛者連揃ひで各チーム共必死を期して奮戰に息詰まる接戰を演じかくて準決勝には滿洲國、大同學院、奉天道場、鞍山となり滿洲國對大同學院戰では一進一退の善戰をなして滿洲國側が強敵を倒し、奉天道場對鞍山戰では鞍山側が奉道をなで切りに倒して氣勢を擧げ愈々鞍山對滿洲國の決勝戰となる先づ鞍山の小原得意の背負投で滿洲國の高橋を倒し鮮かな處を見せ次は引分け續いて滿洲國の竹村鞍山の奧川を破り同點となり、次は引分け愈々最後の大將同志の決戰で勝敗が定まるといふ大接戰となつたが、滿洲國側の岩淵最後の五一分間の奮戰に鞍山の宮武を破つて遂に滿洲國側に凱歌擧がる、續いて個人決勝が行はれ大同學院の佐伯一等となり午後三時半より優勝旗その他賞品が拍手裡に授與され盛況を極めて午後三時四十分頃散會した尚當日の成績は左の如し

團體第一回戰

勝		負
長春道場	四―〇	奉警
奉天道場	三―二	大同學院B
大同學院A	二―〇	四平街

第二回戰

鞍山	四―一	長春
奉道	二―一	鐵嶺
滿洲國	四―一	鐵嶺B
大同學院A	三―〇	滿洲醫大

準優勝戰（〇勝）

滿洲國　大同學院A
二段高橋(重)〇三段佐伯
〇三段竹村　同高辻
二段高橋　〇同笹山
〇二段石橋　同荒谷
〇三段岩淵　二段緒形

鞍山　奉道
〇三段小原　初段鹽谷
〇同玖村　同渡邊
〇同藤本　二段松村
〇同奧川　同田代
同宮武　〇同久野

優勝戰

滿洲國　鞍山
高橋重　〇小原
分石橋　分藤本
〇竹村　奧川
分玖村　分高橋
宮武　〇岩淵

個人決勝

〇小原　竹村
〇佐伯　岩淵
〇佐伯　小原

一等佐伯、二等小原、三等岩淵、四等竹村

學良が迷信團
黄卍教を利用

【奉天】張學良が最近滿洲擾亂の方法として宗教的團結を有する黄卍教なるものを利用せんとしつゝあると傳へてゐるが、之が眞相を聞くに元來黄卍教なるものは近年平津地方に起りし天主聖教會のことで、黄色の旗を用ふるため通俗に黄卍教と稱へられその勢力は大したものでなく一種の迷信團である、最近黄卍教の中に學良より資金を詐取せんがためにこの宗教的團結を利用すべしと賣込みたるものあり、學良も大いに氣乘りした模樣で特に溺れるもの藁をもつかむといふものでその窮狀これによつても察知せられる

署長の壽命
平均一年

【金州】近時頻々と行はれる民政署長及警察署長等の更迭に付恒久性を採れとの聲が漸く在住者間に擡頭するに至つた、大正十二年以來平林、西山、川合、乾、森重、田邊、增田、安永、大和田と九年間に九名の署長が代へられた、これで見ると一代の署長が平均一年といふことになつてゐるが、今回の如きは着任以來やつと半年經つか經たぬかの内に轉勤である、折角行はれんとする抱負も經綸も行はれるのではない、殊に民政署の如き行政官廳にあつては少く共二三年の在任期間は必要である、それにもかゝはらず頻々として更迭させるのは金州在住民を全く馬鹿にしたる關東廳の遣り方だとの恒久性の實現に就いては相當硬論を吐いてゐる向が多い

撫順の襲撃被害
大約三十五萬圓

【撫順】撫順炭礦の匪賊被害高は目下炭礦當局にて調査中にて正確な數字は判明せぬが、撫順警察署の調査によれば左の如く東ケ岡採炭所の損害約二十萬圓を筆頭に合計約三十五萬圓に及んでゐる

▲楊柏堡採炭所　社宅四戸、社宅市場、華工賣店、倉庫各一棟、現場事務所、勞務係事務所、安全燈室各一棟（以上全燒）社宅窓硝子破壞八百六十枚、被害高計八一、四五二圓

▲東ケ岡採炭所　採炭事務所、機械工場、木工場、選炭場、機關場（機械共）運輸出張所、變電所各一棟、倉庫六棟、華工宿舍二棟、板百枚（以上全燒）被害高計二〇〇、〇〇〇圓

▲老虎臺採炭所、現場事務所、安全燈室、機關場、勞務係事務所各一棟（全燒）硝子窓破壞二百枚、被害高不詳

▲東鄕採炭所　勞務係事務所、坑內係事務所、華工宿舍硝子窓破壞四百五十枚、被害高四十八圓

輔仁會の運動會
二十五日盛大に擧行

【奉天】新滿洲國承認を祝すべく擧て日滿親善の實を擧げつゝある滿洲醫大の教授、學生、職員、從事員、看護婦等二千餘名より成る輔仁會第十九回陸上運動大會は來る廿五日午前八時から同大學グラウンドに於て開催される事になつたが、昨年時局の關係で折角の準備も中止のやむなきに至つたので今年こそはと會員擧つて盛大に行ふべく大意氣込みである、之がため從來の競技を變へて選手模範競技、對部競走、各地小學校招待競技、興味本位の教授團のリレー、假裝競走などが當日の呼物となつてゐるが滑稽なる君等に勇躍することの競技こそ多大の興味を以て迎へられてゐる尚その競技種目は左の如し

▲對部競技
聯合軍、劍道部、柔道部、弓道部、野球部、庭球部、ア式部、ラ式部、排球部、籃球部、從事員軍
（一）假裝競走、學生らしきものを選び各部毎に一團となり一種目に限る（二）對部千二百米リレー（十二人制）（三）百米（各部一名）（四）砲丸投（同）（五）走巾跳（同）

▲男子從事員男子學生々徒一般競技

▲女子從事員及女生徒一般競技
お手玉、走巾跳、五十米、大球コロガシ、スプーン

▲チーム競技
ラ式、ア式、排球、籃球

▲滿洲國傭員八百米リレー

▲招待競技
在奉尋常科男女生、奉天公學校普通學校、奉天ロシア小學校
在奉軍隊各中隊

從事員對學生生徒綱引（各五十名、同樽コロガシリレー、考物パン喰、盲目試合、煙草付、拜借、迷子、忍耐、樽コロガシ、五十米、百米、砲丸投、走巾跳千六百米リレー

▲男子從事員對抗競技

▲選手模範競技
百米、四百米リレー、八百米リレー、走巾跳、走高跳、砲丸投圓盤投

▲養成所生徒對抗競技
百米走巾跳、バスケットボール投、八百米リレー（八人制）

鄭家屯附近の
匪賊狀況

【鄭家屯】九月十八日張古臺鄭家屯北五支里に匪首南俠六合の約二百餘騎八黄色の旗を所持潜在す

九月十八日　四家窩棚鄭家屯東南十五支里に匪首天照應西海大文字の約三百名は鄭家屯襲擊を企圖せりと

九月十八日　ボクトル鄭家屯十二支里に鄭家屯四關に蟠居する匪首全部會合三日以內に鄭家屯を襲擊に關する協議をなし若し襲擊不可能の際は南下する云々ボクトルより來鄭の農民の談

十八日　遼源縣第二區より來鄭せる農民の談に依れば先日來梨樹方面に赴き暗中飛躍中の王滋川は近日中に匪賊三四百名及迫擊砲二門機關銃數挺を攜行歸來第二區附近鄭家屯襲擊すと

十八日　大孤家子鄭家屯東十五支里匪首不明の五十餘名潜在す

四家子鄭家屯東北三十支里に匪首不明の六七十名滯在諳々吐屯鄭家屯東北十八支里に匪首不明の七八十名滯在八面城鄭家屯南百二十支里匪首不明百餘名滯在

鄭家屯憲兵隊は滿洲事變記念日前後の警備に最善を盡して居る所特に十七日は午後七時頃より日本守備隊長應援の下に日本兵四十名縣公安局員八十名を指揮市中無賴漢の宿泊所及旅館を不時搜查容疑者十一名を檢束午後十二時引揚げたり

洮南縣內の
鮮農避難

【洮南】洮索線一帶の鮮農は從來しばしば匪賊の迫害を受けつつあつたが、最近義勇軍の活躍甚だしく遂にたへかね九月十七日迄風水山地方百三十名、七道嶺附近十名小茂好附近十名が洮南に避難し來り今後も續々洮南に避難し來る模樣

不發彈の爆發
錦州で大騷ぎ

【錦州】二十二日午後二時半頃錦州南門外東方五十米の滿洲人部落に突如轟然たる爆音を發したので時節柄一般に神經を尖らせて居る部落民はスハ來たとばかりに大騷ぎしたので早速調査して見ると、過日記念日に擧行された射擊演習の際野砲より發射された榴散彈の內不發になつたまゝ落ちて居たのを滿洲人が之を拾つて來て、南門外府物商馬德明方へ賣却したのを馬方の店員許某（二〇）が彈栓を螺廻して開けんとしたのが因で轟然爆發したものと判明した、此の椿事に依て馬方の壁は打拔かれ店員許は左脚部に重傷を負ふたが生命には別狀はないらしい

撫順縣下の稻作の惱み

【撫順】沿線第一の鮮農地たる撫順縣下は目下數千の匪賊が隨所に横行してゐるため、今春三月以來粒々辛苦耕作した彼等同胞の水田は噸日來平年にも增した豐作と米價の昂騰に喜びながらも刈取る餘裕なく打ち捨てられてゐるが、避難鮮人等は折角汗の結晶を捨つる

稻作十萬石の
刈入れが出來ぬ

【奉天】目下來奉中の吉林の森岡領事は語る

武藤全權に御挨拶に上つたのですが、色々と話も出ました、現在吉林管內では朝鮮人の手によつて植付けられた約十萬石の稻作か匪賊のために未だに刈り入れが出來ないでゐますが、早く適當な方法によつて刈り入れたいと思つてこの保護方について軍にお話し致したいと思つてゐます

に忍びず、鮮人民會等を通じわが官憲の刈取期間內現地保護を願ひ出てゐるので、當局でもこの際何等かの對策を講ずべく考慮中であるが何しろ附近の匪賊は目下數千に及ぶ大集團であるので少數の派遣員等では却て逆襲さるべくかといつて實收三萬石三十萬圓からの作物を放棄するわけには出來ぬのでこゝもと頭を惱ましてゐる

金州の落花生
檢査所落成式

【金州】曩に竣功した二十里臺驛前の落花生檢查所を兼ねた倉庫の落成式は二十二日午前十時より擧行された

參列者は三宅農會長代理、加世田市民會長、本丸同副會長、星警察署長等五十名

先づ松山神官の運神の禮あり莊嚴な祝詞を奏して三宅農會長代理の式辭、柳橋關東廳內務局長代理の告示、東小園技手の工事報告、加世田市民會長の祝辭、齊金州會長の祝辭あつて十一時半滯りなく終了續いて別室に設けの宴會場にて來賓を招待して懇會裡に午後一時閉會した

三日間休日で
官廳ガラ空き

【新京】廿三日は秋季皇靈祭廿四日は岳飛關羽の記念祭廿五日は日曜と三日間續いての休日に滿洲國政府お役人は全くホクホクもので久しぶりに妻子の顏見たさに奉天大連、旅順方面に旅行するもの多く官廳は全くガラ空の狀態である

鐵嶺法庫門間
自動車運轉

【鐵嶺】鐵嶺法庫門間唯一の交通機關として事變前までは支那側に於て連絡自動車を運轉してゐたが事變の爲め自然消滅し爾來中止となつてゐたところ、今回大連居住邦人古賀巖氏が鐵嶺縣の認可を得て鐵法間の自動車運轉に着手し十月中旬より營業を開始する筈と

佐賀加世田
兩氏の遭難談

【鞍山】滿鐵地方課土地測量班佐賀清一、加世田正行の兩氏を二十三日北三條測量事務所に訪へば、氏は柴城子附近に於ける匪賊遭遇の情況を左の如く語つた

我々は二十二日朝鞍山東方朝日山々麓より柴城子境界線の測量を終り次の區域に移らんとする時、折柄豪雨に逢ひ護衛の伊藤一等兵の指揮する守備兵六名と共に同部落に於て中食を取り降雨の爲め歸鞍せんとする時、東方約三百米の地點より匪賊の射擊を受けた、守備兵は直ちに之に應戰したが賊は猛烈なる銃火を浴せ頑强に抵抗した、加世田氏外滿人は急を守備隊に報じた賊は益々增援し三方面より包圍の隊形を取り進擊し盛んなる射擊を續けるので伊藤一等兵外五名の守備兵は決死の覺悟にて應戰し彈藥のある丈け射ち賊の一部に突擊せんとする時、共同墓地附近より砲擊開始せられたので援隊が來たことを知つた、賊は此の砲擊に驚き算を亂し東方に逃走したと

滿洲協和會の
承認祝賀式
十月十日全滿的に擧行

【奉天】滿洲協和會にては日本の滿洲國承認を祝賀するため廿八日新京において溥儀總裁、鄭孝胥、張燕卿理事長其他政府要人參集し祝賀式を擧行する準備中で全滿的の祝賀は十月十日を期して行ふ由

眞心をこめた
やさしい慰問
滿鐵社員會婦人部員一行の
ねんごろな見舞ひ

第一線で奮戰し傷いた傷病軍人並に滿鐵社員を心から慰めんため滿鐵社員會婦人部では自らキユーピー、花束、煙草、色紙、口繪等を作成中であつたが

今回 多數出來上つたので廿三日の秋季皇靈祭の休業日を幸ひ婦人部役員を六班に分ち第一班は大連、旅順、第二班は大石橋、瓦房店、第三班は遼陽、鞍山、第三班は公主嶺、奉天、第四班は鐵嶺、第五班は公主嶺、長春、第六班は本溪湖、連山關、安東等と全滿鐵線に亘る傷病軍人及び社員を慰問することゝなり廿二日夜一齊に出發しそれぞれ手厚い慰ぐましい慰問をなした遼陽さんは

奉天慰問の第三班文書の松井よしの、經理の岡村たま、庶務の原田はな、工事の池田靜子の四嬢は班長文書課の松本まつさんに引率され、廿二日廿一時半大連發廿三日五時七分原陽着同地では衛戍病院の傷病兵、公傷社員を見舞ひ同日十一時十分遼陽着、十二時五十分

傷病 軍人、醫大醫院に入院中の公傷社員を慰問し、同日十七時より滿鐵社員俱樂部で奉天婦人部の役員と共に晩餐をなし大いに意義あらしめて同日廿二時四十五分發列車で歸連したが松本まつさんは

遼陽では衛戍病院に院中の百十名の傷病軍人を見舞ひ一人々々キユーピーや口繪を與へ又廣間には花束などを飾いて參りました、そして滿鐵病院に社員の公傷患者を見舞ひましたが、三名とも退院されたと聞き先づ以ておよろこび申上げました、丁度その朝は賊のため人質として拉去された鈴木さんが歸つて來られたので負傷されてゐる鈴木さんにおよろこび申上げ又そのお家族にもお逢ひして色々およろこび旁々お慰めの挨拶を致しましたそれから奉天に着く間の中間小驛に下車して一々社員の慰問をしたいと思つてゐましたが時間もないしその附近の家族は全部安全な地に

避難 されて居られないと聞き、停車時間僅ながら驛長さんや助役さんに慰問言葉をかけて來ました、奉天では衛戍病院に入院中の百廿五名の傷病兵を遼陽と同樣に一人々々お見舞しました、續いて醫大醫院に入院して居られる五名の公傷社員をも慰問しました、殘る時間で奉天附近の中間驛に出かけだいと考へてゐましたが相憎雨にたゝられて十分慰問も出來ず殘念に思つてゐます、私達が慰問して贈物を差上げたのはほんとに粗末なお話にならぬのでありますが、私達の心を汲みとつて下さつてどこでも非常に喜んで下さいましたので私達はこの上もないことゝ思つてゐる次第であります、安奉沿線に出かけられた下野さん一行に對しても非常に喜んで居られることゝ思ひます

又こうした

眞心 こめた優しい慰問を受けた患者側のお話を聞けば私達もこれまで色々慰問を受けて優しい言葉をかけて下さる人には心から感謝してゐますが、こうした心の慰問を受けこれ程感激した事はありません、滿鐵理事からも始めてのやさしい言葉をかけて下さいました時これ程嬉しかつた事はありませんでしたが、私達は實際の處それ以上に感激されて只涙を以てお禮してゐるばかりです、何れ全快でもしたら又一生懸命働いてその御恩の萬分の一でもお返ししたいと日夜念じてゐる處であります

【寫眞は醫大醫院で公傷患者を見舞つた松本さん一行】

開魯局は通遼發の
郵便物を收受せず

【奉天】通遼郵便局長は嚮に熱河省開魯郵便局長に對し郵便物の收受方を接收中であつたが、最近開魯郵便局長は人を派し通遼郵便局送發の郵便物は收受せざる旨回答して來たので、通遼郵便局ではこの旨一般に告示することゝなつてゐると

沿線往來

▲鮑駐日大使　廿三日新京より來奉ヤマトホテルへ
▲橋本憲兵司令官　廿三日歸奉
▲大谷騎兵第二聯隊長　廿三日大連より過奉新京へ
▲板垣少將　廿二日夜來奉
▲林關東廳警務局長　二十三日金州を來訪自動車にて各所を視察即日歸旅した
▲小川拓務書記官　二十三日金州管內の愛川村農業移民地を觀察同日歸金

鞍山に製鋼所出來るも お祭騷ぎは禁物
思ひもよらぬ人口十五萬説

【鞍山】昭和製鋼所事業計畫は着々進行し滿鐵重役會に於ても愈々來年度から着手することに滿鐵私案も決定するに至り、伍堂理事は二十五、六日頃上京政府との交渉を開始する模樣である、勿論敷地は何處になるか兎に角事業に着手することだけは確定的のものと觀て差支へない、政府との交渉、補助金その他議會の協贊を經ればならぬ諸問題がうまく解決して鞍山に出來るとしても、世間で傳へるが如く人口十五萬になるが如き話は全くないと、右に就き製鋼所監査係主任水津利輔氏は左の如く語つた

昭和製鋼所の事業計畫は着々進捗し萬事が好轉して鞍山に敷地が定められたとしても市民が、お祭り騷ぎをすることは結局市民の自滅を來すに等しい結果を招來する因をなすものである、滿洲各地將朝鮮內地の猛烈な運動が之によつて起つた場合必ずしも鞍山を固執することが要路に出來るかどうか、此邊市民の自重を希望する、只實力を貯藏して徐ろに時機を待つべきである、次に人口十五萬人等は思ひも寄らぬことで五十萬噸計畫として今の十倍以上の人口になるべき理由は何處にも見出されぬ若し五六萬將亦十四五萬として今から諸種の計畫を樹て居たら市民は飛んだ目に遭はねばならぬ、此の際大きな計畫は絕對に禁物だと云ふことを市民に忠告したい、之は滿鐵社員にも警告したい云々

安東の休日通關 要望達成す

【安東】安東驛到着貨物の安東海關休日通關に於ける關稅料問題に就いては去る廿一日陳請より特に魚貝類、生果、野菜等腐敗し易き貨物に對しては何等か便法を以てせられたしと要請中であつたが、二十二日安東海關よりは休日と雖も腐敗し易き貨物に對しては特に無料を以て開廳する旨の正式回答を爲し解決を得ることゝなつた

武藤全權の ◇ ろごのこふけ

【奉天】滿洲國承認で多少の重荷を輕くしたやうに想はれる武藤軍司令官のこの頃

◇

矢張り承認前と少しも變らないのは每朝午前五時半頃には起床、庭內を乘馬で三十分間の運動を終へ質粗な朝食を濟まして七時半には官邸を自動車で軍司令部へ廳行さしては滿城目、志波兩副官に鹽原關東廳秘書官に鶴見全權秘書官が從ひ軍司令部出勤

◇

滿洲國承認後も今日は部長會議、明日は參謀會議と寧日なき事務に三位一體としての各方面に指揮命令をする、滿城月副官の手許には日滿各地から全權宛に到着する書信、電報が山と積り一日少くとも百餘通に上る、電報だけでも承認前後、事變記念日の當日には多數に達したが、武藤大將は滿城目副官の整理した書信は一々眼を通し返信を要するものはそれ〴〵回答を發し、例令それが軍司令官に對する激勵の手紙であつても亦鄭重な親翰であつてもそれ相當の謝辭の返信を發する、廿三日の秋季皇靈祭の當日でも武藤大將は小磯參謀長と共に全權部にあり定例の午後四時官邸歸還を一時間繰上げて三時歸邸した程の勤勉振である、當日揚草仙老青家の贈つた神男英靄め扁額は館に武藤大將の近頃の生面を物語つてゐる、この忙しいうちにも大將は決して運動としての乘馬を捨てないので益々健康である

◇

關東軍司令部と全權部の掛つた東拓の大白亜館には每日多數の訪客がある、二階一室に陣取つて監視の憲兵曹長の實見計算によると一

私立學校の 暫行辦法

【奉天】文敎部では私立學校の暫行辦法を施行した

一、初等程度の私立學校は省にありては敎育局長を經て敎育廳長に、東省特別區にありては敎育廳から特別區長官に、新京では敎育行政機關から市長に許可の指令を受けること

二、中等學校は文敎部に許可の指令を受けること、其の手續は各省にありては敎育廳から省長に新京特別市に於ては市長から文敎部に稟申し指令を受ける

三、高等程度學校は省にありては省宅特別區にては長官、新京は市長から直接文敎部に許可の指令を受ける

四、設立者が認可を申請する時は設立者の校長、職員の姓名、履歷、敎育の宗旨修業年限及學級の編成、敎育課程度敎科書、場所及建築物の圖表、學費及徵收方法、豫算維持費等を明記許可願書に添付することである

日廊下を往復する人の數は約七千人といふ愕くべき數字になつてゐる、このうちには司令部、全權部員の往來も含まれてゐるが訪問客の多い半面を窺ふことができる

自衛軍の 分裂傾向

【安東】民衆自衛軍總司令唐聚五は去る滿洲事變一周年記念日を期し拐匪軍及び新國家の各機關を襲擊すべく李春潤外各縣司令に召集令を發したが參集するものなく前記李春潤は唐司令から軍費の支給なき爲めそれを口實に興京、撫順新賓、本溪各縣を自己の地盤とし唐より離脫せんとしつゝあり、他の各縣司令も離脫を企てゝゐる模樣で自衛軍の分裂も遠くはあるまいと見られてゐる

滿洲國人に 珍しい捨兒

【旅順】滿洲國人の嬰兒遺棄死體は古來から殆ど習慣性となつてゐるが反對に生きたまゝの捨兒は恐らく今回が初めてとされてゐる珍しい捨兒が旅順にあつた、方家屯會小楊樹溝屯「一ノ一」苦力劉德明は二十三日午前四時頃自宅西方の畑へ鶏の捕獲に出掛た處、嬰兒の泣き聲が聞えるので傍へ近寄つて見ると、生後數十日を經た位の男兒が毛布に包まれ遺棄されてあるのを發見し、早速妻が乳が出るので目下哺乳してゐるが旅順署では目下此犯人を嚴探中である

滿鮮圖書館 協會の協議

【安東】朝鮮圖書館協會及び滿鐵圖書館を打つて一丸とし相互に業務の改造革新を目的として生れ出た滿鮮圖書館協會では燈下親むべき讀書シーズンに入つたこの二十五日を卜して第一回協議會を安東で開催することゝなつた、朝鮮側からは朝鮮鐵道、總督府、京城府立、城大附屬の各圖書館、滿洲側は全滿各地より約四十名が會合し二十五日午前八時より正午まで左記議題に就き協議をなし午後は滿鮮對抗のスポンヂ野球を行ひ同夜は懇親宴を張る豫定であるが新らしい試みとして期待されてゐる

一、滿鮮に於ける圖書蒐集上連絡を計りたきこと

一、滿鮮に於ける圖書館經營上留意すべき事項如何（以上朝鮮側提議）

一、滿鮮に於ける各圖書館研究會の作業連絡に就て

一、移動書架の實施並にこれに依る藏書整理の實績に關する件（以上滿洲側提議）

朝鮮山林大會 安東で開催

【安東】朝鮮山林大會は來る二十五、六兩日新義州で開催されるが右出席者の中約四百名は二十六日午後來安、四時より鎭江山廣場に於て安東市民有志（木商、地事、採木、商議が主體）の歡迎會に臨

愛川村の米作 虫害で五割減收

【金州】關東州最初の農業移民地である愛川村水田は灌漑排水の設備も完備し水利の便も開けて近年好成績を擧げつゝあつたが、今年は來襲した葉捲虫其他の蟲害を蒙りたる爲收穫高に於て約五割の減收を豫想され恐慌を來して尙其他の水田も之等蟲害の減收の見込である

海林に忠靈塔

【鞍山】鞍山守備第六大隊から海林方面の反吉林軍の討伐に當時報道した通りであるが東部線、海林附近居住邦人は田支隊の功績と同方面に於ける行ひ多大の功績を樹てたこの戰死を遂げた忠勇義烈なる英靈を永久に祭祀し、赫々たる動を後世に殘さんと海林の（通稱海林富士）頂上に忠靈塔を建設すべく計畫し、既に諸備を整ひ其計畫を報ずると共に關に於ける戰死者の官等級鞍山第六大隊本部に問ひ合せた

成田特務曹長らに 表彰授與と告別式

【錦州】去る九月九日洪家…に匪賊討伐に出動し名譽の戰死を遂げたる步兵○○聯隊第○…成田特務曹長及び其の部下…士に二十日午前八時半より…に於て西○聯隊の表彰授與…

戎克船積貨物 に新章程適用

【安東】安東海關では過般滿洲國財政部より發令された新規則の趣旨に準じすべて中華民國戎克船積貨物に對しては來る二十五日以降新章程に從つて輸出入稅を課することゝなつたが、積荷檢査の便宜上二十五日以後安東港出入の戎克は全部五道溝及び六道溝兩河口間の河岸に碇泊せしめることゝなり二十日附告示第八號を以て布告を發した

洮南の軍事 郵便局業績

【洮南】洮南軍事郵便局は目下局員四名なるが最近皇軍の洮南經由及び在住民、滿洲國人の利用さみに增加せる爲め局員一同正に不眠不休の狀態にあり、近く二名の增員ある模樣、左は最近一ケ月分の統計

軍事郵便引受件數	五萬七千八百
同　交付件數	二萬五千
爲替貯金取扱件數	五百二十件
爲替貯金入金額	二萬一千八百圓
爲替貯金拂渡金	二千五十七圓

北滿の水害は 通信に無影響

【奉天】藤原郵務司長の東京行を見送り旁々事務打合せのため來奉したハルビン電政局長岐部與平氏は語る

北滿方面の水害は損害も非常に多大であるが、ハルビン道裡は全部排水作業を終り傅家甸の方は水溜のまゝ結氷することだらう、このため通信關係には何等影響を受けなかつた、ソウエートと滿洲國との間に修交關係が締結された曉は勿論從來の懸案であつた東支の通信機關との間に細目の交渉が行はれるだらうが現在では別に問題となつてゐない、と

金州

黃金臺ホテル分館

旅順大和ホテル黃金臺分館は二十五日限り閉鎖する事となつた

送別庭球試合

民政署員は二十三日午前八…新市街新コートに於て安永…の送別庭球試合を行つたが…四十餘名に上りなかなかの…であつた

新舊署長送別會

關東廳地方課長に榮轉せし…民政署長、大連民政署地方…り金州署長に着任せる大和…長の歡送迎會は二十二日午…より小學校講堂に於て催さ…集まる者金州在住日滿人有…百名、着席するや岩間德也…を代表して挨拶を述べ、安…長は起つて在任中の謝辭を…離別を惜み、大和田署長も…希望を述べて盛宴に入り貴…長の發聲にて新舊署長の萬…唱、安永氏亦金州の萬歲を…て午後七時散會した

大和田新署長着任

大連民政署地方課長より拔擢…て金州民政署長となつた大和…務官は二十二日午後一時五…金州着の列車にて日滿官民…出迎へを受けて着任、直に…參拜の上、民政署に於て署…任の挨拶と訓示を與へて後…署長より事務の引繼を受けた

安永署長離金

…方課長に榮轉した安永前金州…署長は二十四日午前九時家族…自動車にて多數官民に名殘…れつゝ赴任の爲離金した

瓦房店

射擊競技會

大內鄕軍分會長は管內に於け…賊の狀勢に鑑み射擊術の訓…の目的を以て、二十三日午前…より守備隊射擊場で鄕軍警…備隊青年團青訓等の射擊競技…開催した、此の日前夜迄降り…續いた天候も天佑と云ふ…ラリッと晴れ風なく雲なく…い射擊日和であつた、…に滿ちた精銳我こそ天下の…今日こそはと心に必勝を秘め…

鞍山

振武館 建設委員會

三人組强盜

鐵嶺

記念塔竣工式

日語修業證書授與

小學校運動會

四平街

マラソン大會

協和會より弔慰金

旅順

柔劍道進級者

窃盜犯人就縛

テニス試合成績

撫順

自衛團に武器充實

聯合婦人會の寄附

觀察團

公安隊の出動

佟局長就任挨拶

奉天

小林中將北滿視察

棚橋伍長遺骨

チチハル

增員警官着任

電報取扱開始

入江滿電專務招待

閻市民觀覽會

祝大滿洲國承認

學童使節歡迎送會

ようこそ！いらつしやい
輝く使命をになふ平和の童子を招く

うすりい丸で來連した訪滿學童使節一行は二十四日午後一時二十分から大連聯學會、大每大連支局及び本社の合同主催の協和會館における訪滿學童使節歡送迎會場に臨んだ、これより先會場は小川市長始め全市各小學校、公學堂生徒等千餘名が會集し學童使節の到着を待つ、定刻より二十分遲れ午後一時二十分歡迎歡演奏裡に學童使節一同引率者西村博士以下壇上の

席に着けば 會衆拍手を

以てこれを迎へ先づ佐賀本社營業局長立つて

先頃滿洲から母國を訪問した六名の少女使節の答禮として今度滿洲へ元氣な皆樣をお迎へ出來た事は心から嬉しいことである この純眞な朗かな少年少女達によつて今後日本及滿洲が一層親交の度が高めらるゝといふ意味で非常に重大な任務を有せられる皆樣は、直ちに奧に旅立たれるのですからこゝで私は皆樣に「よく御出で下さいました、何うぞ行つていらつしやい、御機嫌よく」と申してお迎へと御送りの言葉とする

と開會を宣し續いて一同起立、君が代を合唱し小川市長、名村大每支局長の歡迎の辭あり松山社長もまた歡迎の辭として

日本と滿洲は東洋の平和惹いては世界の平和のため仲よく兄弟の如く握手提携して行かねばならぬが仲よくして行くには先づ人と人とが仲よくして行かねばならないそれには

皆樣の樣な 元氣な純な

子供さん達が一番適して居て親睦の効果は最も大きいのであるそして代表して來られた全日本の學童八百萬人分の力を以つて日本と滿洲國とが完全に手を取り合ふ時は皆さんが大人になつた時始めてぞさいふ強い意氣で正義のために固い決心の下に今回の重任を元氣に無事に勤め果して來らるゝ樣に希望する

との意味を述べる次いで札幌市西創成小學校の山口豐君は學童使節を代表して全關東州學童に宛た別項の如き永井拓相のメッセージを朗讀しこれより大連市學童代表の歡迎の辭に移る先づ日本橋小學校今中良平君は元氣一杯に

漸く光明に 滿ちた協和

の樂土たる滿洲へ今度元氣な皆樣が重大任務を帶びてお出でになつたが先づ身體を大切に元氣で各所に大任を果されて無事歸國なさる樣に訴へてゐる

と挨拶を述べる、また伏見臺公學堂陳淑芝さんは滿洲語李淑嫺さんが之を日本語に譯して

先頃御國を訪問した我々の少女使節が皆さんのお友達と仲よくして頂きまた盛大な御歡迎を受けましたことをお禮申します、どうぞ御元氣に滿洲各地で我々のお友達と仲よくなさるやう御

願いする

と歡迎する、これに對して金澤市松ケ谷町小學校荒川宏君が

關東州の皆さんが日本國民の前衛として御勤き下すつて茲に敬愛する兄弟國の滿洲國が成立した事は我々は實に愉快であります

出發に際し首相、文相、外相、拓相、陸相の

各大臣から 滿洲の友達

と仲よくして來いとのお仰せに我々は先づ日滿のため、東洋の平和のため手をさつて更に大きくは世界の平和のために握手しに來ました、我々は子供ですが

この重大な任務をきつと元氣に果します

と男らしい決意を示し、横濱市青木少學校小笠原秀子さんは

私共は次の二つの使命を果しに參りました、一つは先頃皆樣方の代表として六人の少女方が私共のお友達として仲よくして頂き良く日本の國を見て頂いた上色々な御土産澤山頂戴しましたことを日本の少女達に代つて御禮を申しに參つたのと又一つは大滿洲國の

お父樣たる 本庄將軍の

「自分は以前と變らぬ元氣でゐる大連へ行つたら皆さんに呉れぐもよろしくいつてくれ」との御言葉をお傳へに參つたのであります、私共は御國の爲めに盡くす關東州の皆樣に厚く御禮を申し上げます

と凜々しい少女の誠心籠めた答辭に會集一同を涙ぐましめた、次ぎに引率者を代表して大每編輯顧問西村博士より

この大歡迎を受け只今涙でもつてこの光景を見てゐます、大滿洲國の頭であり足である大連の皆樣が滿洲國のため又我帝國の前衛として種々な苦勞をして居られる皆樣は全く涙なしには見られません、日本と滿洲は互に提携して世界の平和といふ奧の院の

鳥居の兩柱 と捧げられ

てゐることに御禮申し上げる

と挨拶あり次いで美しい記念寫眞を佐賀本社營業局長より學童使節一同に贈り大連婦人團聯合會よりの花束、記念品の贈呈を終り一同本社募集の滿蒙維新の歌を合唱して二時半休憩に入つた

本社主催の歡迎送會

【上圖】『滿洲維新の歌』を合唱する會衆【下右圖】學童代表のメッセージ朗讀【下左圖】小川市長の歡迎の辭

滿洲建國を祝ぐ 兒童劇『筍の春』
在連の日滿學童と交驩學藝會を開く

學童使節歡送迎會は一旦休憩した後引續き午後三時より學童使節と在連各小學校並に公學堂兒童の

交驩學藝會 を開催

した先づ本社高橋事業部長の紹介にて伏見臺小學兒童の唱歌「我等の陸軍」に始まり、南山麓小學長原治子田中房子兩孃の舞踊「守れよ滿洲」は面白く春日小學校の「兵隊ごつこ」で可憐な處を見せて學童使節を喜ばせた、土佐町公學堂袁玉田孃の滿洲武術には奇美な可愛い眼を瞠り、松林の加藤島田兩孃のダンス「ワルツ」及び嶺前の島田安子孃外六名の舞踊「花園」と進み常盤小學澄田靜子孃の日本舞踊「夢賀彥兵衛」は優しく伏見臺公學堂兒童の滿洲語唱歌「登高」及び日本語「輜重」に拍手する等

日滿親善の 美しい

情景である大廣場小學舞踊「瀨戸の風景」及び朝日小學校の遊戲「石の地藏さん」は學童使節の疲れを忘れさせた、最後に學童使節一行は附添ひの大阪船場小學訓導田村千世先生脚色の滿洲國の建國を諷諭した兒童劇「筍の春」一幕を演じ筍になる三好忠幸、西尾幸代、山口文二、藤ノ木滿子、松岡達諸君を始め蒙古風原田力、黃土小栗房子、春雨師岡康子、雪山口豐、太陽關根洰子、大和魂高野道雄の諸君や說明役荒川宏君と小笠原秀子、渡邊粹子兩孃で最後に小島君子孃はタクトを振り使節一行總出演で關山豐女史の伴奏に依り建國頌歌を合唱し、小島君子孃が發聲で萬歲を三唱して大歡呼裡にこの一幕を閉じた、終つて日本橋小學校六年生小澤久君の發聲で全員一同日本

帝國の萬歲 を三唱

すれば使節代表西村博士は滿洲國萬歲を唱へ全堂これに和し本社佐賀營業局長の閉會の辭に大交驩會は賑々しく幕を閉ちた、なほ參會の在連入童全部には訪滿學童使節が持參せる內地全國八百萬兒童より贈られた綿菓を配布し使節來訪一の使命をはたした

小川市長から學童およばれ
ヤマトホテルにて

廿五日入港のうすりい丸で來連した訪滿學童使節一行は午後協和會館において催された歡迎會よりヤマトホテルに歸り午後五時ヤマトホテルにおいて開かれた小川大連市長、竹內民政署長合同の歡迎宴に臨んだ、來賓には一行の外に市內各小學校長、各新聞社代表等五十餘名列席しデザートコースに入るや小川市長起つて歡迎の辭を述べ、これに對して一行の附添ひ西村博士懇篤なる謝辭あり、次いで西片滿洲報社長、石田夫人その他數氏の訪滿學童使節に對する希望注意等あつて同八時盛會裡に散會した、尙小川市長より學童使節一行に記念品を贈呈した

學童使節の齎せる
永井拓相のメッセージ
關東州の學童 諸子に告ぐ

滿洲國へ使する日本の學童使節に托して親愛なる關東州の學童諸子へ私の希望を申述ぶる機會を得たことを欣快とする

諸子は平和な關東州で日々愉快に只管學の道に勤むことが出來たことは亂れ勝な滿洲奧地で不安に喘いだ人々の實狀と思ひ合せて如何程仕合せであるか、諸子は其の幸福を充分感謝して居たことゝ思ふ

私が茲に諸子に希望することは昨秋の滿洲事變はどうして起つたか、日本と滿洲とはどの樣な關係にあるかを良く理解せられんことである、今度滿洲に新國家が生れたことは日本にとつても世界にとつても眞に歡ぶべきことである、新滿洲國はこれ迄のやうな暴政を廢して仁愛と正義とに基く正しい明るい政治を行ひこの國に住む凡ての人々が相親和し各民族が互に協和して行く樂土を創り上げやうとして居る、この地に住む人々の幸福の爲には勿論東洋平和の爲にも此の上なき歡びである、私達は斯樣に立派な目的を持つて生れた滿洲國が種々な困難に打克つて健全な發育を遂げることが出來る樣祈らねばならぬと共に滿洲國が其の理想を實現する爲めには滿洲國と日本とが手を握り合つて援け合ふことが何よりも必要であることを知らねばならぬ、兩國民が眞に兄弟の如く相扶け合ひ又大人許りの提携でなく次の時代を作る小國民相互の溫い手と手がしつかり結び合ふとき日本と滿洲國とは親愛其のもの如き完全な善隣友邦と爲ることが出來やう、關東州の地理的關係から見ても、關東州の學童諸子は一段と重い責任があると謂はねばならぬ、絡に私は諸子が滿洲國の學童諸子と相親み相扶け合ふことを念とし益々學びの道に勤まれんことを切望する

紀元二千五百九十二年
昭和七年九月十九日

拓務大臣　永井柳太郎

總裁に書方を 可愛い無心
滿洲に關心を持つ、內地の小學生から手紙

滿洲國承認が如何に內地の子供たちの頭にひゞいたか——二十四日滿鐵本社あて岐阜縣の田舍の小學生から次のやうな手紙が舞ひ込んだ「大きくなつたら滿洲へ行く」といふ意氣込みで「馬賊はもう出ませんか」と心配し林總裁に「書方か寫眞を」と可愛い無心をして

總裁まで「書方」をしてくれるやう手紙を添へて送付した、秘書係室では、早速在京中の總裁まで「書方」をしてくれるや

◇…謹んで申し上げます、滿洲も今度は日本とほんとうの友達となつたことを先生からきいて、僕らは實にうれしくてならないのです、之も閣下の御骨折の御陰です、厚く御禮申上げます（中略）

◇…僕ら五年生の二百人の者は滿洲の寫眞を切拔いて教室にはつてゐます、そしていつも大きくなつたら滿洲へ行かうと思つてゐます

◇…閣下、滿洲はほんとうによい所ですが馬賊はもう出ませんかお友達の國をしつかり守つてあげて下さい（中略）

◇…どうか、閣下の書方か寫眞を一枚送つて下さい、お願ひ申します、ではお體を丈夫にして滿洲を守つて下さい草々

岐阜縣郡上郡八幡小學校
尋五（二百名）總代
八木久吉

南滿洲鐵道會社總裁
林博太郎閣下

一行はけふ 旅順へ

訪滿學童使節一行は二十五日午前七時半臨時バスで旅順を訪問する

けふ戰蹟を見學
旅順訪問のプロ決る

日本學童使節一行は二十五日旅順を訪問するがその日程は左の如し

午前九時關東廳を訪問、當日關東廳表玄關には林特務局長、日下內務局長、田邊總務課長外學務課員六名、米內山旅順民政署長、旅順第一、第二小學校、公學堂各代表學年兒童四百名外に教師十五名が整列して歡迎する林長官代理歡迎の辭を述べ學童使節代表これに應へ次いでメッセージの發表あり、關東廳及び南滿教育會より一行に記念品を贈呈、記念撮影後同九時四十分白玉山に參拜玉串を奉奠、同十時十分市役所訪問同五十分戰利品記念館見學同十一時東鷄冠山同十一時五十分旅順第二小學校講堂において開催の午餐會に出席、午餐會には使節學童一行十五名、附添ひ五名、警務局長、內務局長、秘書課長代理、學務課長、民政署長、民政署庶務課長、市長、學務課員六名、旅順初等學校長五名、兒童代表二十名及び附添ひ五名の六十二名で林長官代理挨拶に次いで歡迎代表これに應へ會食の後旅順側兒童の成績品を閱覽し午後一時三十分萬歲を三唱して第二小學校を出發し同二時〇三高地同五十分旅博物館、同三時半後樂園を見學して同四時第二小學校生百名附屬公學堂生百名園內に集つて兒童代表送別の辭を述べ兒童使節總代これに應へ同四時一行は見送りを受けつゝ同二十分水師營に到着、記念撮影を行ひ同五十分旅大北道路を經て大連に同六時二十分到着の豫定

臨時競馬
第二日の午後

二十四日の星ケ浦競馬第二日目午後よりの成績左の通り尙當日の馬券賣上げは二萬二千三百四十圓

◆第五競馬（濠洲速歩六頭）三千二百米　第一着萬歲（山下騎手）三分四十六秒二、第二着日（…）八分四十六秒二、第三着綠風、配當（單）十一圓…

〔以下競馬成績欄、判讀不能部分多し〕

◆第六競馬（各抽八頭）千八百米　第一着神風（內村騎手）二分卅五秒二、第二着鳳武嵐（首）第三着張飛（八馬身）配當（單）廿二圓九十錢（複）一着六圓六十錢、二着八圓五十錢、三着七圓六十錢

◆第七競馬（秋抽十三頭）千六百米　第一着大星（山下騎手）二分廿七秒四、第二着榮見（半馬身）第三着王玉（半馬身）配當（單）十圓（複）一着六圓四十錢、二着十六圓五十錢、三着廿三圓十錢

◆第八競馬（各抽六頭）千八百米　第一着海猫（二渡騎手）二分…

◆第九競馬（秒抽十三頭）千六百米　第一着日輪（川合騎手）二分十八秒二、第二着玉兎（大差）第三着鳥海（二馬身）配當（單）五圓七十錢（複）一着五圓五十錢、二着七圓九十錢、三着十一圓五十錢

◆第十競馬（各抽九頭）千八百米　第一着美州（福島騎手）二分三二秒四、第二着龍（四馬身）第三着一姬（九馬身）配當（單）六圓六十錢（複）一着五圓六十錢、二着五圓六十錢、三着九圓七十錢

◆第十一競馬（各抽五頭）二千米　第一着三日（山下騎手）二分四十八秒九、第二着五佑（二馬身）第三着惠以（一馬身半）配當（單）五圓十錢（複）一着五圓、二着八圓八十錢

◆第十二競馬（各抽九頭）千八百米　第一着東（保利騎手）二分卅一秒二、第二着祈須野（二馬身）第三着旭（三馬身）配當（單）十三圓八十錢（複）一着五圓六十錢、二着六圓三十錢、三着五圓三十錢

◆第十三競馬（改良新古呼三頭）千八百米　第一着漣（田中騎手）二分十九秒二、第二着三共（大差）第三着石河（二馬身）配當（單）五圓四十錢

健康への早道

一杯一杯と飲む毎にメキくと血色よく體力充實して、病人は恢復を早め健康者は愈々元氣になる「ざりこの」を是非召上れ！

安樂椅子

◇…船中で西村博士から教へられた支那語で「どう有難ふ」「左樣なら」「よいお友達」等を連發して日滿親和の實を示して至る處で大歡迎を受けたが朝日小學校前で兒童の送迎を受けた使節は例に依つて支那語で「どうも有難ふ」としきりにやる「あれは日本人よ」と傍にゐたさきの訪日少女使節附添ひの石田女史に云はれて「さう聽るかつたわれ」と頭をかしげる無邪氣さである。

◇…一行中の廣島代表袋町小學校の小島君子さんは船中でも滿洲へ來て新らしいお友達に逢ふのが嬉しくて飛び廻つてゐたが二十三日夜船々「あす…」を聽いて眠つたが嬉しさのあまり寢てゐる中にふと飛び起き、高い船中ベツトの上段から落ちたさうだ、然し「でも姿落ちた時でもチヤンと行儀よく坐つてゐたのよ」と威張つてゐる。

學童使節は皆可愛らしい坊ちやん嬢ちやん達で自己紹介や挨拶をする時の態度や音聲は堂々たる立派なもので流石全國八百萬の學童代表だけあるとうなづかれる。

けふは日曜

◆大連神社秋季大祭 廿五日午前九時より天神町常安寺に於て例會開催
◆救世軍秋季記念會 廿五日午後二時より王家屯救世軍記念塔前にて催す

末光源藏氏

同氏は曾つて奉天署長、地方委員會議長の要職にあり社會に貢献せるところ少くなかつた、葬儀は二十四日午後四時より橋立町葬祭場で盛大に執行される【奉天電話】

末光源藏氏 豫て盲腸炎にて醫大病院に入院加療中であつた末光源藏氏は二十三日朝八時四十五分遂に逝去した、享年五十五

銀行團野球 リーグ戰

大連銀行團野球聯盟の野球大會に於ける正隆對滿銀戰は二十三日午後四時より滿銀先攻で開始されたが三對二にて正隆惜敗す

戎克風で沈沒

二十四日午前四時五十分頃石灰を滿載した六十石積戎克船德順號（船長王昆金以下二名）は貔子窩へ向け西灣り出港せんとした際突然の旋風のため帆の操縱の自由を失ひそのまゝ沈沒した、幸ひ乘組員は滿鐵小蒸汽に救助されたが貨物の損害約六十圓の見込

早大勝つ
對立教一回戰

【東京二十四日發】六大學リーグ戰早立第一回戰は午後二時三十五分早大先攻にて開始されたが五對零にて早大先づ勝つ、閉戰三時五十二分、バツテリー、スコアー左の如し

早大　佐々木―三浦
立大　菊谷―別井

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早	0	1	1	3	0	0	0	0	0	5

興味の多い 寫眞入懸賞發表

來る二十七日の滿洲日報第二面と六面の二頁續きで、素晴らしい懸賞募集が發表されます、卽ち二頁中に十六店の廣告が掲載されその廣告の中に日本內地と滿洲各地で代表的に有名な名所、舊蹟十六ケ所の寫眞を入れてあり、その內から自分の好きなものを八つだけ選び出し、その寫眞名と廣店名とを官製ハガキで解答することであります、これは、小學生の方も婦人の方も、地理で知られてゐる所ばかりだから頗る興味があるのです應募者には、抽籤の上で左の如き美事な賞品を贈呈しますから奮つて應募して下さい

賞品

一等　クローム側腕時計　一名
二等　高級萬年筆　五名
三等　高級牛乳石鹼 半打宛　十名
四等　萬古二色シヤープペンシル　十五名以上

曙の鐘（416）

倉田潮　河野想多畫

旅藝人（六）

春木が闇にかくれて見てゐるとも知らない春子はそつと戸を開けながら

「泉井さん、泉井さん」

と聲を落して呼んだ。すると、庭を近づいて來た靴の音は立ち止まつて

「春ちゃん」

と呼び返した。春子は安心して背後の戸をしめると、下駄の音を忍びやかに立てながら、男の方に近づいて行つた。

春木は逃げるにも逃げられないで、二三間先の闇に寄りそつてイんでゐる二人の人影を仕方なく見つめてゐた。泉井と呼ばれた男は判然とは解らないが、多分四十前後と思はれる洋服をつけた九州訛のある言葉つきの男だつたが、まだ春子と逢ふのは二度目か三度目らしく、しきりに甘く熱烈な戀の告白をしてから

「春ちゃん、ほんとにあんた、親を捨てゝも私と一緒になつてくれるんだらうね」

と云つた。春子は口笛を吹きながら男の言葉を聞いてゐたが、問には答へないで

「あんた、この間たのんだ御金、持つて來てくれて」

「持つて來ましたとも。丁度今日が會社の、電力會社の月給日でしたから」

と取出して渡す金を受けとつてから

「何うして私があんたと一緒にならずにゐられるでせうか。初戀でまた最後の戀人のあんたと別れて何で私が生きてゐられるでせう」

「私も、春ちゃん、あなたの爲に妻も捨てます、子も捨てます」

と男は顫へ聲で云つた。聞いてゐる春木は春子の正體を見届けたと思つたが、先程の若い衆を憐んでも、妻子のある此の男を憐むことは出來なかつた。同時にかうした世渡りを續けて來たであらう春子を「食をつないで貰つてゐる爲め」か、別に憎む氣も起らなかつた。孤兒として今迄いろ〳〵不幸な經過を受けて來たらしい彼女は、今かう云ふ方法で社會に酬つて復讐をしてゐるのではないかと思はれるだけだつた。泉井と云ふ男はなほも言葉をついで

「では、二人で此の土地をたつのは何時にしませうね」

「私、雨があがつてから三日過ぎた日の夜がよいと思つてゐるの。それまでにあなたも十分よく仕度をして待つてゐて下さい。私もその日まで此處に逗留してゐますから」

「では、さうしませう」

「それまでは人に氣づかれるといけないですから、もう逢はないことにしませう。此の土地をたてば毎日でも逢へますからね。たゞ荷物を一度にはこび出すと、あなたの家の者に氣づかれるといけないなら、先に此の宿へ大切な物だけ持ちはこんでおくといゝわ。私、持つて行く物と云つて、お恥しいことですが殆どないですから、あなたの物を持ちはこぶ手傳ひをしてあげてもいゝと思ふの」

「では　さうしませう」

と話し合ひながら二人は庭を横切つて納舍の方に近づいて行つた。春木はやう〳〵釋放されて家の内に這入つたが、いよ〳〵出ていよ〳〵怪しい春子の正體に、今は驚き呆れずにはゐられなかつた。

それにしても此の事實をそのまゝ柳澤千引と云ふ、あの村の青年に打ちあけて、諦めさせた方がよいか、それとも春子に柳澤の切なる戀を說いて、反省をうながした方がよいか。春木はつひに後の考へを實行して見ることにした。

次日は雨も晴れかかつて、春子の出立の日も迫つて來たと思つたので、春木は午後の食事をすました後で春子を庭に呼び、先づ柳澤が昨夜訪れて來たことを話して、本當に結婚する氣かと訊いて見た

柳壇

銀高　高橋月南選

銀高に支那要人の腹太り　小倉　中村土太郎
銀高へ豚饅頭は小さくなり　大連　赤井　一村
銀高へ狂ひがちなる勝手もと　大連　厚田　孤舟
銀高が祟つて下宿のお肴へり　大連　森田　峰男
銀高が當りルンペンのパンが賣れ　普蘭店　河本登志緒
銀高に財界論ずる書休み
損と得二つをさせて銀上り
銀高へブルジョア連平氣なり　奉天　高見不二夫
銀高を口實にする支那商人　奉山線　佐藤　天橋
銀高で滿洲官吏ほくそゑみ　大連　高橋　竹雪
銀高の果報一人でほくそ笑み

自句

銀高に頓着のない割烹會
三越へ銀高さいふ支那の客

滿日柳壇課題

▽題　「全權」「力」「殉職」
▽期　十月三日（各別紙の事）
▽句　各題五句（住所氏名明記）
▽賞　佳吟に薄賞を呈す
△宛　大連市能登町高橋月南

大連　JQAK

九月二十五日

▲午後〇時十分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時十分　ニュース
（以下内地中繼、六時三十分）
▲名曲鑑賞（第十三回）實演富本節「園部祭文漢雪姫道行念玉蔓」富本豐前　同豐千代、同豐賀都、三味線同都路、上調子同豐常　解說石黑千花、淨瑠璃富本豐前
▲漫談「秋の夜話」悟道軒圓玉
▲音曲噺「浮世風呂」柳家枝太郎
（以下大連放送局より）
▲新日本音樂（一）ゑにし（唄横川勝重、琴定村ハル）（二）米搗きて（唄ソプラノ横川勝重、同アルト長濱絹子、琴原口列子）（三）雲のあなた（唄横川勝重、琴板橋勤子）（四）丗の唄（唄横川勝重、琴志摩敏子）尺八木郷義倹　補導福森勾當
▲ニュース
▲氣象通報

第八回　滿日特選碁戰

互先　先番　四段　小杉丁
　　　　　　四段　小島春一

—【6】—

●一〇一タ七　○一〇二ト四
●一〇三リ三　○一〇四ヌ五
●一〇五リ七　○一〇六ソ十四
●一〇七タ九　○一〇八タ十
●一〇九ヨ九　○一一〇レ十
●一一一カ十一
黒中押勝（二一一手終）

對局者の感想

黒く　黒一〇一では一〇六に曲る方が大きくもあるし、たしかでした

白曰く　白一〇二は惡手でした打つに一〇六と押へ込むのでした

白曰く　白一一〇は一〇二からの見損です無論（ヨの十）に押して行かねばならなかつた黒に一一一と打たれて此大石に眼形が無いとは輕卒至極さんざんでした

童話　二羽のうづら

久富榮次郎作

二羽のうづらが海の上を飛んでゐます。今までゐた北の國が、寒くなつたものですから、暖かい南の國へ行かうとしてゐるのです。

青い海は、どこまでもひろがつてゐます。いたづらもの、波は、おもしろさうに踊り狂つてゐます。

二羽とも大分疲れてきました。今朝早く飛び立つてから、まだ一度も休みなしです。休まうにも海ばかりで休むところがありません

「もう一息だよ。元氣を出して飛ばうれ」

兄さんうづらが話しかけました

「うん、元氣を出すよ」

弟うづらは答へました。だがその聲にはいつもの力はありませんでした。

又しばらく飛びました。

空はよく晴れてゐました。ところどころに、白い雲がすい／＼流れてゐます。そしてその青空のまん中には、お日樣がきら／＼輝いてゐます。

のどがかはいて來ました。

「水がのみたいよ」

弟うづらが言ひました。

「だめだよ。あの水はとてもからくて、飲めないよ」

「まだ遠い」

「あゝもう少しだよ。我慢して飛ばうれ」

兄さんうづらはさういつて、バタバタと翅を動かしつゞけました

弟うづらは、うらめしさうに下の廣い海の水をながめながら、これもバタ／＼翅を動かしました。一寸でも翅を休めたら、あの意地悪な海が、大きな口をあけて、一口に呑んでしまうでせう。

二羽のうづらは飛びつゞけました。海と空ばかりの中を飛びつゞけました。時には何百といふ飛魚の群がザザッと波の上に飛び出して、びつくりすることもありました。又白い鴎が

「うづら君、休んでゆきたまへ。水の上は又かくべつだよ」

とからかひながら、キヤツ／＼と笑ふこともありました。

「兄さんまだ?」

疲れきつた弟うづらは、聞えないくらゐの聲でさういひました。

「うん。もう少し」

兄さんうづらもさういつたゞけでした。翅は折れるやうに痛みだしましたし、からだは火のやうに熱くなりました。どうかすると目がクラ／＼して、どこをどう飛んでゐるやらわからぬこともありました。

「自分だつてやつと我慢して飛んでるんだもの。弟はきつと疲れきつてゐるだらう」

兄さんうづらは、さう思ひながら眼をうるませて弟うづらを見ました。

お日樣が波に沈むと、涼しい風がやつて來ました。

「もうすぐですよ。元氣を出して飛ばうれ。それではさようなら」

さういつて二羽のうづらを慰めて、風はすぐに行つてしまひました。

「飛ばうれ。すぐだつてよ。死ぬまで飛ばうれ。きつといゝ野原が待つてゐるよ。れ、きつとだよ」

兄さんうづらは、弟うづらを勵まして、幾千萬のお星樣にまもられながら、どこまでもどこまでも飛びつゞけました。

手工　踊るタコや　コルクの栓の犬君

けふは古いハガキと木の糸卷芯で出來る「踊タコ」とコルクの栓で出來る犬の手工をして遊びませう

をどりタコ

古いハガキを高さ二寸五分、幅三寸の長方形に切つて（甲圖）の樣に上と下に七八ケ所の切り込みを入れます、次に木のツヅミ形の糸卷芯をとり（乙圖）の樣に上緣の切り込みにノリをつけて糸卷芯の下の緣にはりつけますと八本の足のある圓筒が出來ます、そこで糸卷の中央にタコのカホをかきます いまこのタコをうすい板か、お盆の上にのせて、左の手で水平に支へて、右の手で左手の手クビを打てば、タコはその板の上をおもしろおかしくをどりまわります

コルク栓の犬

ブドー酒あるひはビールのコルク栓をとつて、犬の胴にします、頭とシツポはボール紙で切りぬき、胴の前端と後端とに切り込みを入れてはめます、また足には四本のマッチの棒を圖の樣につけます、これで犬が出來ましたが、頭とシツポをかへるといろいろの動物が出來るわけです

第十三回　こどもの考へもの

大威張で歩く　この人に變な所が……

みなさんこの寫眞をよくみてください、大へん威張つて歩いてゐるようですが、どこかに間違つたところがありますれ、わかつた方はハガキで來る十月二日までに大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附錄」係あてにお答へ下さい、いつもの樣に二十名にご褒美を差上げます

第十一回の答は朝てす

みなさんは朝起きでニハトリの鳴くのをよくきみえて今度のお答へはほとんどの人が當つてゐましたので、籤をひいて、次の人々へご褒美をあげることにしました、沿線の方には直接お送りしますが大連市内の方には當籤のハガキを出しますから本社でそれをご褒美と引かへて下さい

×　×

なほご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱はどうかお菓子やさんの支部事務の「戰傷兵士を勞りませう」と書いた箱に入れて下さい

當籤者

▲旅順市司令町永長隆▲鏡子高東街澤純夫▲瓦房店白山街安生百合子▲奉天平安街桃木野雄▲撫順西五條宮地公子▲公主嶺敷島町小松三郎▲鐵嶺若竹町濱野昌江▲大連市清水町寺田善▲大連市鳴鶴臺岡健次郎▲大連市朝日町勝野良行▲大連市霧島町最上五郎▲大連市聖徳街大石實▲大連市韮町山本滿人▲大連市山手町北泉知己▲大連市淡路町中西久子▲大連市磐城町森岡英之輔▲大連市下葭町小林伸雄▲大連市沙河口京町岡留ナチコ▲大連市須磨町谷津治男

少年鼓手　ジョニー・クレム
アメリカのこどもが一番すきな兵隊さん

アメリカの老將軍ジョニー・クレム少將は今年八十一回の誕生日のお祝ひをしましたが、まだなかなかの元氣でお友達やアメリカの子供から「シロウの少年鼓手」といふあだなで呼ばれてゐます、八十二歳の老少將に少年鼓手といふあだなはおかしいですが、これにはわけがあるのです、クレム少將は十歳のときから戰場に出ました、それはあの有名な南北戰爭のときでした、そのころ十歳であつたクレム君は戰爭に行きたくてしかたがなかつたので、たび／＼兵隊さんにして下さいといつて方々の兵營を歩きまわりましたが、何しろあまり小さいのでことわられました

しかしクレム君は何時までも熱心にたのみましたので、とう／＼しまひには隊長さんたちも感心して少年鼓手にやとうことになりミシガン軍に入れました、たつた十歳のクレム君は軍服をきて大いばりで戰爭に出ましたが、とても勇敢でいつもミシガン軍の一番先頭にたつて勇ましく太鼓をたゝいてゐました、或るときなどはクレム君の軍帽に敵の彈丸が三發もあたつたこともありましたが不思議にカスリきず一つうけず、とう／＼「小ジョニークレム」と呼ばれミシガン軍の人氣者になりました、そして間もなく一人前の鼓手になりました、その後米西戰爭やいろ／＼の戰爭にも出てとう／＼少將になり、今はニューヨークに住んでゐますが

アメリカの子供に「一番すきな兵隊さんはだれだ」とたづねると皆な「少年鼓手ジョニー・クレム」だと答へるそうです

兩足のない水泳選手　ドウバー海峽を往復する

チヤールス・ジーベルマンは有名な足のない水泳選手です、昨年日本にも來ましたが最近ロンドンでドウバー海峽を横斷することを發表しました、ジーベルマン君は兩方の足がないのですが、大變上手に泳ぎ、しかも大變早く泳ぎます今度のドウバー海峽横斷はなかなか大仕事です、それに唯の横斷ではなく、休みなしに往復するのだそうです、そして必ず七十時間の内にやつてしまうといつてゐるそうです、これにはさすがのびのびとしてゐるロンドンの人々もびつくりしてしまつたそうです

グワイコクカラ ミナサンヘ コンナ シヤシン ガ ツキマシタ

イギリス ノ ジヨージ五セイ ヘイカ ハ ヨツト ノ キヤウソウ ニ オハイリ ニ ナツテ ノリクミ ノ ヒトタチ ト イツシヨ ニ オハタラキ ニ ナリマシタ コレハ ソノ トキ ノ オシヤシン デス。↑

↑セカイイツシユウヒカウ ヲ オハツテ カヘツテ クル ニユウシ ヲ デムカヘ ニ デタ アメリカ ノカイグンヒカウキ デス ナント イサマシイ デハ アリマセンカ

↑アメリカヒヨウ ミナミアメリカ ニ スンデ ヰマス ガ オハラ ガ スクト コウヤツテ バナナ ヲ トツテ タベルノデス ウラヤマシク アリマセン カ

↑アリクヒ コレ モ ミナミアメリカ ニ ヰル ドウブツ デス イマ アリ ヲ タクサン タベテ キモチ ヨサソウ ニ キノ ウヘ デ オヒルネ シテ ヰル トコロ デス

オホトカゲ（イグアナ） ニホン ニハ チイサナ トカゲ シカ ヰマセン ガ ミナミアメリカ ニハ コンナ オホキイ ノ ガ ヰルデス ↑

米國第一の 家族もち 八十六さいで 百二十八人

今年八十六で死んだアメリカのジエームス・チエストナットといふ人は百二十八人の子供やまごを持つてゐて、アメリカ第一の家族持ちだといはれてゐました、チエストナット爺さんは十一人の子供を持つてゐましたが、その十一人の子供から三十六人の子供、つまりお爺さんの孫が生れました、そしてその孫がまた子供を生みましたが日本でいふひいまごですが、それが七十五人生れました、そしてチエストナット爺さんが死ぬまでにひいまごの子供が又四人生れました、アメリカで生きてゐるうちに百二十八人の家族を持つた人はまだ一人もゐないそうですが、世界でもあまりないでせう

長さ八尺もある 電氣うなぎ 四百ボルトの電氣をおこし 人間をわけなく倒す

今ロンドンで一番人氣をあつめてゐるのはロンドン大水族館の電氣うなぎだそうです、この電氣うなぎは長さが八尺もあつて、しかもその四分の三、つまり六尺はシッポです、ですから、シッポの中にからだがあるといつた方がいい位ですが、この六尺のシッポの中で電氣がおこるのです、何か自分の敵が來ると電氣うなぎはすぐ電氣をおこすのですが、四百ボルト位の電氣はわけなく起り人間位は平氣で斃してしまひます、南アメリカのアマゾン河といふ大きな河にすんでゐる動物ですが、アマゾン河地方を旅する人は先づ馬を河の中におひ込んで電氣うなぎがゐるかゐないかをしらべてから河をわたるそうです

時間をまもらないと 罰金

伊勢の津といふ町にある銀行の組合では今度時間の勵行をはかるためにきびしい規則をつくり、この組合の人はどんな場合にでもこの規則に從はねばならぬことになりました、その規則とは、ただしい理由なしに時間に遅れた場合は一圓の罰金をとられるので、又組合の人が十人以上集まるやうな場合に遅れると十圓の罰金をとられることになつてゐます、そしてこの組合では、銀行に勤めてゐる人ばかりでなく、どんな人でも會に入るやうにすゝめてゐますが、このため人々が非常に時間を守るやうになつたそうです

大空に翻るエロとグロ

秋の大空にへンポン五層の高樓な遙かに抜いて翻へる彼女のスカート●いなせな浴衣等々……こいつもエログロ一束でありますけれど首吊つた多くの品々が夏物だけに涼風そよぐけふこのごろマダム達の心掛けのよさ？なと思ふんです。
——ヤマトホテル洗濯部にて▽

坊やたちもおつきあい

冬への間近かに衣縫ふ母は忙しいけれど、おばあちゃんに抱かれた坊やたちはなかなか寝つきさうにもない、パパが歸つたら「おやまだ起きてゐるのか」と驚くでせう

秋やうやく酣に、どこの家庭でも夏物の始末冬の仕度に忙しい。夜を鳴き通すこほろぎにもなんとなく心せかれる思ひですネ、キヤメラに映つたせわしい秋の情景五つ六つ……題して「肩はいて裾つけ」といひます

紺屋の白エプロン

幾重にもほされた染物の間に挟まつて働くおばさんはなんと「紺屋の白袴」ならぬ白エプロンに白足袋なんです赤く染まらう、黒くならうとよけいなおせつかいは無用です。なんといつても今が書入れなんですから——
大阪屋にて

ても情けない

ズラリッと並んだ娘さん達の手はなんと機械的に、急速度に、働くことよ、そして新らしいセル着が冬着がドンドン仕立てあげられてゆきます……でも情けない彼女らはお小用にも立てないんです
——三越裁縫部にて

こたへもトンチンカン

そつと忍びよつて失禮とは思ひながらパチリ……「やあ失禮いたしました」挨拶すると不意を喰つた若奥さん「ありがたうございました」と應へもトンチンカン、だが「しんし」は手際よく次からつぎへ伸びてゆく……

天井の彼女

天井に並んだ美しい縞模様、冬に備へるうら若い彼女たちの衣裳がそのまま秋の色をなしてゐる、染物やさんも書入れ時です。

今週の献立

	朝	晝	晩
日	1トースト 2南瓜のバタ炒 3紅茶	親子飯 奈良漬	1小鰺の塩焼、筆生姜 2茄子のしぎ焼 3落芋清汁
月	1蕪の味噌汁 2切するめ照煮	煎り卵の花	1豚肉とキャベツの芥子和 2赤だし蜆汁、粉山椒
火	1青菜、油揚味噌汁 2納豆とき辛子	コンビーフ莢いんげんバタ炒	1糟漬鯛魚 2枝豆にんじんの白和
水	1鮭のトースト 2果物 3紅茶	梅干 焼海苔	1豆腐揚出しおろし大根 2里芋切そぼろ、甘煮おろし柚子
木	1短冊茄子味噌汁 2雑魚佃煮 3おろし大根	金平ごぼう 甘藷のかんろ煮	1芝海老、青豆、小蕪のクリーム煮 2鰯つみ入、みつば清汁
金	1豆腐白味噌汁 しゆんぎく細々 2茄子辛子漬 3うづら豆甘煮	粕漬鮭焼 蓮根甘酢	1牛肉玉葱のかき揚、おろし大根 2きうりの胡麻酢和
土	1わかめ味噌汁 2林檎おろし和 3半熟卵子	こんにやく、里芋、さつま揚の煮込でんがく	1グリンピース、スープ 2蟹のフライエッグス 3野菜サラダ(人参、じやが芋、グリンピース)

親子飯

▲材料(五人前)=白米五合、鶏挽肉五十匁、卵子五個、青豆少々、味淋七勺、醤油五勺、酒五勺、鹽少々

▲方法=これは普通の親子丼とは味も體裁も全く異つたものです先づ鍋に味淋五勺、油五勺を煮立て鶏挽肉を入れて箸でかきまぜ、醤油五勺を入れて一寸煮て味をなじみこませ鍋を下し肉だけ引上げます、白米はよく洗ひ鶏の煮汁と水を加へ水加減して炊き上げ鶏肉半分を混ぜます、玉子五個はよく割りほぐし砂糖、鹽、味淋、味の素にて味をつけ極細かく炒ります青豆は鹽ゆでにし熱湯を通し飯を丼又は皿に盛りその上に半分は鶏肉、半分は炒り卵子と云ふやうに盛り其上から青豆をばらくと散らします

芝えび、青豆小蕪のクリーム煮

▲材料=芝えび百五十匁、青豆二分の一鑵、小蕪十個、バター中一匙、メリケン粉一杯、牛乳一合五勺、スープ一合、鹽、胡椒

▲方法=芝えびはよく洗つてさつと鹽茹でにし殻をとり、青豆は鑵から出してよく洗ひ、小蕪は適宜にきり軟かくゆでておきます次に鍋にバターを溶かしメリケン粉を入れてこがさぬやうにいため牛乳とスープとを少しづつまぜて手早くかきまぜなめらかに軟かいホワイトソースが出來ましたら右の材料を全部入れ中火でとつぷりと煮込み鹽、胡椒で味をつけます

蟹フライエッグス

▲材料=蟹の鑵詰中一個、卵子十個、鹽、胡椒、フライ油

▲方法=蟹は生ならば鹽蒸にして身を出し鑵詰ならば殻などの混ぢりゐるものをよくとりのぞき身をほぐしおきます、フライ鍋に油を引き弱火にかけ黄味をこはさぬやうに卵をしづかに割りこみ黄味を形よく眞中におき白味の上に蟹をのせ軽く鹽胡椒して上から蓋をして蒸焼にしますこれを皿にうつしパセリを飾つてすゝめます

鮭のトースト

▲材料=鮭鑵詰一個、食パン一斤半、マヨネーズソース、パセリ

▲方法 先づマヨネーズソースをつくります(始終出てまゐりますから省きます)次に鮭は鑵から出し笊にとり熱湯をさつとかけて臭みをぬき小骨をとりばらばらに身をほぐします、食パンは三分位に切りこんがりと兩面を焼いて片面にバターをぬりその上に鮭を一面に平にのせ、更にその上にマヨネーズソースをしぼり出し袋に入れてきれいにしぼり出し上からみじんパセリをばらりとまきます、これを皿に三片程盛りパセリを飾つてすゝめます

金頂山眞武廟内の倭寇に關する碑

伏勢に退路斷れて 二千の倭寇が潰滅

六百年前の史跡を普蘭店に訪ふ

望海堝のはなし

州内には

倭寇に關する遺跡が非常に澤山殘つてゐます文献によれば金州衛(大體現在の州内)に七十三座の墩架を設け更に州内各地に小城を設けて倭寇にそなへたさいはれてゐますが、現在でもこの墩架、小城は半くづれさなつて殘つてゐます、墩架さいふものは見張り臺や烽火臺のことで、何れにしても外敵の看守所であります、旅順線に乘つて大連から少し行きますと右手に當つて石を積み上げたものが見えますがこれもその墩架の一つです、倭寇に關する從來の解釋は大變間違つてゐるやうです、支那の文献には日本邊民中、沿岸漁利に飽たらぬ者が、朝鮮沿海より山東遼東方面を始め、南支方面まで抄掠しまわつた、これを倭寇さいふと殘つてゐますが、これは勿論支那の文献ですから惡く書かれてゐるのは當然です、つまり一種の海賊さして取扱はれ、元來明初の頃から文献に現はれてゐます、我が國に於ても現在では大ていの人が倭寇さいへば支那沿岸を荒した日本の海賊の如く考へてゐる人が多いやうです然しその後各方面の權威者によつて調査された結果によりますさ

わが南朝

の遺臣達が國内に志を得ずして海に進出し外國行つたものが倭寇の中心人物で、倭寇が戰ひを餘儀なくされた理由は目的地に就いて交易を行ひその意に滿たないさきに始めて非常手段を取つたさいふのが本當のやうです、しかも倭寇について慘虐な數々の話が殘つてゐますが、これは朝鮮、或は支那の本當の海賊が倭寇の名を借りて行つたものがその大部分のやうです、又本當の倭寇の中にも日本人の手先として朝鮮人や支那人が相當加はつてをり、日本人の命令に反した慘虐な行爲も大分行つたやうです、そうして此等朝鮮人、支那人の行爲は全部眞實の倭寇の行爲さして誤り傳へられ、今日倭寇は日本の海賊の樣に信じられたもののらしいのです

……×……

さて關東州内に殘つてゐる倭寇の遺跡ですが、このうちで最も大きく、又最も研究家に知られてゐるものは普蘭店管内亮甲店會王家店の望海堝です、この望海堝は德利形をした小城で、現在では研究家達によつて掘りかへされ、朧げに外形がわかる程度で、たゞ烽火臺だけは割合完全に殘つてゐます、この烽火臺は歷史的に非常に有名なところで、歷史に殘つてゐるところによれば望海堝並に近くの櫻桃園に於て倭寇二千餘人が全滅したところであります

それは明

の永樂十七年の夏六月(今から約六百年前)二千人の倭寇が朝鮮から大擧して來るさいふ知らせが金州衛の軍都督劉江の耳に入りました、これを知つた軍都督劉江は、直に管内七十三座の墩架に命じて警戒を嚴重にするさ共に、望海堝を中心に手兵の配備計畫をたてました、望海堝は俄造りの小城ではありますが高地にあるため地形からいへば敵を眼下に見ることの出來るやうな最も有利なところであります、劉江の戰鬪準備が完全にできあがつた直後の或る夜、内報の通り二千餘人の倭寇が三十餘隻の船に分乘して普蘭店管内正明寺會の馬雄島に碇泊しました、海上にチラ〳〵と見える灯影で倭寇の來たことを知つた劉軍では、直に烽火臺に信號の狼火を擧げて警戒つきましたが、一方倭寇の方でも金州衛附近の住民に全然交易の意志なく、それのみか既に戰鬪準備の出來てゐることを知つたので、曉を待つて一大決戰を行ふことになりました

拂曉から

倭寇は馬雄半島の北岸から上陸を開始しました、そして防禦軍の本據を一擧にして奪取すべく望海堝めざして殺到して來ました、しかし、あらかじめ倭寇の來ることを知つてゐた劉江軍に手ぬかりのあらう筈はありません、遼東志によれば――劉江親く全軍を指揮し、先づ倭寇の上陸に先だつて馬に充分の秣草を喰ましめ、兵は糧を取つて元氣を養つてゐました、更に劉都督の部下徐剛は一部隊を率ゐて伏兵さなり海岸近くの山かげに潜み、又百戸長姜隆は別働隊を率ゐて倭寇上陸後の倭船を襲擊すべく手配して同じく山かげに忍んでをり、旗と號砲によつて行動をさるべく命ぜられてゐました、つまりこの伏兵は何れも倭寇の退路を遮斷するためで、袋の鼠さして全滅せしめる計畫がたてられてゐたのですさあります、從つて防禦軍の作戰が如何に周到であつたかおわかりでせう

……×……

上陸を敢行した倭寇軍は一氣に望海堝に向つて進んで來ました、戰鬪隊形は想像することが出來ませんが、戰鬪振に就いて記錄に現はれたところによるさ、毎隊三十人位で、隊の間隔を約一支里にとつて進み、法螺を吹いて相救援すさあります、又遼東志には倭寇直に堝(望海堝のこと)下に迫る、一賊(多分指揮官のこと)あり、貌甚だ醜惡、諸賊を率ゐて無人の境を入る……さありますから、倭寇の進擊はなか〳〵凄かつたものさ思へます、しかしこれは結局防備軍の作戰に陷つた結果さなりました、近づけるだけ近づけた防備軍は伏兵を發して、留守の倭船を燒き拂ひ完全に倭寇の退路を遮斷することに成功しました

◇

唯一の根據たる船隊を燒かれ退路を斷たれては、如何に突擊するのが隼の如く、その去るのが疾風の如しさ唱はれた倭寇も全く進退谷まりました、そうして一たん望海堝の下より退き、近くの櫻桃園の積堡に逃げ込みましたが、結局、劉江卽ち軍を合してこれを圍み擒戮遺す所なし……さいふことになり、倭寇軍は全滅しました、この戰ひは辰より始まつて酉に至るさありますから、恰も今の午前八時に始まつて午後六時に及んだのであります、遼東志五卷の劉江傳には「生擒するもの八百五十七名、斬首するもの七百四十二級、後倭遂に絶す」さあり又、某書には「殘に蒼海紅に變じ、風醒さし」さのべてあります

望海堝の

位置は前南京書院長岩間德也氏が發見して亮甲店會金頂山眞武廟にある碑記によつて明かさなりましたが、眞實倭寇最後の地さなつた櫻桃園は記錄がないため未だに判明してゐません、望海堝には有名な鳥井博士等もしば〳〵調査に行つてをり、又毎年研究家が大勢赴くそうですが、こゝからは又石器時代の遺物も澤山出るのでアマチュア研究家達は大喜びです、なほ遼東志には「後倭遂に絶す」さありますこれは出賊緯目で、その後も倭寇は非常な勢力を南支方面にまで伸ばし、最後には支那沿岸だけでは飽き足らず、更に驥足を南方に延し、ヒリッピン群島、マラッカ海峡の邊まで襲つて「八幡船」「日本甲蝶」の名によつて世界の人々より恐れられ、海國男兒の意氣を遺憾なく發揮したものです。

【寫眞は望海堝保壘内の烽火臺×印】

落語 ムチヤ語

桂小文治

エヘ支那語!?

嘘つけ日本語だい

よく覺えておけ支那語だ

落語も聞くのと活字にして御覽に入れますのと大變な差が御座います、高座で喋つて御機嫌を取結ぶのは樂で御座いますが活字で御覽に入れますのは少し苦に御座います。現代のやうに何事も外國化するさ妙な人間が出來て參ります。

喜「今日は」甚「よくお這入り」喜「ア、いつお歸りに成りました」甚「我輩か一昨日郵船で神戸へ上陸して神戸から燕で歸りました」喜「エ、神戸から日本へ歸りましたか」甚「何を云ふ此の人は神戸は日本の土地だぜ」喜「エ、そうですか、いつ占領致しました」甚「何を云ふ馬鹿も好いかげんが好いぜ、神戸迄歸ると陸で早く歸れるから神戸から燕で」喜「ツバメ」

甚「そう燕に乘つて」喜「ヘエあんな小さい島に」甚「馬鹿よくものを考へて云へ特急列車をツバメさ云ふのだ」喜「ヘイ特急がツバメですか」甚「ソウ」喜「ダラダラ列車が雀か」甚「馬鹿云へ」喜「外國で何して居なすつた」甚「學校へ行つた」喜「學校、エ、貴方何歳です」甚「僕か當年取つて五十歳だ」喜「五十で小學校」甚「お前は學校は小學校よか無い樣に思つて居るが外國には學校は澤山ある。老人が入學する學校は老稚園、放蕩大學放蕩大學には專門科が澤山ある、第一に花柳科研究私娼公娼梅毒科」喜「大變な學問ですな貴所も梅毒科ですか」甚「イヤ僕は滑稽文學を學んで來た」喜「卒業したのですか」甚「卒業論文を提出しやうと思うたが向の先生が君は學問慢性してなるからと云うて論文を書かずに卒業して來た」喜「すると何でも知つて居ると云ふ事ですか」甚「サウ」喜「ネ、外國では野球は流行して居りますか」甚「野球野球は大變なものだい」喜「さうですか野球は外國から渡つて來たのですね」甚「さう」喜「すると野球と云ふ言葉は外國語ですか」甚「イヤ野球と云ふ言葉は日本語だい」喜「ヘイそうですか。何時頃から日本へ渡つて來たのですナ」甚「昔德川時代からだい」喜「德川時代、德川時代に野球で有名な名の人があつたヤキウ但馬守」甚「何を云つてゐるんだ」喜「野球と云ふ言葉は英語でせう」甚「ウン日本語だ野球の球はたいてい眞すぐに投げるのだ昔の矢がとぶやうに矢の樣にキウに投げるからヤキウだ日本語でないか」喜「なる程、では麻雀れ、あの麻雀と云ふ言葉は支那語ですか」甚「麻雀か麻雀は日本語だい」喜「どうして」甚「麻雀といふ勝負は一寸時間がかゝる東南西北と十六回戰せればならん、其の外連雀もあり落付いてゲームを續ける、一寸多忙な人でも落ついて戰はればならん、君も多忙だろがまあ落付いてマア、チヤンさして、マアチヤンとして、麻雀々さ日本語だろ」喜「成程れ近頃の若者は手拭を持たず外國の贓の布を使つて居りますれ」甚「ハンカチか」喜「ヘエ、ハンカチ、ハンカチと云ふ言葉は外國語ですか」甚「イヤ日本語だ」喜「どう云ふ譯で」甚「昔だれシミツタレな奴が紙で鼻をかめば捨てればならん手拭ひですれば大きすぎる又不經濟だ、一寸考へて手拭を牛分に切つて使ひ汗をふいたり鼻をかんだりしてキタナクなつたら洗つて使ひ、其後これは便利で經濟だと思ひケチな奴だからそれ計り使つて居る。世の中にはケチな奴が多い牛分の布は其時牛切れ〳〵と云ふて居たがケチが牛布を使ふ、でアレは牛ケチ〳〵といふ言葉が出來たのだ」喜「お店の旦那なんか皆ケチなんですか」甚「そうだその ケチで吝嗇だから金を作らへるのだ」甚「香水つけた奴でもケチですか」甚「むろん香水つけてる奴等は女を買に行けば高くつくからハンケチに香水つけて鼻をかむ毎に女を買に行つた樣な氣に成つて喜んで居るのだ」喜「道理で若鼻ながむと變な顔して居やがら。アハ外國に自動車が有ますか」甚「自動車は外國から日本へ渡つて來たのでないか。アメリカのフオードと云ふ自動車會社は一分間に二臺作る製作力を持つて居るのだい」喜「タクシーれ」甚「今は大變日本なぞ安い自動車が出來るがこゝ四五年前はタクシーはフオードが多くあつた」喜「ヘイ、タクシーはフオードが成るホード」甚「變な洒落を云ふな」喜「するとタクシーと云ふな言葉はアメ語ですか」甚「アメ語う馬鹿言へタクシーは日本語だ」喜「如何して」

甚「お前等僕等朋友が十名程旅行して歸りにステンショーへ着くさこの中の二三名が自動車で歸宅するが僕は電車、君も電車かと四五名が電車で歸宅する其の時に自動車に乘つて居る人々に僕の小荷物を積んで行つて呉れ給へ僕も我輩も荷物を託すだろ。タクされてシーと走るからタクシーだ」喜「ヘイ乘る時プラツトホームへ下駄をぬいで乘つたのだ」甚「イヤ其時代ではプラツトホームへ下駄をぬいで乘つたのですか」喜「ヘイでは外國に汽車が有ますか」甚「汽車は外國から勤つたのでないか」喜「ステンショウと云ふ言葉は英語ですか」甚「イヤ違う汽車に關する事はたいてい日本語だ、そも鐵道の初まりは明治四年に東京橫濱間の鐵道を引く時、時の大臣大隈參議、伊藤公皆故人に成られたが歐米のやうに鐵道を引かればいけないと主張した、議論が非常にやかましくその時に伊藤、大隈さん以外の人は皆反對で中にも黑田淸隆伯の如きは鐵道引いて何するか外國と戰爭した時は敵國に便利の樣にしてやるやうなものだとこんな妙稚なことを云はれて大反對。伊藤、大隈さんが困りなされてある策を巡らし黑田伯を洋行するやうにした、黑田伯が洋行する時、橫濱出發に際し大隈、伊藤は國賊だ、廟堂より退かされればいけないと云ふて呉々も言葉を殘して歐米漫遊の後歸朝して大隈さんに自分の不明を謝したと云う珍談もある、鐵道引くことにしたが金が無い英國から金を借りる事にしたこれが外債の初まりだ、これも大變な反對者があつたが高い利子を拂つて引いたのが今の鐵道だ。サア鐵道引くと東京近在の人々が辨當持ちで見物に來る汽車を見て火事が長家を引いて行くと云ふ、橫濱から汽車に乘つて東京の歌舞伎座を見物して日歸りして來たと驚いて此奴は嘘を付くといふて喧嘩が出來たり、橫濱から東京まで乘り、列車が品川へ着いて居るのに着く道理が無いと云ふて信じなかつた、當時東京から列車にのつて橫濱へ着くと乘客の下駄がない」喜「取られたのですか」甚「イヤ乘る時プラツトホームへ下駄をぬいで乘つたのだ」喜「ヘイ」甚「今お前は笑ふけど其時代はそんなものだつた、澤山汽車に關した珍談はあるのだ、其時に驛の事も何と名をつけ樣かと皆考へたが汽車が驛へ這入る時はゆるめてスーウと這入つて止まるだろ、出發の時はシユツと出て行くから、だからステンショーの譯は、ではレーだい」喜「隨分長話ですね」……英語ですか」甚「汽車に關する事は皆日本語だ、レールは汽車が出入する道だらう出たり入つたりするからデルイルだ」喜「デルイルです」甚「お前はわからんれ。其時代の驛長、驛夫、車掌、運轉士迄外國人だ、外國人が日本語を使うとアクセントが惡い」喜「アクセントとは?」甚「アクセントがわからんか日本人が英語を使うとアクセントが惡いと云はれるだらう、外國人が日本語を使うと同じようにアクセントが惡いといはれる、何故か言へば判るだろ戰爭でも敵が強いとなか〳〵勝負がつかない、で惡戰苦鬪、それアクセントわかつたか」喜「ヘエ」甚「それでわかられば デルイルを續けて言つて御覽デルイル、デルイルレールと成るわ」喜「切符を切つて汽車に乘る長い石の廊下をプラツトホームと言ひますれ、あれは英語ですか」甚「それも日本語だ汽車に乘る人が列車の來るまでブラ〳〵して居るだらう」喜「ヘエ居ります」甚「汽車が來ないからホーとするだろ、列車が着くと乘客がドート降りるだろ、列車に乘込むと人の匂ひや煙の匂ひでムーとするだろ、綴り合せてみろプラツトホームだ」喜「左樣なら」甚「おい遊び給へ」喜「もう結構俺が何にも知らんと思つて馬鹿にしてやがらスーと來てテンと止まりシヨ〳〵と出てステンシヨー、汽車が出入するでデルイル、レールか其んな馬鹿な話があるものか牛分でケチで牛ケチ、ハ、これは本當らしいぞ大工の熊公奴近頃職人のくせに鬚なんか延ばして威張つて居やがる、ヨシ熊公に一つハンカチの因縁を話して驚かしてやろ」喜公熊さんの家の表から 喜「熊居るか」熊「誰だ」喜「俺だよ、仕事して居るか」熊「勞働は神聖なり」喜「わかつて居るお前にいつも言はれるから。近頃仕事終るとどこへ行く」熊「吾輩か無產黨の事務所へ行くのだ。どうした」喜「其の時高い臺の上で喋べつて居るれ」熊「演說か」喜「そう其時白い布を持つて居るれ」熊「ハンケチか」喜「左樣ハンケチと云ふ言葉は英語か日本語か知つて居るか」熊「何にハンケチといふ言葉が日本語か外國かわきまへずに院外團の幹部になれるか」喜「では何處の言葉だい」熊「好く覺へておけ支那語だ」喜「エ、支那語だ嘘つけ日本語だい、牛分でケチで、ハンケチと、日本語だい」……

……さと云ふ土地を占領した。其時奪取つた布がハンカチである、この白布は何んだか判らない。支那の手拭か、ふきんか、風呂敷か不明で軍人が奪取つて日本へ持つて歸つて國民に何と云ふ品であるか說明に困つて只白布ではいけないかハンカオとチイフーとで分取つたもの故合同した名が好からうとハンカチイフといふ言葉が生れたのである、貴樣が云ふと牛分ケチならハンケチだ、フが落ちてら」喜「何處に」熊「鼪を探しても駄目だよいサツサと歸れ」喜「左樣なら」熊公は新聞讀むから何んでも知つて居るが、さあ別らんことはハンケチだ、甚兵衛さんは日本語熊公が支那語だ。どちらが本當か判らなくなつた、さうだ英語の先生に聞いて見やう。英語の先生なら嘘は無いだらう」喜「先生今日は」先生「誰だいお、喜いさんか何んだ又手紙の代筆かい」喜「イヱ先生一寸お尋ねに來たのですハンカチです」先生「ハ、あハンカチを落しましたか」喜「イエ……ハンカチと云ふ言葉なんですが日本語か支那語か一寸教へて頂きたいのです」先生「ハンケチは英語ですよ」喜「英語を日本語だと云ふ人がある、又熊公は支那語だと云ひ、先生は英語。どつちを信じて好いか判りませんれ」先生「英語ですよ」喜「れ先生近頃電車に乘つて居ますと三本家の息子がれ」先生「三本家とは」喜「我々の事をロオロ者且那方の事をサンボン家」先生「ア、あれは資本家ですよ」喜「ヤア、一本負けて下さい、其のホン家の坊ちやんがわからん事を云ふて居ますがあれは何を云ふて居るんです」先生「あれは英語でお父さんお母さんと云ふてゐるのです」喜「そうですか英語でお父ちやんとはどう云ふのです」先生「お父ちやんですか、パパです」喜「ヘイババですか」先生「パパではない。ババア。ハハに丸を打つてパパア」喜「ババパアですか」先生「パパアでないです。パパアで」喜「パパアですか有難う。お母ちやんは」先生「ママア」喜「エ、」先生「ママア」喜「ウママ」先生「ウママではないです。ママアです」喜「マア」先生「そう」喜「ママ」先生「ソウ」喜「ママ、ママ」先生「ではお父さんは」喜「ママア」喜「あゝそうですか、お父ちやんは」先生「パパア」喜「パパア」先生「そうお母さんは」喜「ママパア」先生「ママでないです。ママ」喜「ヘイ……ママア」先生「そうお父さんは」喜「ヘイなんでした」先生「ソウわすれては困りますれ、字で書いても讀めないから何か目安。ソウだ。お父さんは煙草を吸うからパパ。お母さんは御飯を焚くからママアだ」(完)

ウチノ オトウチヤン

ナゼ オトナリノ オトウチヤン ミタイニ

アカチヤンノ オモリ シナイノ

オトウチヤン ヨリ オカアチヤンノ ハウガ ツヨインダネ

セイ坊

もつときれいなの

ポン助『お父ちやんのカラーくださいな』

店主『おぢちやんみたいなカラーでせう』

ポン助『ウウーン そんなによごれたきたないのぢやないの』

セイ坊

1ヶ月前

二十五日 ハルビンの邦人家屋に再爆彈投下事件發生し、軍出動して警戒す▲香港の反日機運激化し終に日本人商店に闖入暴行し通行中の邦人を毆ひ、多數の邦人を虐殺し、市中は恰も無警察狀態となる

二十六日 奉天の商工總會は學良の歸奉に反對し、二十年間の搾取に對する呪ひの叫びをあぐ▲午前中皇姑屯驛を發した北平行き列車は正午饒陽河驛附近で敗殘兵に襲擊され、外人八名の被害者始め死傷者六十餘名を出す

二十七日 八旗堡を敗殘兵約百名現はれ殺掠を行ふ▲中村大尉並びに井杉曹長の陸軍葬が午前九時より偕行社前廣場で行はれ、各宮家の御代拜に餘榮輝く

二十八日 外交部長王正廷は數百名の學生に家屋を包圍され毆打されて瀕死の重傷をうけ、蔣介石宅に逃げ込む▲滿鐵ハルピン事務所技術員佐藤忠氏は東支南部線にて十九日來行方不明となつてゐたが、一間堡驛附近で支那兵に慘殺されたこと判明す、事變に於ける滿鐵最初の犧牲者である

二十九日 吉林省熙洽參謀長の吉林省獨立政府組織宣言發布されこれと同時に黑龍江省、熱河省その他に於ても獨立宣言の準備をなす▲滿蒙時局につき陸海軍巨頭會議を陸相官邸に於て開き、重要會議を遂ぐ

三十日 南京政府中央政治會議に於て王正廷の辭職許され、その後任として駐佛公使施肇基任命に決定▲田中鄭州領事、漢口に避難し來り、鄭州反日團が我が領事館に掠奪されてゐた日本國旗に對し盛んに發砲したる事實を傳へ、ために日本官民憤激す

十月一日 南京、上海方面の學生團並に支那兵が「打倒日本」「日本人を鏖殺せよ」と叫び傍若無人の遊行をなす▲敗殘兵續々と集結して奉天城近くに迫り再び物情騷然となり、我が步哨兵の傷くもの多し

滿洲日報
九月廿四日發行

滿洲の海關封鎖
南京政府、斷行に決定
明二十五日より實施

【南京二十三日發】滿洲國は日本の承認に引續き支那に對し關稅行政上純然たる外國と看做す旨宣言を發するに至つたので南京政府は從來技術上實行困難で躊躇してゐた滿洲の海關封鎖をなすことゝなり、本日の行政院會議で滿洲海關封鎖の決議を行つた、尙在滿中國海關吏に對し現在の海關を撤去し執務を續行し得る場所に移動す可き旨訓令を發した、右海關封鎖の正式聲明は二十四日財政部からなされる筈

【南京二十三日發】本日開かれた行政院會議で東北海關封鎖斷行を決定したので、國民政府財政部長は二十四日海關布告を以て總稅務司より封鎖に關する詳細なる規定を公布し廿五日滿洲稅關の新稅實施と同時にこれを實施することに決定し外交部よりは廿四日海關布告と同時に關係各國及び國際聯盟にこと玆に至つた事情を通告することに決した

忍べるだけは忍んだ
關稅は支那本土海關で徵收
宋財政部長の聲明書

【上海廿三日發】東北海關封鎖斷行に關し本日夕財政部總長宋子文は左のステートメントを發表した

所謂滿洲國外交總長謝介石は十五日滿洲國は今後關稅、貿易、船舶、航行に就いても支那を外國として取扱ふ旨を宣し九月廿五日より支那と滿洲國間に輸出入稅を徵する旨發表せるが右に對し國民政府は財政部長に對し支那當局は當分滿洲各港にて合法的關稅をも

徵收し得ざる爲め在滿海關を後日指示ある迄閉鎖し在滿各海關にて徵すべき關稅は臨時的に支那本土各海關にて徵收すべしと命令した、今春日本が滿洲國の名の下に在滿各海關を奪ひ六月には大連海關を奪つた、これに對し國民政府は終始最大の寬容を示し滿洲と支那の他の部分との間に輸移出入に對し何等變更を爲さず滿洲は支那の領土でありその人民の九十六パーセントは支那人なる爲め輿論の壓迫に拘らず滿洲に對し報復手段に出づるを差控へた、滿洲に對し報復手段を執ることはその結果が支那國民を苦しめることゝなるのみであり更に國民政府を自省せしめた他の理由は旣にリツトン委員會が事態を調査中なりしを以て國民政府は日本の挑發的行爲に拘らず聯盟の日支間に發生せる事態を惡化に導く手段を避くべしとの勸告に從ふに努めたのである

日本は滿洲國外交總長の名を藉り凡ゆる國際條約協定經濟法則を無視して滿洲と支那本土間に關稅障壁を設け滿洲を分離した、九月十六日所謂滿洲國外交次長大橋忠一は滿洲國承認國以外には門戶開放せぬ旨宣し滿洲は支那にも鎖されて了つた

國民政府はこの未曾有の挑戰に拘らず何等報復手段に出でず單に滿洲關稅を滿洲外の支那海關で出來るだけ徵收する手段を執るに止めた、支那は滿洲に對しその住民數の點より云ふも多大の利害あり又投資に於ても日本より格段的に大である

南京政府は滿洲國內に於ける支那海關の徵稅機能が消滅したるを以て別項の如く滿洲國內の支那海關を封鎖し支那開港に於ける海關にて徵稅する旨の聲明を發するに至つた、卽ち南京政府が滿洲國の獨立を承認せざる以上且つ又滿洲國內に於ける支那海關の機能が消滅したる以上

貿易上の打擊輕微
支那の現在としては
大體穩和な方法か

當然右の手段に出でるであらうことは豫じめ想像された所であつて滿洲國の對支貿易に及ぼす影響が甚大であるにせよ旣に滿洲國が完全に獨立した以上は已むを得ないものであるさせればならぬ、貿易業者としては輸出稅（若しくは輸入稅）の上に更に輸口稅を支那海關に於て徵收されることは二重課稅以上の打擊を免れぬが萬一支那側にして滿洲國承認の曉に於ては轉口稅の代りに輸出稅若しくは輸入稅を支那海關に於て課稅されることになるからその見地からすれば未だ打擊は幾分

輕微であり支那側として は滿洲國の承認を排擊してゐる關係から大體穩和な方法に出でたも

滿鐵後任二理事決定
山崎元幹氏と河本大佐

【東京廿四日發】滿鐵理事後任は軍部より河本大作大佐、社員より山崎元幹氏と決定した

【東京二十四日發】林滿鐵總裁は廿四日午前十時十五分官邸に柴田翰長を訪ひ河本大佐、山崎元幹兩氏の理事任命に就き打合せした（寫眞は山崎元幹氏）

滿鐵の新記錄
山崎氏の鮮かな昇進

山崎總務部次長が、一躍理事に決定したとの東京電報は土曜日の滿鐵本社を驚かした、もちろん氏の拔擢說はこの夏から度々噂へられたところだが、社內からのたゞ一人の理事として選ばれやうなどゝは豫想した人がない、そこでこの噂が社內を驚かしたわけだ

◇

山崎さんは明治二十二年生れだから數へ年四十四歲、大正五年の東大政治科出だから入社以來十五年、それで理事といへばそのスピードは鮮かな滿鐵記錄だ、總務部交涉局第一課をふり出しに社長室外事課、文書課、參事など最初から滿鐵の政策的方面を擔當したことが道中雙六の「上り」を早めたゆゑんか、大正十四年には撫順炭礦參事に出て同年同所庶務課長となり昭和二年再び本社にもどつて文書課長に、五年は交涉部涉外課長に、昨年夏總務部次長になつたばかり

◇

全く萬年主任や、萬年課長の多い滿鐵で、山崎さんほどまるで梯子段を驅足で登るやうに進んで行つた人は類がない、かゝる出世男には得て羨望から誹謗が付物であるが山崎さんにそれがない、それがこの人の德でありこの人德が逆にいふ出世雙六なスピーデイにしたといふことになる

◇

といつて、上役の襟元につくのでなく、むしろ反對に、正しいと信ずれば上役と正面衝突をも辭せぬ意氣がある（大平副總裁）

頭から『嘘だ』
理事任命の報を齎し
山崎次長と一問一答

支那の審議促進案
討議は後廻し
開會した聯盟理事會

【ジユネーヴ二十三日發】第六十八回聯盟理事會は二十三日午後一時半アイルランド自由國首相デ・ヴアレラ氏司會の下に非公開會二十三日の議題には滿洲問題に關する支那代表部の審議が上程されてゐないが右事

昭和製鋼所本位に
鞍山製鐵所を合流
製鋼所案最後的決定

靈元天皇二百年
式年祭の御儀
けふ宮中こ御陵で

英紙の報道

佛、態度豹變
ボ代表の發言て裏書

西山政猪氏
けふ來滿

滿蒙の戰慄 (108)
直木三十五 作
淺技次朗 畫

中野正剛氏

徵發された
永利號歸る

劉の家族避難

農業保險法案
通常議會提出

滿鐵航空問題打合

人事

日滿兩國旗を翳して けさ元氣で上陸 訪滿學童使節の一行

ようこそ！いらつしやい！全國聯合教員會並に大毎東日主催訪滿學童使節一行十五名は大毎編輯顧問西村眞琴博士外三名附添の下に滿洲國建國の祝意と正式承認と共に日滿親善の重大使命を双肩に擔ひつゝけふ二十四日午前七時大連入港のうすりい丸にて恙なく來連したが先發員横川麹町小學校長を始め岡野市長代理有賀學務課長その他在連教育界の人々や在連學童代表の日本橋小學校土佐町公學堂生徒等多數の出迎へを受け日滿國旗を打ち振りく賑々しくその目的地に可愛らしい第一歩を印した

この日夜來の雨は次第に晴れて清々しい秋の姿に彩られた大連の全景を港外の船中より眺めた學童使節一行の心は既に躍り、デッキに並んで日滿兩國旗を手に手に打ち振る無邪氣さである、連鎖の絆いと強く日滿融和の實を結ばんさする

可愛 い使節は皆揃ひの紺と白の學童服で胸に日滿兩國旗を配したマークを附して重き使命を幼いその双肩に擔ふてゐる姿は愛ほしい、やがて埠頭岸壁に着くや日本橋小學校並に土佐町公學堂等の新らしい友達や在連知名士等多數出迎人の打ち振る日滿兩國旗の旗のトンネルをくゞり埠頭待合所に入り本社佐賀營業局長の紹介にて岡野市長代理並に在連小學兒童を代表する越智日本橋小學校長の無事來連の祝辭を受け一行を代表して西村博士の答辭と共に在連學童の合唱する學童使節歡迎歌に

歩調 勇ましく午前八時滿洲文化協會の中溝氏並に本社高橋事業部長等の案内にて自動車を連ね大連神社に詣で一行を代表して札幌代表山口豐君及び廣島代表小島君子孃は玉串を奉奠、次いで午前八時半忠靈塔に參拜滿蒙に犠牲の血を流した勇士の靈を弔ひ同じく一行を代表して北陸代表荒川宏君及び關根浜子孃が玉串を奉奠したが忠靈塔下に起つて全市街を瞰め幼い學童使節は嬉々さしてまるで論の樣だと嬉しがつてゐた、かくて午前九時大連市役所に小川市長を訪ふ、二階應接間にて市長に面接した學童使節は快活に然も明瞭に自己

紹介 をなし次いで東京江東小學校高野道雄氏は

日本全國六百萬の日本少年少女諸君の聲におくられて遙々こゝに日滿親善の重大使命をおびて來りまして只今その玄關の大連に着きました、私達の使命は數々ありますが、滿洲の少年少女諸君としつかり手を握つて將來を共に親しくお交ひして行きたいと思ふのであります、何卒私達のために御力添へ下さい

と述べ名古屋露橋小學校小栗房子さんは女生徒を代表し可憐な彼女は

うすりい丸と云ふ大きな船でけふ到着しました、埠頭に大勢の皆樣方が私達をあんなに盛大によく來たくとお迎へ下さつて本當にく涙が出る程嬉しく胸がわくく致しました、大連は立派な街と聞いて來ましたが實際來て見て本當に豫想以上に美くしいのに吃驚りしました、私達は滿洲の方々と仲よくなりたいと思ひますが初めは一寸恥かしくてもすぐ仲よくなれると思ひます、また私達の爲めに働いて下さつた兵隊さん達にも御禮が申上げたいと思ひます、何卒皆樣方の御力で達はして下さい

と挨拶し列するものをホロリとさせた、次いで小川市長も使節一行の

使命 の重きを諭しその勞を犒つたが、引續き民政署に訪問大内署長に面會同樣の挨拶をなした

滿鐵本社を訪問 八田副總裁に挨拶

學童使節一行は午前九時半滿鐵に八田副總裁を訪ふて九州代表山口文二君東京代表藤の木清子孃は一行を代表して訪滿の挨拶を述べ「おぢ樣方の汽車で滿洲のお友達に逢はせて下さい」と無邪氣な處を見せたが八田副總裁は

わざく御訪れ下さつて感謝します、滿洲をよく聞える耳で聞き、よく見える目でよく見ていらつしやい、これから日滿兩國は大人だけでなく皆さん達少年少女も一緒に滿洲國をお手助けして行かねばなりませんこれから日滿關係に最も強き印象を殘こして來て下さい

と少年少女使節を勵ました次いで本社を來訪した一行は仙臺代表松岡達君大阪代表西尾幸代孃より松山本社長に挨拶し松山社長は快活で明瞭な使節一行に謝辭を述べその使命の無事にはたされん事を祈つた、引續き埠頭に出迎へを受けた土佐町公學堂及日本橋小學校等を訪問謝意を表したが到る處で日滿學童融和の實を示して交驩をなし正午大連新聞主催招待宴に列席登瀛閣に赴いた

全滿各地で一齊に 承認慶祝大會 重陽節を期して開催 國家精神振興

永年の暴政より脱し、三千萬民衆の翹望を荷なつて三月九日つひに獨立して滿洲國の成立を見て以來半ケ年、治安維持、内政の整理等政府當局の辛苦の結果九月十五日友邦日本の獨立承認さなり、いよく完全なる獨立國としての第一歩を踏み出した滿洲國政府では各方面からの希望もあり、兼ねてこれが慶賀の方法につき具體的案の研究中であつたが、數回の打合せもすみ、國務院會議の決議も得たのでいよく大同元年十月八日、陰暦九月九日の重陽節を期して新京は新京特別區市政公處主催さなりその他奉天、ハルビン、チチハル、錦州、安東、營口、吉林等全滿一齊に日本よりの承認を慶祝し又三千萬民衆の國家精神の作興並びに列國の承認促進の意味を兼ね大々的に承認慶祝大會を開催することになつた

尚これが中央準備委員會をつくり委員長趙實業部總長、委員金新京市長、史新京總商會々長、同副會長、朱外交部總務司長川崎同官科司長、中野民政部總務司長、黃同地方司長、上村文教部總務司長、白濱興安總署總務處長皆川秘書長等をあげ又各地方には地方別に地方委員をあげて當日の催し物の準備に當る筈であるが新京では主さして金市長がこれに當り目下諸般の準備を進めてゐる、また文教部又は民政部よりは各地方に對しそれく準備方の命令を出し、中央委員會よりは通告を發しこれが開催方につき注意、意見を述べる所あつた

當日は全滿各學官署は一齊に休業し祝意を表する筈である、新京では滿洲國首都のことゝてその盛大さも思ひやられるが行事さしては各學校官署では先づ祝辭、國旗敬禮、執政教書朗讀、國務總理訓諭朗讀等あり終つて旗行列に移りその他芝居、高脚踊り等の餘興あり全市民をあげてこれを慶賀する筈である【新京電話】

國旗を授與 結團式 忠靈塔健兒團

大連市忠靈塔健兒團は今回名譽團長に邊見勇彥氏を團長に下島元次郎氏を推戴し二十五日午前六時より忠靈塔前にて華々しく結團式並びに小川市長よりの團旗授與式を擧行することゝなつた、なほ當日午後三時よりは忠靈塔休憩室に於て少年團日本聯盟理事三島通陽子の講話が行はれるはずである

昨夜立山で 匪賊撃退 三方から來襲

二十三日午後七時五十分頃立山附屬地の東南北の三方より約百五十名の匪賊來襲し驛舍及び附近建物を目がけて亂射し來つたので驛守備兵及び警官派出所員はこれに應戰した、急報に接し鞍山守備隊宮本中尉の一隊と井上、貫志警部補の率ゐる警官隊及び鞍谷消防隊がよりも岡村中尉の一隊が直に出動又首山驛待機列車にて出動し猛烈な銃砲撃を浴びせたので賊は東方山地に逃走したが、この賊團は東方を徘徊中の匪首青山の一味である、守備隊は二十三日午後十時五十分鞍山に歸つたが、警官隊は徹宵警戒し二十四日午前八時歸驛した、賊團に多大の損害を與へ我に損害なし【鞍山電話】

報知日米號 壯途へ けさ淋代出發

【淋代二十四日發】太平洋横斷の壯途を前に天候定まらざるため待機中だつた第三報知日米號は二十四日朝愈々全コースの天候良好の報に男躍本間中佐馬場飛行士石田通信士の三勇士は揃の赤革寬服に着換へ自動車で三時半飛行場着直に食糧品を積込み機體の點檢等を行ひ四時二十分名殘の朝食を濟ませ記念撮影をなし同五時三十四分山田航空官その他三澤村附近部落の男女小學生多數見送り萬歳聲裡に約一千四百米滑走同三十五分見事離陸ノームに向つた

襟裳岬沖通過 【落石無電局二十四日發】報知日米號は二十四日午前七時二十分襟裳岬沖を通過した

擇捉島を通過 【報知機發落石無電經由二十四日】二十四日午前十時十六分擇捉島南端沖二十哩の上空を飛行中

更生のリーグ戰 愈よ今日から始まる

【東京二十四日發】スポーツ淨化の試練を經て見事更生した六大學リーグ戰は雨のため一日延期され二十四日復歸の早大と新歸朝の立教の第一回戰で華々しく開始された先づ午後零時半戸山學校軍樂隊の奏樂裡に立教を先頭に各大學選手百四十八名ユニホーム姿凜々しく入場今春の優勝校慶應の攝政杯返還式に次いで君ケ代奏樂裡にマスト高く大日章旗掲揚斯くて午後一時より兩チームのフリーバッティング後文相の始球式に次いで二時半愈々試合は開始された

長敦線全通

長敦線の復舊は漸く大體完成廿三日から久し振りに最終驛である敦化まで貨物および小荷物の取扱ひを開始することゝなつた

離別した若妻をめぐる 呪ひの毒藥を裁く 怪事件遂に告訴さる

離別した若妻に睡眠藥と僞つて毒藥を服ませ殺害を企てたといふ怪事件は既報の如く被害者の訴へにより大連署司法係で取調中であつたが、二十四日被害者は遂に小野寺護士を代理人として夫芳夫氏を相手取り殺人未遂並に横領の告訴を大連地方檢察局に提出池内檢察官の手で本格的取調が開始されることゝなつた、被告訴人は市内若狹町二丁目五十一番地土木建築請負業渡邊八郎氏の長男芳男（三）告訴人は市内敷島町東華公司澤井敎吉氏の息女で芳男の妻清子（二）で双方共に大連では相當知られた家柄であり殊に探偵小説的な幾多の謎を秘めた怪事件だけに百パーセントの獵奇的興味を集めてゐる

離別されるまで 怪事件の告訴狀によれば芳男氏と清子とは昭和五年五月十五日昭和工業專務岡田徹平氏の媒介で盛大な華燭の典を擧げたが養父八郎氏（芳男は養子）の内縁の妻木澤かれ（六二）が常に告訴人である清子を虐待し、かれの横暴から家庭は風波の絶え間がなかつた、清子の實家澤井敎吉氏方では家事の都合で去る五月十四日郷里岡山縣へ一家を纏めて引揚げることゝなり清子が手傳のため實家へ歸つてゐるとその當夜突然渡邊家から清子を離別する旨の通告を受けた

藥を服んで苦悶 澤井家では驚いたが日頃のかれに虐待されてゐることを思へばこの際娘を引き取つた方が心配ないといふに相談一決し翌十五日うすりい丸に乘船すべく埠頭へ來たところ見送りに來てゐた夫芳男は清子に「之は船醉によい藥だから船中で服むやうに」といつてハンカチーフに包んだ丸藥を渡された、そうして同夜八時ごろ件の藥を呑んだところ間もなく苦悶し初め血液や泡を吹き遂に危篤狀態に陷り船醫宍戸忠太郎氏や同乘の大連醫院盛新之輔博士の手當を受け辛うじて生命を保ちつゝ門司入港と同時に同市仲町七番地縄島醫師の診察を受けた、しかし容體刻々と惡化し同醫からは「諦めて下さい」と死の宣告まで受けたが十九日朝に至り奇蹟的にも意識を回復し醫術の限りを盡した結果漸次快方に向つた 卽ち芳男が清子に渡した丸藥は船醉ひ止めの藥でなく正しく劇藥で清子毒殺の目的であつたさいつてゐる

恐ろしい企みか 次に何故に清子を毒殺せんとしたかといふ疑點に對し渡邊家には幾多の醜惡な事實が潛んでなり、清子を離婚すればそれが世間に知れる恐れあり、清子自身の過失死の如く裝ひこれを隱蔽せんさする恐ろしい企みであつたと言及してゐる

家寶を横領した 更に横領の點に就いては清子が入嫁の際持參した澤井家の家寶たる恩賜の菊花御紋章附茶器、備前長光の團劍一口及び寶石類數點を離別後媒介人を介し幾度も引渡し方を要求するも言を左右にして返還しないさいふのである

多數證人を申請 なほ告訴狀には埠頭で藥を渡した事實を目擊した證人に市内臺南町二二番地内山善市氏を、病症狀を知る證人として門司の縄島醫師、盛博士、船醫宍戸醫師外船長ボーイなどを申請してゐる

言ひ掛りの難題 夫の養母、一切を否認

怪事件の主人公渡邊芳男氏を若狹町自宅に訪れると折柄不在で養母のかれさんが代つて語る

あの子（清子のこと）は離縁したものでなく澤井さんの方から離婚を迫つて來られたので、當方では寧ろ引き止めたのですが、澤井家では強ひて引き取るといはれたので、當方としても清子が我儘者で家庭が常に面白くゆかない矢先さて承諾したのです 作がハンカチに包んだ藥を渡したさいふことですが、そんなことは斷じてありません、芳男は警察でも立派に否定してゐるし父と私とが訊ひ質した結果、事實無根であることが證明されます、それであるのに毒藥を服せたなど、難題を持ちかけるのは以つての外で先方は爲めにせんとする言ひ掛りで目的は他にあると思ひます、それから御紋章附茶器だとか腰劍や寶石などを渡さぬといつてゐるそうですがそんなものは見たこともなく、勿論當方にある譯けはありません、元來あの子が私方へ嫁入りして來る時は衣裳から道具一式當方が仕立てやつた位で、そんな出鱈目がよくいへたものです先方がどんな告訴をしようとそれは勝手ですが殺人呼はりをされるのは迷惑千萬で第一澤井さんが郷里へ歸られてからも復縁して呉れと賴んで來てゐる事實から見てもそんなことはあり得ないことでせう

臨時競馬 第二日午前

廿四日の星ケ浦秋季臨時競馬第二日目午前中の成績左の通り

▲第一競馬（古呼五頭）千六百米第一着武裝鳥矢（保利騎手）二分四秒四、第二着左近（一馬身半）第三着別嬪（二馬身）配當（單）九圓三十錢（複）一着五圓八十錢、二着十二圓（附加券）一等六十圓、二等廿圓、三等十圓、以下五圓

▲第二競馬（秋抽九頭）千六百米第一着南州（吉長騎手）二分廿八秒一、第二着旭日（七馬身）第三着右近（半馬身）配當（單）五十圓（複）一着八圓、二着五圓二十錢、三着五圓八十錢（附加券）一等九十二圓六十錢、二等三十圓八十錢、三等十五圓四十錢、以下二圓五十錢

▲第三競馬（各抽四頭）二千米第一着天龍（福島騎手）二分五十三秒一、第二着豐（八馬身）第三着光團（九馬身）配當（單）廿一圓七十錢（附加券）一等百十四圓二十錢、二等三十八圓、三等十九圓、以下十九圓

▲第四競馬（秋抽六頭）千八百米第一着石光（奧田騎手）二分廿八秒四、第二着王光（大差）第三着豐龍（鼻）配當（單）四圓九十錢（複）一着五圓九十錢、二着廿四圓三十錢、（附加券）一等百四十六圓三十錢、二等四十八圓八十錢、三等廿四圓四十錢、以下八圓十錢

教室の天井 墜落騷ぎ 松林小學校で

大連松林小學校は屋上ベランダから常に雨漏りし最近は殊に降雨ごとに作法室および普通教室廊下等に甚だしく最近六年生女子教室の天井壁が突然墜落したのを始めさして二十二日またく四年生女子教室の中央天井壁が大音響と共に落下し大騷ぎを演じ幸ひ被害はなかつたが、降雨ごとに天井壁が墜落する樣では兒童の保護上危險この上なく學校當局は頗る憂慮してゐる

洮昂線開通期

洮昂線江橋嫩橋の修理復舊工事は一時材料の搬入不自由であつたため兎角遲れ勝であつたが、最近漸く材料の供給も圓滑さなつたので復舊工事意外に進捗し、十月十日までには土運列車の運行可能の見込がついた、從つて順調に運べば十月十五日ごろ遲くも二十日までには營業列車の運轉を見る筈である

警備艇受取り

目下入港中の滿洲國軍艦端海號はさきに市内日光商會に注文中であつた遼河一帶の河港警備用に使用する發動機船四隻を受取りに來たもので該發動機船は既にロシア町阿部造船所において竣工し廿四日午後二時より試運轉を行ひ直に營口へ運搬するさ

女優久米順子來る

新興キネマ女優久米順子及び平塚泰子が廿四日入港のうすりい丸で日本電報通信社關西支社長玉木潤一郎氏に引率されて來連したが玉木氏は語る

立花専務の諒解を得て大連見物に連れて來ました二十日間の豫定で東京カフエーでサービスします、私は最近の滿洲映畫界の實情、根岸氏らの事業の調査等が主な目的です

天氣予報

二十五日

北西の風 晴時々曇

滿潮（午前 五時四十分）（午後 六時十五分）

干潮（午前 零時四十五分）（午後）

各地溫度

	廿四日午前十一時	前日最高
大連	一九・三	二一・五
旅順	二〇・〇	二三・四
營口	一七・二	二三・五
奉天	一九・五	一八・九
長春	二〇・六	二〇・四

けふの小洋相場（正午）金百圓は一三四圓五〇錢

寫眞説明

【上から】けさ來滿した訪滿學童使節一行（うすりい丸甲板）埠頭待合所に於ける日滿兒童の交驩 神戸出帆のテープで造つた滿洲國旗、本社を訪問した一行

公告

被相續人川島さとニ對スル債權者又ハ受遺者ハ昭和七年十一月三十日迄ニ管理人宛權利ノ御申出テ相成度右期間ニ申出テナキ權利ハ其清算ヨリ除斥可致候

昭和七年九月二十二日

旅順市乃木町三丁目六十二

被相續人川島さと

相續財產管理人 佐久間繁雄

國難日本刀(104)

高桑義生作
京極佳夕畫

公心と私情と(七)

何をするにも金である。財力の充實は、結局國力の充實である。攘夷の實をあげるにも、戰爭するにも、先立つものは、金だ。幕府は天保以來極度に財力に缺乏してゐるのだつた。

勘定奉行の川路左衞門尉が、何よりも心痛してゐるのは、この事だつた。心ある幕府の役人は、年來この問題に考慮をはらつてゐる小栗又一もさうだ、有事の際、幕府は金のために手も足も出ない。その時、幕府にかはつて勢力をのばす者は、雄藩の薩摩である、長州である。幕府にとつては、最も危險な事である。

又一はあらかじめ、それに備へる方法を、たてなければならないと思つてゐるのだ。

利權を外國に與へて資金を借りる——なるほど近道であるに相違ないが、しかし、そんな事がいつになつたら出來るのか、今日の狀態では、思ひもよらない。

又一が、小金井傳次を秘密に米艦に遣はしたり——すべての暗中飛躍は、彼の好感を、歡心を、後日のために得て置かうとするのだそれが、國家民心を安定せしむる結果であり、幕府の地位を安定せしむる方法である。

「親睦をむすぶ事ですれ。出來るだけあめりかの好感を得て置く事ですれ」

と萬次郎もいふ。

「その通り、ゆくゆくはその力をかりて、不逞の輩を抑へればならん」

半刻あまりの會談を終つて、萬次郎は小栗邸を辭した。又一は自分の駕籠で送らせた。

駕籠は小川町から柳原に出た。闇、漆黑の闇をついて、二人の武士が萬次郎の駕籠に追ひすがつた。ふたりとも覆面をしてゐた。

「待てッ」

振返つた駕籠舁きの目の前に、拔刀が突きつけられた。

しかし、侍屋敷の駕籠舁きだけの事はある、すぐ逃げ腰にならないで

「な、なんだッ。御無禮するなッ」

「駕から轎に、手前たちは何をしようてえんだ。御徒町鐵小栗又一樣の御用駕と知られえな。人違ひをするなッ」

ときめつけた。

「如何にも小栗の駕籠と知つて、つけて來たのだ。乘人は、或上りの者の中濱萬次郎、われわれは彼奴に用があるのだ」

「貴樣たちはさッさと歸れ」

さッと一人が、先棒の提灯に斬りつけた。

「わッ」

彼等は駕籠を棄て逃げ出した。

萬次郎は駕籠から出た。

「誰方です?」

その聲は落着いてゐる。

「中濱萬次郎ッ……」

「さうです。さういふあなた方は?御用向は?」

「貴樣の命をもらふのだ」

「國を賣る不德漢、天誅をくらへッ」

いふより先に、斬りつけた。

萬次郎は倒れながら、避けた。

「と、待てッ」

「卑怯者ッ」

更に一人が斬りつけた。

「あッ」

萬次郎は肩先を割られた。が、かれは屈せず

「待てッ、待つてくれ。一言いふ。わたしは……わたしは日本人だ。それだけをはつきりいふ。誤解するな」

二の太刀を振り上げた。

「わたしは武藝を知らぬ。刀を拔く術さへも知らぬ。しかし、如何なる場合も、わたしは……日本人だ」

さういふと、中濱萬次郎は大地に斃れた。

覆面武士はなんと思つたか、刀をひつさげたまゝ、走り去つた。

人が來た。

好評の小圓孃 常盤座の浪曲

常盤座の京山小圓孃一行は久し振りの女浪曲と小圓節が人氣を呼び初日以來好評を博してゐるが、今夜の讀み物は左の如くである

▲慶長の亂、伊勢春▲赤坂寺、節美▲俠骨祐天、晴雲▲谷風情け角力、錦子▲義に勇む俵星、(前席)無筆の出世(後席)小圓孃

調してゐる點が注目され行詰りの觀ある童謠舞踊界に一の新味を示すものとして期待されてゐる會費は五十錢

銀鈴少女會

銀鈴少女會は愈々今明日本年度最初の公演を協和會館に於て催すが同會本年度の傾向は單舞より群舞に意を注ぎ殊に從來の按舞形式より脫出して樂曲の歌詞を[illegible]にメロデーを第二次としそのテンポを强

春秋編笠ぶし

阪東妻三郎主演作品 ——映樂館上映——

阪妻がひさりよがりから漸く大衆的に轉向して來たと云はれる彼の最近の傾向を示した作品である、今までの阪妻映畫のやうにピンからキリまで全幅的に阪妻がのさばつてゐないのが氣持がよい、而も後半、彼獨特の力強い演技を以てファンに阪妻映畫としての滿足を與へることをも忘れてゐない、近來の阪妻物として上乘の娛樂映畫である

原作は文藝春秋オール讀物號に掲載された吉川英治の作品で佐々清雄脚色、東隆史監督、友成達雄撮影で、ストオリは燃のため覽手に斃されんとして盲目となつた松山新助(阪妻)が復讐に全生命をうち込み、自分を仇と狙ふ萩生少年を配した悲劇である

このストオリの持つ興味を東監督は牛ファンに感づかしつゝ筋を運んでこの因果的仇討物語を描いたのは大衆的に成功である

阪妻の松山新助は盲目となつてからが彼の捨て難い演技を以て終始し阪妻ファンを滿足さすのに充分である、また殺陣も少しくどいやうだが、優れてゐるし近來の阪妻物の佳作品である

(寫眞は阪妻の松山新助)

噂話

四萬圓競馬が始まつたトタン、その第一日に中央映畫館の「綠の騎手」がヒットして出た▲この四萬圓の穩等な長氏がまた太秦の撮影所へバラ撒いて映畫人から幸運者を出さうと頑張つてゐる▲浪速館時代のファンにお馴染の澤陽一郎君が歸つて來て中央映畫館が喋つてゐる▲けふの船で新興キネマの女優久米順子、平塚泰子が東京カフエーに來たと放送されてゐる▲帝國館の「自由は我等に」は流石に名映畫の折紙で初日から滿員の盛況

電氣事業統制先驅 延吉敦化工事準備
滿電、滿洲政府より認可內諾 來春早々點燈を見む

滿洲事變勃發以來滿電では全滿洲の電氣事業統制に種々畫策し、延吉の兩地にも合辦の電氣事業會社創立を企畫し新政府吉林省政廳に認可申請中であつたがこの程高橋常務は當局と種々折衝を重ねた結果正式認可は下らないが、工事着手の內諾を受け、近く着工の運びとなつた、就て右計畫は日滿人合辦の下に敦化は資本金十萬元、延吉は二十萬元とし前者は七十五キロ、後者は三百キロの發電能力を有する電燈會社を創立し敦化、延吉兩地に於て電燈事業を經營せんとするもので、敦化は敦化電業株式會社、延吉は延吉電業株式會社と內定した、尚敦化延吉に於ける點燈需要數は各三千燈內外の豫定であるが料金は銀建となるべく延吉のみは鮮人在住者の多數と金票流通のため或は銀建金換制となるやも知れない、滿電では右內認可と共に早速準備に着手、敷地も既に契約成り工事は大倉組の手により近々着工の豫定で遲くも明春早々には點燈の運びに至るべく意氣込んでゐる

實施前の原料に 課稅免除方申請
商議より大連稅關へ

滿洲國は愈々二十五日より支那輸入品に對し輸入稅を徵收支那品を純然たる外國品扱ひとなすことは屢報の如くであるが、結果は原料品にして關東州內にて加工、更に滿洲國に輸入せらるゝもの其他新關稅實施前に州內に輸入されながら直に滿洲國に輸入せられざる事情にあるもの少からず、これらは新關稅實施により損害を蒙ること少からざるに鑑み大連商工會議所では二十二日の委員會決議に基き二十四日午後福田副會頭は大連稅關に福本稅關長を訪ひ、左記陳情文を手交、前記事情にある諸商品工業生産品に對し便宜取計ひ方陳情するところがあつた

支那品の外國品取扱に關する件

拜啓貴關に於ては本月十六日附告示第二號を以て中華民國より到着せる貨物にして關東州租借地境界を越へて滿洲國に輸入せらるゝ場合には來る二十五日より現行稅率に依り輸入稅を課すべく布告せられ候に付ては、或種の商品は右期日前に滿洲國への輸入申告せるも新關稅の實施に依る損害を免れ得べきも多數商品の內には直に同樣の手配を爲し得ざるものあり殊に原料品にして州內にて加工され、然る後滿洲國に輸入せらるゝものは直に輸入申告の手續をなし得ざるのみならず此種商品の性質として先物の契約多數に存在し從て右新關稅の實施に依る損害に堪へざるの實情に有之候依つて此際貴關に於かせられては其の實質取引の慣習が多く先物の性質を有する商品に對し又從來貴關にて前記製造者に取締の便宜上發給せられたるメモ、オブ、インポーテーションを有するものは勿論其他先物契約にして賣買者双方間往復電報又は其の他の書面等證據類に依り右記布告前に其の成立を立證し得るものに對しては貴關が適當と思惟せらるゝ方法に依り從前通りの取扱を受けしめられ、なほ前記の工業生産品に對しては貴關に對する輸出稅を以て滿洲國に輸入し得るの特權を許與せらるゝ樣滿洲國財政部に對し貴關より可然御申達相成度此段及請願候也

單一制問題 解決近づく

大連中央卸賣市場の市營單一制實施に關し委員側で惱みつゝあつた幾留組に對し、小川市長は二十三日まで日限を切り諾否何れかの回答を求めつゝあつた事は既報の通りであるが、之れに對し代表者四名は二十四日午前十時三十分、市役所に小川市長を訪問し反對に補償金の增額方を要望する處あつたこれに對し小川市長は今更增額は不可能だと一蹴し即時諾否の回答を迫つたが、再び猶豫かたを申出たので二十六日中に最後の回答を爲すべく約束し十一時四十五分會見を終つた、脫退組に對しては右回答を俟つて交渉する肚らしいが今の處市會の決議による十月一日よりの市營單一制實施は全く絕望の態である

州內酒造組合 秋季品評

關東州酒造組合では來る十月十二日から十五日まで大連民政署に於て秋季品評會を開催することになつた、十二日は出品採取十三日は審査、十五日褒賞授與式の豫定である

滿洲移植民 第一義は人と土【十二】
先づ鄕土の建設に進め

翻つて初期の農業移住者が窺ひ所は、最も故國に風土氣候の近似した土地を擇ぶことであります、之は勿論時代が激成した新氣運に順應して、資本組織の下に或る特殊な集團移民地を基礎附けやうとする場合とは、おのづからその根本動機を異にしての主張でありますが、人類移動の前例を通覽しましても、ヨリ良き土地への轉住が、成るべく寒暑の差別すくない方面へ、順次押進んで行くのが共通現象であつて、一足飛びに溫熱帶から寒帶圏の只中に、若くは寒帶圏から酷暑圏地域への大移動は容易に行はれない、縱し行はれてもそれは或る特殊な國情に餘儀なくされた結果であり、且つそれに適はしい大犧牲が拂はれねばなりませぬ、政治論では如何やうにも理由附けられるが、移住者各自の常懷から中々さうはいへないのであります、胡馬は北風に嘶き、越鳥南枝に巢ぐふのが、人類移動の常態であつて、少くとも個人はこの點に深い研究を怠るべきでありません、さう考へると滿洲への農業移住は、溫帶圏に馴らされた邦人に取つて、先づ如何なる地域を擇ぶべきかといへば、最も日本海に近い東部滿洲の山岳地帶が、母國と風土氣候の大差ない黃海沿岸かと好適だと私は信じます、私の意見によれば南滿に就いての國人の認識は甚だ淺い、極端な論者は安奉線と滿鐵本線との中間區域など、テンで問題にして居ませんでした、併しそれは鐵嶺附近から見た利害の大小で、移植民の鄕土建設に根據を置いた正說とは許し難れます、現に過去の事實がそれを證明して居るではありませんか。

◇

種々批評はありますが、奉天以南の沿線地帶は農業的安住方法に就て過半試驗濟です、氣候としても、風土としても、且つそれに適應する作物の取扱ひにしても、確乎たる信仰が常識化され、交通の便さへ開くればこの常識を同緯度の地に擴充し得るのであります、勿論奧地に比較して平野に乏しく無限に內外の大衆を其處に誘致することは出來ませんが、千家族や二千家族を、合法的に淨住安息させ得る餘地は十分あります、殊に私はさきに副業の必要を說きましたが、全滿中この地方ほど副業を發見し易い土地は少い、而もそれが最も日本人向に出來て居るのであります、日本は全國山地に蔽はれて居るが、それが違つた民族の本能性は、何處に往つても山地帶に親い味を有たせます、清らかな流れ、草花の競ひ咲く谿谷、それが抱擁する禽獸草木を好愛利用する、才覺と趣味とは理窟以外に安住心を唆ります、鷹狩とか、菲狩とか、若くは魚釣とかを社交上に植ゑ付けて居る民性、就中田園生活者の特質は全く本能化されて居ります、また日本は海國であります、濁流天に漲る長江の壯觀よりも、白波岸を嚙む瀨に近い海に多くの憧憬を有して居ますが、それがどれ程初期の移植民に深い安心觀念を深くさせるでありませうか、當世は何でも彼でも金勘定てふ尺度で、利害得失を律しやうとしますが、植民論はさうした物質的臆測のみでは押通し得ないと信じます。

◇

この注文に最も能く適合した地域が東部滿洲であり、南滿洲海の諸域なのであります、試みに後者に就いて申しましても、日本人が深い經驗を有つ野蠶、家蠶とも、夙に最も好適した氣候に惠まれ、果樹、野菜また良好な土壤と、配給に便利な地域とを占めて居ます、更に瀕海地に於ては農業と漁業とを兼營することが出來ます、南滿從來の農業狀態からいつても、蔬菜の需給關係は營口から橫頭方面にまで及び、近來熊岳城方面のトマトは、年々朝鮮東岸にその市場を擴めつゝあります、小刻みな地域と見られてゐるが、大房身附近は一般に豌豆や、蘭譚玉の本場として特に聖から知られて居ります、鴨綠江沿岸から獅子窩へかけての沿岸は、タラや、貝類や、蟹類に富んだ關係上、現時の所謂遠洋漁業の如き專門的價値はなくとも、其處に土着する農業者が食料品を得、若くは副業として臨時收入を得るには比類ない地方資源であります、現に東京で賞美される小田原蒲鉾の原料は黃花魚であり、肝油の原料は滿洲在住者が低級の魚類視するタラの臟物であります、稀少名で愛用される馬蛤貝は關東州は勿論、南滿山地に發生したそれの乾燥されたもので、安東始め諸地方から年々十萬貫を輸出して居るではありませんか、その他僅か十年內外で、アレほど盛んになつた北滿の養蜂業は、安奉線以東の何處でも發達の見込充分だといはれて居ります、かうした各種の產物は數字的にこそ大を誇るに足らぬが、皆これ植民的安住の要素として、新來の邦人が各自に着眼研究すべき土地の特長だと思ひます、それが政治的に閑却され、大衆的にも蔑視されて居ました、而して移植民問題といへば冒を決して北滿の曠野を望み、發憤せよ努力せよと痛論します、勿論それは大陸に於ける活動の意氣であつて、さうした意氣の鼓吹と對策とを怠つてなりませぬ、併しこれが爲に徒な移住の實際方法に滯める人々は、彼等の境遇に應じて注意すべき適地が、南滿諸域に散在して居ることをも思ふべきであります、又同時にその道を開くべき行政的指導力も必要であります。（知坊生）

參つた以上 充分視察します
特產業總會出席の一行着連

滿洲國の承認と共に各方面の日滿提携が叫ばれてゐる際滿洲特產協會では第八回通常總會を大連において開催することゝなり內地における斯界の代表二十五名は二十四日入港うすりい丸で來連、總會出席旁々滿洲における經濟事情を調査することゝなつた、一行の團長格たる東京の後藤一郞氏は語る

滿鐵沿線や奧地の物騷な話で豫定五十名位のものが僅か廿五名に過ぎないと云ふ不勉強ぶりです、しかし來た以上、來られなかつた人の分も視察して行かうと云ふ熱心なるもの許りです、大豆肥料を主とするもの硫安肥料を主とするもの各方面の專門家許りですこの滿洲特產協會と云ふのは、滿鐵の後援によつて大正十三年に設立されたもので全國の各種肥料組合を會員と見なす組織で丁度八回目の總合なのです、時期が會場を大連に持つたので總合は廿五日ヤマトホテルで開き、濟んでから奧地を見るつもりです

尙總會は廿五日午前十時より開き午後は滿鐵中央試驗所に佐藤正典氏同地方部小須田常三郞氏、大連錢鈔信託古澤丈作氏等より夫々專門につき講演がある豫定で廿四日は上陸と共に中央試驗所及び滿蒙資源館を參觀、午後一時より洋保豆粕懇談會に出席の豫定である、本日來連の主なる會員は大阪の木下金藏氏、女流テニス選手安宅登巳子さんの御父さんの安宅氏、森六郞氏、尾家緇太郞氏、田中喜一郞氏、井上精一郞氏、藤澤芳雄氏、後藤時一氏、伊藤正一氏等である、なほ一行は滿鐵特產關係方面の出迎へを受け遼東ホテルに投宿したが、少憩後午前十時より中央試驗所及滿蒙資源館を參觀した、尙午後一時より滿鐵社員俱樂部に於て滿鐵々道部關係者、當地特產三團體關係者等出席の上、豆粕洋保制度の改善に關して懇談を遂げた【寫眞は着連の內地特產業者一行】

內地は弗々景氣 滿洲熱依然旺盛
失業者は減つた模樣だと 廿四日歸連の西氏談

橫濱正金銀行大連支店長西一雄氏は總會出席の要務を帶び內地出張中であつたが二十四日入港のうすりい丸にて歸連語る

總會には間に合はなかつたが、時節柄、最近の滿洲に對し各方面より質問も受けたし說明もして來たその他私用もあつたので遲れてしまつた、內地はインフレーションを見越して諸物價が上りどうやら景氣らしい氣配がする、物價の如き國產品で二割見當、外國物はグッと騰貴してゐる、それに各種の企業その他が最近失業者が減つた事は事實だ、次に農村の方はよく知らないが、大分疲弊してゐるらしいとにかく滿洲國の承認と云ふ興味ある大きな潮流に押されて些か省みられなかつた嫌があつたがその滿洲國既に承認濟みになると中小商工業者の救濟と共に農村問題が眞劍に考へられて來た、そして自分は今度ほど內地の人達が眞劍に滿洲の事について考へてゐるには吃驚した、いたる所滿洲に就いて聞かれた、內田外相にも會つたが色々聞かれた、田村副會頭は低利資金問題で元氣よく猛運動を續けて居られた

內地特產業參加 第八回總會開催

二十五日大連ヤマトホテルに於て開催の滿洲特產協會第八回大會の順序左の如し

一、午前十時開會
主催者挨拶
理事長挨拶
事務會計報告
理事改選
提出議案審議
名譽會長推戴
次年度開催地決定
一、閉會
一、正午晝餐會
一、午後一時講演
滿鐵中央試驗所工學博士佐藤正典氏
滿鐵商工課長小須田常三郞氏
滿鐵鐵道部營業課長山口十助氏
大連錢信專務古澤丈作氏
一、休憩三十分
一、午後四時三十分活動寫眞開始
滿鐵弘報係撮影の時局及產業に關するもの
一、午後六時三十分懇親會（ヤマトホテルに於て）協會主催

浮說亂れ飛んで 鈔票は崩る
墨滿の金本位制等々

二十四日前場大連錢鈔市場の鈔票は海外情報休日前に比し銀塊倫敦十六分の一高、紐育八分の一安、米日爲替は前日五十二仙安、けさ十五仙高で休日前に比し結局三十七仙安と海外材料としては寧ろ强材料を入れたが上海標金は前日より十九兩七高の七百二十六兩に寄り引は更に四兩と奮騰を入れ二圓乃至二圓四五十錢安と暴落した、上海の標金高はメキシコの金本位制採用說が傳へられたためとの情報であるが銀產國が突如金本位制を採用するとは受取れぬ節もあり更に同國は二三ケ月前月二百弗宛の銀塊を買上げこれを銀貨に鑄造し銀價回復政策をとることに決定したこと等を考へると甚だ矛盾した情報なるもたまたま內地某紙に滿洲國の金本位制採用等が報ぜられ氣迷ひの折柄とて一層人氣を惡化せしめ相場低落の因を遣つた

ラ地綿業爭議 圓滿解決

【マンチエスター二十三日發】ランカシアの綿業爭議は勞働相ベターートン氏の發議に基く勞資折衝の結果二十三日圓滿解決を見た、十五萬の織布工が一大罷業に入つて以來殆ど一ケ月に及んで居る

總會に出席の 特產業者日程

滿洲特產協會大會內地側參加者の旅大に於ける日程は二十五日總會終了後左の如くで二十八日奧地視察に赴く豫定である

一、二十六日
午前九時大連取引所、油坊、埠頭構內參觀の上小蒸氣にて甘井子見學、同所海務協會にて晝食午後一時三十分同所發星ヶ浦海岸に上陸
午後四時星の家庭園にて歡迎園遊會、大連特產三團體主催
一、二十七日
午前八時三十分大連發、滿電バスにて旅順見學、往行表道路復行裏道路
晝食旅順ヤマトホテル
夜滿鐵招待晚餐會

根本對案研究
輸組の委員會

輸入組合の根本的改善案に就ては既報の如く新京、奉天、大連等各組合でもそれぞれ具體案研究を續けつゝあるが滿洲輸入組合聯合會では既報の貿易組合案を中心に二十六、七日の兩日午前九時より繼續委員會を開催、最後的具體案の案出に努めることゝなつた

滿電重役北行

滿電入江專務並に石橋常務は二十四日午前九時發急行で北行、奉天、新京、安東の各支店を巡視、新任挨拶を爲し入江專務は廿九日頃、石橋常務は來月五日頃歸連の豫定である

●訂正 二十一日附本紙第四面經濟欄遼陽金融組合八月中業績とあるは鮮銀遼陽支店調査の誤りに付訂正す

黃塵

◇…目下上京運動中の田村君の努力によつて滿洲中商工業者への低利資金融通問題も大分好轉した模樣だ、正しく一福音である、從つて專念この運動に沒頭してこゝまで漕ぎつけた田村君の功績はまた偉大なものである。

◇…處がこの功勞者の田村君も功績に最後を飾つて近く村井君の後を追ふて副會頭の椅子を去る樣子だ、辭表はすでに出てる筈、會議所としてはまことに惜しい副會頭を失ふ譯だ。

◇…銀安の一材料としてメキシコの金本位制採用が傳へられてゐる更にこの頃では滿洲國の金本位說が擡頭して、何れも錢市場に取つては弱氣の一材料ではあるが、メキシコの金本位制說なんどホンの噂に過ぎない、例の爲にせんとする思惑師連の流言ではないか。

市況（廿二日）

特產 銀安と實物薄で 高粱昂騰

今朝の定期は大豆は銀安と邦商買に高寄りしたがあと實物ありて結局張弱區々を入れ豆粕は保合、豆油は銀安に强調、高粱は實物薄に昂騰を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（近高先安）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百五十車

▲普通大豆出來不申

▲豆粕（小型）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬七千枚

▲豆油（堅調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二千五百箱

▲高粱（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 七十六車

▲包米 出來不申

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
大豆（混保）（袋込）	五三六〇	五四五〇
出來高	百四十車	
普通大豆（袋物）	五二八〇	五三一〇
出來高	十車	
豆粕	一六四五	一六四〇
出來高	一萬三千枚	
豆油	一五七〇	一五七〇
出來高	十車	
高粱	二〇五〇	二〇五〇
出來高	十車	
包米	三一五〇	三一五〇
出來高	四車	

定期喰合高（廿二日帳入）

品名	喰合高	增減
大豆	三七五十車	一六〇車
高粱	一一六七車	△八車
豆粕	二五九千枚	三一千枚
豆油	五二五百箱	一〇百箱

豆粕生產高（二十四日）

日	生產高
二十四日	四、〇〇〇枚
二十五日	四、〇〇〇枚

錢鈔 上海標金高で 鈔票低落

海外情報は休日前に比較すると倫敦銀塊現物先物共十六分の一高紐育八分の一安と賣同事米英クロス十六分の十一高米支同事米日五十仙安滬申七十五兩一五溝烟七十兩六〇大洋九十三圓八十錢上海標金は十九兩七高に寄り引は更に四兩五高を入れ當市鈔票は一圓七十錢安に寄り引は更に五十錢安と顯落した

◇定期前場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（近期四百八十二萬圓 遠期一千五十萬圓）

◇現物前場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金十六萬二千圓 銀對洋二萬四千圓）

豆

今朝大豆は銀價の軟弱と邦商の買に高寄りしたがあと實物の續出で結局近高先安を示した▲豆粕は依然として人氣なく滿商內保合豆油は銀安で堅調を呈し高粱は實物薄の折柄銀安を眺めて昂騰を辿つた▲特產大會內地側出席者二十五名が今朝うすりい丸で來連直ちに中央試驗所、滿蒙資源館を參觀し午後一時から滿鐵社員俱樂部に於ける豆粕懇談會に出る▲ホンに忙しいことだが人數から言へば淋しいものだ

銀

銀塊は前日倫敦現物先物共六ポイント高紐育四高と反撥したがけさ倫敦五安紐育三安と反落▲米日は休日前より三十七仙安神戸爲替市場はブローカー休日にて情報なく海外材料としては寧ろ强氣的であつたが上海標金の奔騰から地場鈔票は前日より二圓安と低落した▲上海標金高はメキシコの金本位制採用說が傳はつたためと言はれてゐるが當市は大每記事の滿洲國金本位制採用に嫌氣してゐた折柄であつたから一層響いたらしい▲兩說共眉唾物であるが氣迷ひの折柄人氣を可なり動搖せしめた▲銀產國のメキシコが金本位制採用は一寸おかしいし殊に三ケ月前每月二百萬弗の銀塊を買上げることによつて銀價の回復を圖ることに決した同國が手の裏をかへすやうな政策を行ふ筈はない▲滿洲國の金本位制採用は遠い理想論で少くとも現實的の問題でない

株

休日明けの北濱は諸株共ボンヤリ東京短期の東新も二圓臺の弱保合を入れ▲當市は氣配變らず五品新豆錢鈔共閑散裡の保合であつた▲內地市場も材料薄で無味平凡な市況を示してゐる▲アメリカの市況も稍下げ渋りの商狀とはなつたが未だ不透明の市況にあるし▲更に國際聯盟の空氣も樂悲交々に傳へられるので一般に氣迷ひ深く殊にけさは日曜を控へて氣乘薄閑散の場面を呈してゐる▲目先米國市況の如何と滿蒙問題を中心とする聯盟の空氣次第で一喜一憂の相場を繰返すことになろう

糸

米棉情報は初め一般の賣り物多く下落したがその後株高につれ引戻し出たので再落したるあり▲現物二十ポイント安、先十八乃至二十五安を示し米日は休日前に比し三十七仙安で材料區々であつたが大阪三品は米棉安の失望から各限三圓五六十錢安と反落し▲當市は輸入屋筋とマバラの賣物に小手合せをみた▲麻袋は鈔票安乍ら產地高と輸入商筋の賣り渡りで氣配軟りであつた

株式 內地ボンヤリ 當市保合

前場

北濱定期の前場寄は大株十錢安大新二十錢安鐘紡一圓二十錢安鐘新四十錢安とボンヤリ東京短期の東新は六十錢安に寄りアト保合を入れて當市も氣配變らず五品は定期先物二十錢高延は保合新豆錢鈔も變らず東新は一圓八十錢安に引けた

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	一八四	二六五
五品 中	—	二六五
五品 引	一八四	二六五

滿鐵株（弱保合）

▲東短前場 滿鐵新株 三十九圓十錢
▲大阪現物 滿鐵舊株 五十二圓九十錢

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇短取引

代行 滿洲興業 二四四 二三〇

▲爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引日步	代渡日步
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式出來高（廿二日）

商品 麻袋强保合 綿糸反落

●麻袋 產地情報は當市休會前に比し紐育共四分の一高爲替二留比安當市鈔票軟弱と材料區々乍ら當市は投げ物一巡し輸入屋の賣遊りにて小喰りであつた引際氣配は現物三十八錢先限三十七錢五厘見當

●綿糸 米棉情報は當市休日前に比し現物十五ポイント安先二十八九安米日三十七安と區々を入れたが大阪三品は各限三圓五六十錢安と續落し當市は輸入屋及びマバラ筋の小口賣物があつた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	一月限	一七八七	九〇
同	二月限	一八〇二	一四〇

出來高 二百三十梱

期	定期	延期	早受	金受
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

上海爲替情報

【上海二十四日發】銀安は昨日既に相場に出たことでもて標金寄りアト海着續樣なりしもメキシコ政府が大藏省に金準備を命じたため紐育筋にてはこれを金本位の準備なりと推測してゐるとのルーター入電ありて中央銀行現物買旁々賣物薄の折柄急騰す弗は外銀筋少し買氣に氣配稍堅きも弗三〇弗十六分十五賈と保合、圓は銀行に賣物多く賣りあるため安値には漢口買ひ多く[illegible]

市場電報（廿四日）

●印棉

銘柄	相場
ベンゴール	[illegible]留比
ブローチ	[illegible]留比
オムラ	[illegible]留比

銀塊及爲替

銘柄	相場
倫敦銀塊	[illegible]
同 先物	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
スチール	[illegible]
アナコンダ	[illegible]
英米爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]

神戶日米

回	相場
第一回	—
第二回	—
第三回	—

棉花 ●米棉

限月	相場
現物	[illegible]
十月	[illegible]
十二月	[illegible]
一月	[illegible]
三月	[illegible]
五月	[illegible]
七月	[illegible]

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	[illegible]	—
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	—	—
滿鐵	—	—
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新	[illegible]	[illegible]
（短期）大新東新 寄値	[illegible]	[illegible]
引值	[illegible]	[illegible]
高值	[illegible]	[illegible]
安值	[illegible]	[illegible]

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
▲第一回 東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
▲第二回		

大阪期米 / 神戶期米 / 東京期米（當限・中限・先限 前場寄・前場引）[illegible]

大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 印度麻袋 [illegible]

上海標金

	相場
寄値	七二六兩〇
高値	七三一兩五
安値	七二四兩五
止値	七三〇兩八

三井、朝鮮よく買ふ

手形交換高（廿四日）

	枚數	金額
金	[illegible]	[illegible]
銀	[illegible]	[illegible]

爲替相場

鮮銀

種別	相場
倫敦向電賣（一圓）	[illegible]
紐育向電賣（金百圓）	[illegible]
上海向電賣（同）	[illegible]
同 電賣（銀百圓）	[illegible]
日本向電賣（同）	[illegible]
同上五日拂買（同）	[illegible]

奧地市況

錢鈔

地	種別	相場
奉天（奉票）	現物 先物	[illegible]
大洋票	奉天 現物 定期	[illegible]
開原（大洋）	當限 先限	[illegible]
安東 鎭平銀	當限 先限	[illegible]
哈爾濱（大洋）	現物	[illegible]

特產

地	限月	寄引	大引
▲大豆 哈爾濱	十月限	[illegible]	[illegible]
	十一月限	[illegible]	[illegible]
	十二月限	[illegible]	[illegible]
▲小麥 哈爾濱	十月限	[illegible]	[illegible]
	十一月限	[illegible]	[illegible]
	十二月限	[illegible]	[illegible]

各地特產發送高

地	大豆	高粱	豆粕	雜穀
▲開原	二二車	五車	一車	一車
▲公主嶺	三車	一〇車	—	—
▲四平街	一〇車	一車	—	五車
▲長春	一六九車	—	五車	一七車

大連埠頭到着高

品名	數量
大豆	二〇八車
高粱	三車
豆粕	三車
雜穀	九車

滿洲日報

報告書審議延期要求
廿四日理事會で審議
結局我要求容れられん
報告書審議十一月中旬後か

【ジユネーヴ二十三日發】調査報告書の審議をその内容發表の六週間後になすべしとの日本の要求は理事會議事日程の最後に置かれてあり或はこの要求は討議さることなく終るのではないかと見られて居たが本日に至り突如變更せられて眞先にこの要求を審議するに決した　從つて長岡代表は廿四日理事會劈頭に要求理由の説明をなすに決定これに對し愼重熟慮よりは當然抗議も出づるものと見られて居る、尙聯盟では日本政府が調査報告書を正式に接受後これを公開し日本としての方針を決定し最新の訓令を攜へたる特使を派遣するには少くも六週間を要するものと認め居り　理事會員の大多數は日本の要求に同意を表して居るので結局審議は十一月中頃となる見込である　報告書發表は十月五日以前となる

【ジユネーヴ二十三日發】日本のリツトン報告審議延期要求は殆ど確實に實現されるが報告書發表は十月五日以前となり審議開始は十一月十五日又は二十一日と見らる

報告書審議の理事會
十一月十七日より開會

【東京二十四日發】二十四日正午長岡代表より外務省に達せる公電によれば報告書審議の理事會開會の時期は聯盟事務局において左の通り意見一致し二十四日午前十時よりの理事會において正式討議し決定を見ることゝなつた

一、報告書は九月三十日頃印刷完成直ちに聯盟各國に配布す
二、報告書審議の臨時理事會は配布後七週を經て十一月十七日より

開會
三、日本政府の意見書提出は右期間內とす
四、日本政府の滿洲國承認問題は報告書と共に審議せらるべき事件なるを以て支那政府よりの分離審議要求はこれを却下す

尙英佛側は世界平和上と國際聯盟自體の爲めにも日本を聯盟より失ふを極力防止すべしとの意見が有力である

孫科の氣焔
『東北問題の解決には只極東戰爭あるのみ』

【香港二十三日發】久しく當地に滯在してゐた孫科は今朝エンプレスカナダ號で上海に向つたが氏は何とも云へないと語り更に時局問題に就いて左の如き意見を述べた

東北問題の解決は只極東戰爭の發生に依る外望みがない、國際聯盟に解決の方法なければ米國は結局單獨行動に出て九ケ國條約を楯に日米戰爭となる、次いで日露戰爭も必然に起るべき勢ひにある、支那がその戰場となるは勿論で吾々はこの點に鑑み前以つて準備が肝要である、戰爭勃發後一、二年は日本が優勢なるも遂には崩壞し歐洲戰爭後のドイツ同樣の運命を辿るであらう、東北問題に對する現下の判測には二樣ある、一は英國は中立を守り佛國は日本を援け米國は孤立するも結局は日米戰爭にまで進むべくこの時期までに我國力を增大せば初めて解決されるであらうと見る說と、二は英、米、佛態度を一致して對日經濟封鎖の實行に移り日本は孤立に陷り自發的に軟化するか否かは疑問であるが大勢の趨くところ如何とも爲し難く結局は東北を支那に返還するに至るであらうと見る說である

リツトン卿等

【東京二十三日發】リツトン卿その他の委員は九月三十日イタリー汽船ガンヂー號でイタリーのヴエニスに到着する豫定である

英紙の論說

【東京二十四日發】英政府機關紙として國際輿論を左右するモーニングポスト氏は二十二日の朝刊に左の如き論說を掲げセンセイシヨンを起してゐる

滿洲問題に就き報告書提出前に論ずるは時期尙早で日本の有する幾多の歷史的背景、特殊關係を考慮せねばならぬ、滿洲國建設の可否は滿洲全土の秩序安寧を維持し善政を布き得るや否やに在り日本の力にて之を爲し得るにおいては滿洲國出現は日本のみならず全世界の利益なり

承認後の事態

【ジユネーヴ二十三日發】リツトン報告書中には滿洲に自治權を與へ

滿洲國の對外政策
飽く迄常道で進む
承認せざる國の權益否認說を
外交部當局では否定

露國の承認說で
米國に衝動
極東政策に大支障と

【ワシントン二十三日發】露國が滿洲國を承認すべしとの報はワシントンに非常な衝動を與へフーバー大統領スチムソン長官の對極東政策は一大障碍に遭遇したと政界注目の標となつてゐる

露滿條約締結交涉
近く新京で開始か
大橋、ス兩氏哈市で會見

【ハルビン特電二十三日發】大橋外交部次長は二十二日來哈當地外交部に招致し日滿正式國交開始を披露したが氏は改めてスラウツキー總領事を訪問長時間協議した

【モスクワ二十二日發】確聞するにソウエート政府は滿洲國より派遣される領事及び領事館員をブラゴエチエンスク、ウラジオ、ハバロフスクその他極東ソウエートの諸地に駐在せしめることを受諾するに同意した

議定書の配布
要求は拒否

滿洲國行小包
米國で扱はず

滿洲海關閉鎖告示
滿支間貨物稅率發表

東洋事情を米國人に紹介

齋藤代理大使

鮑全權一行
奉天發赴連

劉韓の主力戰開始
韓復榘廿三日朝總攻擊令を下して
萊陽附近で大激戰

韓の山東統一

山東の劉韓兩軍
一先づ停戰
蔣伯誠調停に奔走

命令を受けたなら
喜んで御奉公する
滿鐵理事決定說に　河本大佐語る

理事就任決定の報を齎し瀋陽館に河本大作大佐を訪ふと氏は語る

未だ正式に何んの通知も受けておらぬので申し兼ねるが軍部と滿鐵の事務連絡上軍部から理事を推薦することが便利だといふので本庄前司令官も武藤全權もそうしたお考へのやうであつたため私に話はあつたが私としては日本のため且つ滿洲のために一身を捧げてゐるのであるから理事となりその職責を完ふするに滿洲をよく知つてゐるからそのために命令を受けたならば喜んで御奉公をする覺悟はある、ところが失職してゐるから救ふためとか或は特殊事情のためにその理由で就任するのだといふやうに曲解されるやうなら私として斷然拒否するに躊躇するものでない、私としては赤心を捧げ滿洲國に沒頭する意志は依然として變りはない、この決心は何れの場合いづこにおいても忘れないのである【奉天電話】

滿鐵顧問に
山內中將

波蘭商人の滿蒙進出慫慂

文官分限委員會
會長以下委員決定

在滬邦人紡績の
苦境は深刻
船津氏等廿四日來連

ドイツ議會で
閣僚に召喚狀

華僑の抗日會
援助打切り

學良、匪賊頭目を旅長に任命

全印に憂色
ガンヂー衰弱

司法省三法律案來議會提出

愛蘭前首相を逮捕か

着奉した鮑全權　(上)奉天驛で左は夫人　(下)武藤全權との會見　左、武藤全權　右、鮑全權

傳統の破壞

◆…古き傳統に拘束されるな、傳統を破壞しろ……といふ聲は最近よく耳にするところです、藝術上の一例をあげれば、いはゆる西歐近代劇を基調とした新劇ばかりを讃美して我が三百年來の歌舞伎を頭ごなしに輕蔑する人があります、成るほど新劇には歌舞伎に見られぬ深刻な人生の再現はありますが、藝術なる點より見れば歌舞伎も立派な一つの生命を持つてゐます、又劇に限らず、映畫も創作も共にこの傾向は近來甚だしいやうです

◆…この無批判的な傳統破壞と流行的西洋追隨主義は、單に藝術方面のみならず、經濟に、法律に、宗敎に、道德に——あらゆる日常生活の細々とした點に非常に多く行はれてゐます、例をあぐれば、街頭を濶歩する所謂モダンガール、新らしき女性の存在です細く長くひいた眉毛、斷髮、腕もあらはな洋裝——必ずしも此れを頭から否定しやうといふのではないが、唯彼女達に一應日本髮の美しさや、日本服の美しさを認識したことがあるか否かを、又頭髮、服裝と日本女性の生理的關係を考察したことがあるか否かを聞いて見たいと思ひます、單なる流行の模倣ではありますまいか……

◆…傳統の破壞——それが時代の潮流であれば何うすることも出來ないでせう、然し無批判な破壞は何處までも避けるべきです、我々は何處までも日本の傳統を再認識しなければなりません

日本兒童使節を伴ひて

西村眞琴

○滿洲の國の幸いのりつゝ使節の子等は玉ぐしさゝぐ(明治神宮に詣でゝ)

○御ゆかり深き御調度おろがみて明治の御代のたゞならぬを思ふ(明治神宮寶物殿參拜)

○櫻木の葉數ちりしく拜殿にぬかづく人等陽にかゞよへり(靖國神社に詣でゝ)

○北滿の水災救助と記したるポスターに見入る使節わらべら(義捐金募集のポスターを見て)

○うすりい丸いよゝ出で立つ幾千條テープはきるゝテープはきるゝ(神戸港にて)

○使節等は五色のテープ貼り交へ滿洲國の旗をつくれり(船中の手すさび)

○わらんべの使節はいゆく海のあなた雲はえ渡る王道の國(甲板に夕映ゆる空を眺めて)

○壹岐のしま近よりぬらしわが船の行く手遙かにかもめ飛びかふ

○玄界も波しづもりて壹岐對馬ながめて語る夕べなりけり

○朝あけのキャビンのまどは夢なれやあかれの海をながる島々(多島海にて)

映畫女優の影響をうけて 大膽なウエーヴを

この秋・洋髪界のモード拜見

流行といふものは理屈を抜きにして時代人の心理をひきいるものです、そこに一九三二年秋のモードといふものが現在女性の注目を惹いてゐるわけです、洋髪といへばウエーヴを忘れられない近代の女性●髪に移りつゝある流行の姿を眺めて見ませう、寫眞の(A)はこの秋を風靡しやうとする新しいウエーヴの型(B)は在來の洋髪のウエーヴです、共にマーセルウエーヴであることに變りありませんが感じにおいて大變なちがひがあります(A)即ち最近のウエーヴは著るしくアメリカ邊のシネマ女優の影響を受けてゐるのがわかりませう、眞ん中から或は七三に分けた髪はアイロンも逆毛も使はずにピッタリと左右に撫でつけ、こめかみの邊から下へかけて思ひ切つて大膽なウエーヴを施してあります、これに較べますと(B)は殆ど毛の分け際からウエーヴがかゝつてをり、そのウエーヴも技巧的ではありますが、ごくおとなしい感じです(A)のあらけづりな技巧のない技巧の美がシネマを愛し、ラグビーを愛し、ボキシングを愛する近代女性に迎へられやうとすることも、また否みがたい時代の力でせう(すゞらん美容院内田秀子さんの話)

家庭顧問

子供の蕁痲疹は放つて置いて差支へないか

【問】五歳の女兒十日ばかり前から全身に蕁痲疹を生じ苦しんでゐます、毎年秋冬の頃、たびたび侵されますが放置して差支へありませんでせうか、醫療と民間療法を御敎へ下さい(霞町節子)

體質から來た蕁痲疹で 精神的肉體的に惡影響

金子甚藏

【答】蕁痲疹は體質から來るものと食餌性中毒から來るものとの二種があります、御文面によりますと季節の變り目に來るもので別に食餌の中毒でもないやうですから、お子樣の特異な體質から來るものと思ひますが、さうとすれば根本的治癒は一寸難しいでせう、一度診た上でなければ確答出來ませんが體質から來たのであれば放つて置くと再々發して神經質、不眠、食慾減退等の原因となり精神的にも肉體的にも惡影響を及ぼします蝦、蟹、章魚、鯖等は一般によく蕁痲疹の原因となりますが、特異體質の人には卵、肉類等の異種蛋白質さへ蕁痲疹を惹き起すことがありますから平生なるべくこれ等の食餌を避け鯛や鰈等の輕い消化のよい魚類や野菜、果物類を多く攝るやうにします、一方特に便通に注意して一日でも便祕したら浣腸しなければなりません、食餌性の中毒で蕁痲疹を生じた時は直に下劑をかけて胃腸内の中毒物を體外に出し藥を飲み食餌に氣をつければ割合に簡單に癒ります、蕁痲疹が出來ると大變痒くて氣持が惡いから塗藥を塗り、あまり痒い時には薄荷水を脫脂綿につけて拭くと氣持よくなります、酒精で拭くのも効果がありますが子供はよくかきむしりますから酒精では沁みて痛いでせう。

果物の秋・酣

市場の青物屋の前に立つ時・何と眞赤に子供の頰つべたのやうに輝いてゐる林檎のつやゝかさ!サックリと嚙めば甘い汁のしたゝりさうな梨のその色のよさ!一粒一粒香り高い果汁をはじけるほど含んだ葡萄のつぶらさか!透明さ!果物の秋は今たけなはです……!

得も云へぬ高い香りと、甘酸つぱい味と、幾分齒ごたへのある硬度を持つた目覺めるやうに眞赤な紅玉がボツ〳〵出盛つてまゐりました、昨今のお値段飛び切りで一貫匁三十五錢といふところ、普通品が二十錢から二十五錢見當ですが昨年から見ると約半値ですが味は未だ十分とまで行きません、今二週間も經つたら味も百パーセント美味に、品も豐富に、お値段ももつとやすくなりませう、初秋の食卓を賑はしてくれた祝や旭ももう末でこれからいよ〳〵紅玉の獨舞臺ですが、貯藏用としてよろこばれる國光も十月中旬あたりからボツ〳〵姿を見せませう。今年は國光は例年にない不作だとは申しますが、大連附近の果樹の結果期にあるもの、數が著るしく殖えてゐるために國光も總量に於ては遙かに昨年より増加して居り、紅玉に至つては到底前年の比でない増加ですから、日本の貨幣價値が下つても昨年よりもずつと安く美味しい林檎が食べられやうといふわけです

◇梨も洋梨のバートレット(あの豐醇な香氣をもつた舌にのせると蕩りでとけるやうなきめの細い水分の多い瓢簞梨)が今盛りで小賣百匁七八錢、平たい大粒の長十郎はもう盛りをすぎました、水色のすき透つたやうな水分の多い二十世紀は未だ走りで十二錢見當の高値、二十世紀に似たもので太白といふのは幾分風味は落ちますが値段ははるかに安くこれもこれから出盛りです

◇林檎梨といつてよろこばれる紅宵梨(又は紅梨)は熊岳城附近の特産でこれは十月半すぎになりませう、葡萄も今出盛り、玫瑰香(メイクイシヤン)といふ茶褐色の粒のバラ〳〵についたものが今のところ一番美味で上物十錢見當これに似て粒の密着してゐるのは全然別種で美味しくありません、他に幾分青味をもつた大粒の丸い龍眼も今澤山出てゐますがこれは酸味がつよくて一般向でありません、小賣百匁五六錢です、ぼつぼつ走りの出て來た牛奶(ニューナイ)はうす青く透明で卵のやうな形をしてゐますが香も味も前の二種より遙かに上で値段も最高位にあります。これも未だ少し早く十月半頃でなければ本當の味は見られないでせう(中央卸市場事務所調べ)

木村光江個人洋畫展

東京女子美術專門學校出身で岡田三郎助畫伯に永らく師事してゐた木村光江女史は明二十六、明後二十七の二日間大連滿鐵社員倶樂部に最近の作品三十數點を陳列して個人洋畫展を開催するが入場無料

秋と女 R

天上界に遊ぶ歡び 茶道に身が入るも妙

大連市敷島町六五 岡入花子さん

爐を据えたり、お釜をかけたりそして松風の音のさわやかな中でお茶を立てるのにはやつぱりこれからでございます。久しく御無沙汰してしまつたお茶の先生のお宅にしらず知らず足が向くやうになつたのも流石に秋なればこそと思はれます

◇

お點や、お茶や、琴や、お針や いろんなお稽古事の中でも秋から冬にかけては一番茶道に身が入るのも妙でございます、茶道と申しましてもほんの玄關口をまたがして頂いた位のことですけれどお茶の席にまゐりほどよく立てられた薄茶を頂いたり、主人役になつてお茶を立てたりいたします時の氣持——無我の境とも申しませうかさながら天上界にでも遊ぶやうなすがすがしいよろこびを味ふことの出來るのもこの時でございます

◇

お年を召した先生のお伴をしてお辨當持ちで出かける春秋二度の野立は何よりうれしいおいしいお茶の會でございます、先達ては中央公園の後の山へまゐりました。人の訪い秋草の亂れ咲くあたりに毛氈を敷き上座に先生を招してたのしいお辨當を戴いたあとお茶の會がはじまりました。若い者ばかりで土を掘り石を集めて即席のかまどを拵へました。丈夫な木の枝をたわめてお釜を吊るし、枯枝や枯草を集めて火を作りました。短冊箱に短册を立てかけ、虫の聲をきゝ乍らの野立のお茶は一しほでございました。

◇

緋毛氈を敷いての花かげの春の野立はたのしいといへばたのしいものでもございますが、人影もない秋の山の野立ほどの野趣は到底見出せないやうに思ひます、茶室にしろ、野外にしろ、お茶をたのしむには矢張りもの靜かな秋の方がしつくりした氣持になれます

◇

でも先生の前でキチンとしてお習ひするお茶は味ふまでの氣持には未だなか〳〵まゐりません、父のゐない靜かな夜、母をお客様にして好きなお菓子で頂く薄茶のおいしさ「今日のは大變具合よく立ちました」との母の一言をまるで五つ六つの子供のやうにうれしく眞正直に受取るほどすなほな氣持にかへれるのも茶の湯のありがたさだと我乍らしみ〴〵感心したり……

◇

今年のおけいこもいよ〳〵これからだと思ひますと何かしら嬉しいことが行手に待ちかまへてゐるやうに心のときめきを覺えます、上手になりたいといふことよりもあのお茶の靜かなよろこびに浸り切る秋を迎へたことが今私をこんなにも期待にみちた氣持に導いてゐることを私はよく存じて居ります

滿日各地版

奉天に振替貯金口座の所管廳を設置
送金日數著く短縮す

【奉天】久しく懸案となつてゐた奉天に於ける振替貯金口座の所管廳設置問題は最近遞信局當局に於てもその重要性を認むるに至り、今回來年度豫算に計上さるゝに至つたので愈々近く實現のはこびとなつた、右所管廳設置の曉は從來の如く大連や京城あたりに口座を持たなければならない不便から救はれ、またこれによつて送金日數は著るしく短縮されるわけで、奉天在住者は勿論近郊在住者もこれによつて非常な利便を受けることゝなる、なほ現在奉天在住者にして振替貯金加入者の口座は左の通りである

大連七一、京城七八、釜山二、下關七、福岡六、大阪一二、東京七、名古屋一、金澤一

州外柔道爭霸戰
滿洲國軍優勝す
個人優勝は佐伯選手

第三回州外柔道優勝旗爭霸戰は二十三日午前九時から奉天道場に於て擧行、參加チームは鞍山、滿洲國、長春、鐵嶺、大同學院、奉天道場、奉天警察等から選り出された猛者連揃ひで各チーム共必死を期して奮戰に息詰まる接戰を演じかくて準決勝には滿洲國、大同學院、奉天道場、鞍山となり滿洲國對大同學院戰では一進一退の善戰をなして滿洲國側が强敵を斃し、奉天道場對鞍山戰では鞍山側が奉道をなで切りに斃して氣勢を擧げ愈々鞍山對滿洲國の決勝戰となる先づ鞍山の小原得意の背負投で滿洲國の高橋を斃し鮮かな處を見せ次は引分け續いて滿洲國の竹村鞍山の奧川を破り同點となり、次は引分け愈々最後の大將同志の決戰で勝敗が定まるといふ大接戰となつたが、滿洲國側の岩淵最後の五一分間の奮戰に鞍山の宮武を破つて遂に滿洲國側に凱歌擧がる、續いて個人決勝が行はれ大同學院の佐伯一等となり午後三時半より優勝旗その他賞品が拍手裡に授與され盛況を極めて午後三時四十分頃散會した尚當日の成績は左の如し

團體第一回戰

勝		負
長春道場	四―〇	奉警
奉天道場	三―二	大同學院B
大同學院A	二―〇	四平街

第二回戰

鞍山	四―一	長春
奉道	二―一	鐵嶺
滿洲國	四―一	鐵嶺B
大同學院A	三―〇	滿洲醫大

準優勝戰(〇勝)

滿洲國		大同學院A
二段高橋(重)		〇三段佐伯
〇三段竹村		同　高辻
二段高橋		〇同　筵山
〇二段石橋		同　荒谷
〇三段岩淵		二段緒形

鞍山		奉道
〇三段小原		初段鹽谷
〇同　玖村		同　渡邊
〇同　藤本		二段松村
〇同　奧川		同　田代
同　宮武		〇同　久野

優勝戰

滿洲國		鞍山
高橋重		〇小原
分石橋		分藤本
〇竹村		奧川
分玖村		分高橋
宮武		〇岩淵

個人決勝

〇小原　竹村
〇佐伯　岩淵
〇佐伯　小原

一等佐伯、二等小原、三等岩淵四等竹村

學良が迷信團黃卍教を利用

【奉天】張學良が最近滿洲攪亂の方法として宗教的團結を有する黃卍教なるものを利用せんとしつゝあると傳へてゐるが、之が眞相を聞くに元來黃卍教なるものは近年平津地方に起りし天主堂教會のごときもので、黃色の旗を用ふるため通俗に黃卍教と稱へられその勢力は大したものでなく一種の迷信團である、最近黃卍教の中に學良より資金を詐取せんがためにこの宗教的團結を利用すべしと賣込みたるものあり、學良も大いに氣乘りした模樣で特に溺れるものゝ藁をもつかむといふものでその窮狀これによつても察知せられる

署長の壽命
平均一年

【金州】近時頻々と行はれる民政署長及警察署長等の更迭に付恒久性を採れとの聲が漸く在住者間に擡頭するに至つた、大正十二年以來平林、西山、川合、乾、森重、田邊、増田、安永、大和田と九年間に九名の署長が代へられた、これで見ると一代の署長が平均一年といふことになつてゐるが、今回の如きは着任以來やつと半年經つか經たぬかの内に轉勤である、折角行はれんとする抱負も經綸も行はれるものではない、殊に民政署の如き行政官廳にあつては少くも二三年の在任期間は必要である、それにもかゝはらず頻々として更迭させるのは金州在住民を全く馬鹿にした關東廳の遣り方だとの恒久性の實現に就いては相當硬論を吐いてゐる向が多い

輔仁會の運動會
二十五日盛大に擧行

【奉天】新滿洲國承認を祝すべく擧て日滿親善の實を擧げつゝある滿洲醫大の教授、學生、職員、從事員、看護婦等二千餘名より成る輔仁會第十九回陸上運動大會は來る廿五日午前八時から同大學グラウンドに於て開催される事になつたが、昨年時局の關係で折角の準備も中止のやむなきに至つたので今年こそはと會員擧つて盛大に行ふべく大意氣込みである、之がため從來の競技を變へて選手模範競技、對部競走、各地小學校招待競技、興味本位の教授團のリレー、假裝競走などが當日の呼物となつてゐるが澄渡る秋空に勇躍することの競技こそ多大の興味を以て迎へられてゐる尚その競技種目は左の如し

▲對部競技
聯合軍、劍道部、柔道部、弓道部、野球部、庭球部、ア式部、ラ式部、排球部、籠球部、從事員軍
(一)假裝競走、學生らしきものを選び各部毎に一團となり一種目に限る(二)對部千二百米リレー(十二人制)(三)百米(各部一名)(四)砲丸投(同)(五)走巾跳(同)

▲男子從事員男子學生々徒一般競技

▲女子從事員及女生徒一般競技
お手玉、走巾跳、五十米、大球コロガシ、スプーン

▲チーム競技
ラ式、ア式、排球、籠球

▲滿洲國備員八百米リレー

▲招待競技
在奉尋常科男女生、奉天公學校普通學校、奉天ロシア小學校在奉軍隊各中隊

▲從事員學生生徒綱引(各五十名、同棒コロガシリレー、考物パン喰、盲目試合、燈籠付、拜借、迷子、忍耐、樽コロガシ、五十米、百米、砲丸投、走巾跳、千六百米リレー

▲男子從事員對抗競技

▲選手模範競技
百米、四百米リレー、八百米リレー、走巾跳、走高跳、砲丸投、圓盤投

▲養成所生徒對抗競技
百米走巾跳、バスケットボール投、八百米リレー(八人制)

撫順の襲擊被害
大約二十五萬圓

【撫順】撫順炭礦の匪賊被害高は目下炭礦當局にて調査中にて正確な數字は判明せぬが、撫順警察署の調査によれば左の如く東ケ岡採炭所の損害約二十萬圓を筆頭に合計約三十五萬圓に及んでゐる

▲楊柏堡採炭所　社宅四戸、社宅全燒室各一棟(以上全燒)社宅窓硝子破壞八百六十枚、被害高計八一、四五二圓
▲東ケ岡採炭所　採炭事務所、機械工場、木工場、選炭場、機關場(機械共)運輸出張所、變電所各一棟、倉庫六棟、華工宿舍二棟、板百枚(以上全燒)被害高計二〇〇、〇〇〇圓
▲老虎臺採炭所　現場事務所、安全燈室、捲揚場、勞務係事務所各一棟(全燒)硝子窓破壞二百枚、被害高不詳
▲東鄉採炭所　勞務係事務所、坑內係事務所、華工宿舍硝子窓破壞四百五十枚、被害高四十八圓

鄭家屯附近の匪賊狀況

【鄭家屯】九月十八日張古臺鄭家屯北五支里に匪首南俠六合の約二百餘騎八黃色の旗を所持滯在す
九月十八日　四家窩棚鄭家屯東南十五支里に匪首天照應四海大文字の約三百名は鄭家屯襲擊を企圖せりと
九月十八日　ボクトル鄭家屯十二支里に鄭家屯四閣に蟠居する匪首全部會合三日以内に鄭家屯を襲擊に關する協議をなし若し襲擊不可能の際は南下する云々ボクトルより來鄭の農民の談
十八日　遼源縣第二區より來鄭せる農民の談に依れば先日來梨樹方面に赴き暗中飛躍中の于海川は近日中に匪賊三四百名及迫擊砲二門機關銃數挺を携行歸來第二區附近鄭家屯襲擊すと
十八日　大孤家子鄭家屯東十五安里匪首不明の五十餘名滯在す
四家子鄭家屯東北三十支里に匪首不明の六七十名滯在譚々吐屯鄭家屯東北十八支里に匪首不明の七八十名滯在八面城鄭家屯南百二十支里匪首不明百餘名滯在
鄭家屯憲兵隊は滿洲事變記念日前後の警備に最善を盡して居る所特に十七日は午後七時頃より日本守備隊長應援の下に日本兵四十名縣公安局員八十名を指揮市中無賴漢の宿泊所及旅館を不時捜査容疑者十一名を檢束午後十二時引揚たり

洮南縣内の鮮農避難

【洮南】洮索線一帶の鮮農は從來しばしば匪賊の迫害を受けつゝあつたが、最近義勇軍の活躍甚だしく遂にたへかね九月十七日迄風水山地方百三十名、七道嶺附近十名小茂好附近十名が洮南に避難し來り今後も續々洮南に避難し來る模樣

不發彈の爆發
錦州で大騷ぎ

【錦州】二十二日午後二時半頃錦州南門外東方五十米の滿洲人部落に突如轟然たる爆音を發したので時節柄一般に神經を尖らせて居る部落民はスハ來たとばかりに大騷ぎしたので早速調査して見ると、過日記念日に擧行された射擊演習の際野砲より發射された榴散彈の內不發になつたまゝ落ちて居たのを[illegible]

稻作十萬石の刈入れが出來ぬ

【奉天】目下來奉中の吉林の森岡領事は語る
武藤全權に御挨拶に上つたのですが、色々と話も出ました、現在吉林管內では朝鮮人の手によつて植付けられた約十萬石の稻作が匪賊のために未だに刈り入れが出來ないでゐますが、早く適當な方法によつて刈り入れたいと思つてこの保護方について軍にお話し致したいと思つてゐます

に忍びず、鮮人民會等を通じわが官憲の刈取期間內現地保護を願ひ出てゐるので、當局でもこの際何等かの對策を講ずべく考慮中であるが何しろ附近の匪賊は目下數千に及ぶ大集團であるので少數の派遣員等では却て逆襲さるべくかといつて實收三萬石三十萬圓からの作物を放棄するわけには出來ぬのでこゝもと頭を惱ましてゐる

撫順縣下の稻作の惱み

【撫順】沿線第一の鮮農地たる撫順縣下は目下數千の匪賊が隨所に横行してゐるため、今春三月以來粒々辛苦耕作した彼等同胞の水田は頃日來平年にも增した豐作と米價の昂騰に喜びながらも刈取る餘裕なく打ち捨てられてゐるが、避難鮮人等は折角汗の結晶を捨つる[illegible]

佐賀加世田兩氏の遭難談

【鐵嶺】滿鐵地方課土地測量班佐賀清一、加世田正行の兩氏を二十三日北三條測量事務所に訪へば、兩氏は柴城子附近に於ける匪賊遭遇の情況を左の如く語つた
我々は二十二日朝鞍山東方朝日山々麓より柴城子境界線の測量を終り次の區域に移らんとする時、折柄豪雨に逢ひ護衛の伊藤一等兵の指揮する守備兵六名と共に同部落に於て中食を取り降雨の爲め暫時休憩せんとする時、東方約三百米の地點より匪賊の射擊を受けた、守備兵は直ちに之に應戰したが賊は猛烈なる銃火を浴せ頑强に抵抗した、加世田氏外滿人は急を守備隊に報じた賊は益々增援し三方面より包圍の隊形を取り進擊し盛んなる射擊を續けるので伊藤一等兵外五名の守備兵は決死の覺悟にて應戰し彈藥のある丈け射ち賊の一部に突擊せんとする時、共同墓地附近より砲擊開始せられたので援隊が來たことを知つた、賊は此の砲擊に驚き算を亂し東方に逃走したと

滿洲協和會の承認祝賀式
十月十日全滿的に擧行

【奉天】滿洲協和會にては日本の滿洲國承認を祝賀するため廿八日新京において溥儀總裁、鄭孝胥、張燕卿理事長其他政府要人參集し祝賀式を擧行する準備中で全滿的の祝賀は十月十日を期して行ふ由

金州の落花生檢查所落成式

【金州】曩に竣功した二十里臺驛前の落花生檢查所を兼ねた倉庫の落成式は二十二日午前十時より擧行された
參列者は三宅農會長代理、加世田市民會長、本丸同副會長、星警察署長等五十名
先づ松山神官の降神の儀あり莊嚴な祝詞を奏して三宅農會長代理の式辭、棚橋關東廳內務局長代理の告示、東小園技手の工事報告、加世田市民會長の祝辭、曹金州會長の祝辭あつて十一時半滯りなく終了續いて別室に設けの宴會場にて

鐵嶺法庫門間自動車運轉

【鐵嶺】鐵嶺法庫門間唯一の交通機關として事變前までは支那側に於て連絡自動車を運轉してゐたが事變の爲め自然消滅し爾來中止となつてゐたところ、今回大連居住邦人古賀嚴氏が鐵嶺縣の認可を得て鐵法間の自動車運轉に着手し十月中旬より營業を開始する筈と

三日間休日で官廳ガラ空き

【新京】廿三日は秋季皇靈祭廿四日は岳飛關羽の記念祭廿五日は日曜と三日間續いての休日に滿洲國政府お役人は全くホクホクもので久しぶりに妻子の顏見たさに奉天大連、旅順方面に旅行するもの多く官廳は全くガラ空の狀態である

な某滿洲人が之を拾つて來て、南門外廣場物賣商德盛方へ賣却したのを馬方の店員許(二七)が强烈な爆發したものと判明した、此の爆事に依て馬方の腰は打拔かれ店員許は左腕部に重傷を負ふたが生命には別狀はないらしい

來賓を招待して懇會裡に午後一時閉會した

眞心をこめたやさしい慰問
滿鐵社員會婦人部員一行のねんごろな見舞ひ

第一線で奮戰し傷いた傷病軍人並に滿鐵社員を心から慰めんため滿鐵社員會婦人部では自らキユーピー、花束、繪葉書、色紙、口繪等を作成中であつたが

今回　多數出來上つたので廿三日の秋季皇靈祭の休業日を幸ひ婦人部役員を六班に分ち第一班は大連、旅順、第二班は大石橋、營口、鞍山、第三班は遼陽、奉天、第四班は鐵嶺、第五班は公主嶺、長春、第六班は本溪湖、連山關、安東等と全沿線に亙る傷病軍人及び社員を慰問することゝなり廿二日夜一齊に出發しそれぞれ手厚い濃やかな慰問をなした遼陽

奉天慰問の第三班文書の松井よしの、經理の岡村たま、庶務の原田はな、工事の池田靜子の四孃は班長文書課の松本まつさんに引率され、廿二日廿一時半大連發廿三日五時七分遼陽着同地では衛戍病院の傷病兵、公傷社員を見舞ひ同日十一時十分遼陽發、十二時五十分奉天着直に衛戍病院の

傷病　軍人、醫大醫院に入院中の公傷社員を慰問し、同日十七時より滿鐵社員倶樂部で奉天婦人部の役員と共に晩餐をなし大いに意義あらしめて同日廿二時四十五分發列車で歸途したが松本まつさんは

遼陽では衛戍病院に院中の百十名の傷病軍人を見舞ひ一人々々キユーピーや口繪を與へ又廣間には花束などを置いて參りました、そして滿鐵病院に社員の公傷患者を見舞ひましたが、三名とも退院されたと聞き先づ以ておよろこび申上げました、丁度その朝は賊のため人質として拉去された鈴木さんが歸つて來られたので負傷されてゐる鈴木さんにおよろこび申上げ又そのお家族にもお逢ひして色々およろこびや々お慰めの挨拶を致しましたそれから奉天に着く間の中間小驛に下車して一々社員の慰問をしたいと思つてゐましたが時間もないしその附近の家族は全部安全な地に

避難　されて居られないと聞き、停車時間僅ながら驛長さんや助役さんに慰問言葉をかけて來ました、奉天では衛戍病院に入院中の百廿五名の傷病兵を遼陽と同樣に一人々々お見舞しました、續いて醫大醫院に入院して居られる五名の公傷社員をも慰問しました、殘る時間で奉天附近の中間驛に出かけたいと考へてゐましたが相憎雨にたゝられて十分慰問も出來ず殘念に思つてゐます、私達が慰問して贈物を差上げたのはほんとに粗末なお話にならぬのでありますが、私達の心を汲みとつて下さつてどこでも非常に喜んで下さいましたので私達はこの上もないことゝ思つてゐる次第であります、安奉沿線に出かけられた下野さん一行に對しても非常に喜んで居られることゝ思ひます又こうした

眞心　こめた優しい慰問を受けた患者側のお話を聞けば私達もこれまで色々慰問を受けましたが、これ程優しい言葉をかけて下さる人には心から感謝してゐますが、こうした心の慰問を受けこれ程感激した事はありません、滿鐵婦人部からも始めてのやさしい言葉をかけて下さいました時これ程嬉しかつた事はありませんでしたが、私達は言葉の盡それ以上に感激されて只淚を以てお禮してゐるばかりです、何れ全快でもしたら又一生懸命働いてその御恩の萬分の一でもお返したいと日夜念じてゐる處であります
【寫眞は醫大醫院で公傷患者を見舞つた松本さん一行】

開原局は通遼發の郵便物を收受せず

【奉天】通遼郵便局長は曩て熱河省開魯郵便局長に對し郵便物の收受方を接收中であつたが、最近開魯郵便局長は人を派し通遼郵便局送發の郵便物は收受せざる旨回答して來たので、通遼郵便局ではこの旨一般に告示することゝなつてゐると

沿線往來

▲鮑駐日大使　廿三日新京より來奉ヤマトホテルへ
▲橋本憲兵司令官　廿三日歸奉
▲大谷騎兵第二聯隊長　廿三日大連より湯奉新京へ
▲板垣少將　廿二日夜來奉
▲林關東廳警務局長　二十三日金州を來訪自動車にて各所を視察歸任した
▲小川拓務省記官　二十三日金州管內の愛川村農業移民地を視察
[illegible]

祝大滿洲國承認

近郊の鮮農部落へ 各地から警官派遣
農作物の收穫を保護

在滿の鮮農は目下農作物收穫期に當り匪賊の横行と彼等の妨害のため刈入れ不能の狀態にあり、續々として軍部始め領事館、朝鮮總督府へ保護方を依賴し來るので今回奉天の駐滿全權部より關東廳に對し警官の派出方を要請して來たが關東廳警官は目下附屬地の警備に全能力をあげ殆ど餘力なき狀態である上附屬地の警備が本務であるから附屬地と連絡をとり得る一日行程々度の滿鐵附屬地附近の部落に限り保護に當ることゝし、このため總計二百六十名を州内外より移動長春、開原、奉天、安東等の要所に集結の上それ〴〵近郊の鮮農部落へ分派することになつた、右により現地調査のため加藤警視橋本警部は今明日中に北行の筈

大興に匪賊
包圍され危險

【チチハル特電二十三日發】二十一日午後七時洮昂線一帶に紅槍會匪三千襲擊し來り大興は包圍され危險に陷つた

新國家のため努力を誓ふ
黑河にある蘇炳文

【チチハル特電二十三日發】二十二日當地特務機關長林少佐は海拉爾より歸還なし蘇炳文との會見につき語る

蘇炳文は滿洲國家とその距離遠きため種々なる誤解を招きつゝあるが彼一身にとつては苦痛なる事情あるも新國家に對し今後積極的態度に出で叛旗を飜しまたは擾亂などは絶對になさずただ誤解の結果匪賊や叛軍のため種々宣傳されしを遺憾とす、今後益々新國家のため努力なすと誓つた、また動搖の兆ありし張殿九に對しても蘇炳文より取計ふと云ひ極く平和裡に呼倫貝爾問題を解決なすと共に赤露の魔の手を退け眞に兩名の滿洲國入りにつき努力を誓ふ

英國人人質の救出に努力

【北平二十三日發】當地英國公使館は各方面の同國出先官憲と協力營口郊外で匪賊に拉致された英國人救出方を努力中であるが、二十二日匪賊との間に折衝中の談判內容を發表する事は被害者釋放の交涉に障害あると認め聲明しない

英當局の憂慮

【ロンドン二十二日發】營口郊外で匪賊に拉致された英國人コークラン、ポーリー夫人の救出作業よりその後一向何等の進展を見ざるため當局では少なからず憂慮してゐるが、然し日滿當局が全力を擧げて英國當局の救出運動を援助してゐる事は大いに之を多としてゐる

殊勳の松木部隊 チチハルに凱旋
同地始めての壯觀

【チチハル特電二十三日發】過去五ケ月あらゆる困苦と霖雨に遭遇しつゝ馬占山討伐に赫々たる功績を擧げた北滿安定の名將軍松木第○○○團長は二十三日幕僚全部を引具して威風堂々とチチハルに入城した時正に午後七時驛頭には內田領事を始め官民多數黑山の如き大歡迎にて當地開闢以來の壯觀であつた

中山部隊入城

【チチハル特電二十三日發】二十三日午前七時第十四師團にて赫々たる殊動をたて上海より北滿にて大活動をなしまた馬占山討伐に殊勳をたてたる中山○隊長は全兵力を從へ無事入城した

本社主催の歡送迎會

【下右圖】學童代表のメッセージ朗讀【下左圖】小川市長の歡迎の辭【上圖】『滿洲維新の歌』を合唱する會衆

山城鎭まで 列車運轉
瀋海線の復舊

瀋海線の匪害による不通箇所はその後漸次復舊進捗し廿三日から清原まで貨物取扱ひ差支へないこととなつたが目下清原英額門間の復舊を急ぎつゝあり廿四日中には山城鎭まで開通の見込が立つた、從つて目下奉天總站清原間運轉中の混合列車は時刻改正のうへ廿五日から奉天總站、山城鎭間運轉の筈で改正時刻は左の如くである

▲下り第一列車
奉天發七・〇〇、撫順着八・三七、清原着一二・一八、山城鎭着一三・四〇

▲上り第二列車
山城鎭發八・〇〇、清原發九・四九、撫順發一三・五〇、奉天總站着一五・四〇

列車を運轉 食糧輸送
長春から敦化へ

匪賊の跳梁を蒙り敦化、吉林間は混合列車のみを出してこれが連絡に努めてゐたが、敦化に於ける食料難は益々その度を增し物價は日一日と高くなる一方で市民は極度に困窮してゐる、これがため吉長總務總局ではこれが打開策研究中のところ軍の掩護の下に混合列車の外に二三等列車の運轉を開始し連絡に努める一方、軍需品及び一般食料品の輸送を行ふこととなり二十三日より開始した【新京電話】

總裁に書方を 可愛い無心
滿洲に關心を持つ 內地の小學生から手紙

滿洲國承認が如何に內地の子供たちの胸にひゞいたか――二十四日滿鐵本社あて岐阜縣の田舍の小學生から次のやうな手紙が舞ひ込んだ「大きくなつたら滿洲へ行く」といふ意氣込みで「馬賊はもう出ませんか」と心配し林總裁に「書方か寫眞を」と可愛い無心をしてゐる、秘書課室では、早速在京の總裁まで「書方」をしてくれるやう手紙を添へて送付した

◇…謹んで申し上げます、滿洲も今度は日本とほんとうの友達どうしになつたことを先生からきゝました、僕らは實にうれしくてならないのです、之も閣下の御骨折の御陰です、厚く御禮申上げます(中略)

◇…僕ら五年生の二百人の者は滿洲の寫眞を切拔いて敎室にはつてゐます、そしていつも大きくなつたら滿洲へ行かうと思つてゐます

◇…閣下、滿洲はほんとうによい所ですが馬賊はもう出ませんかお友達の國をしつかり守つてあげて下さい(中略)

◇…どうか、閣下の書方か寫眞を一枚送つて下さい、お願ひ申します、ではお體を丈夫にして滿洲を守つて下さい草々

岐阜縣郡上郡八幡小學校 尋五(二百名)總代 八木久吉
南滿洲鐵道會社總裁 林博太郎閣下

入船驛を新設

滿鐵では鮮魚介類、鹽干魚介類、鮮肉、生果野菜、氷等の急送貨物輸送のため大連市入船町に沙河口驛より四粁の地點入船驛を新設する事となり來る十月一日より營業を開始する筈でこれによつて大連驛は純然たる旅客專用驛となつたわけである

白銀山爆擊の跡 廿三日撮す

飛行船にて 大洋横斷航空路
米國航空界で計畫

【ワシントン二十二日發】米國航空界で飛行船の發達を期する爲め政府の後援を仰がんとする運動が計畫されて居る、發案者はオハイオ州選出の民主黨議員ロバート、クロッサー氏で飛行船に依る大洋横斷航空路の經營者に航空郵便契約を許容せんとするもので、クロッサー氏は既に前議會で下院の協贊を得て居るが、米議會に提出協贊を得んとしてゐる、一方米國最大の飛行船會社グッド、イーヤ ツエツペリン會社の幹部は目下飛行船による大西、太平兩洋横斷航空路の開拓を研究中で新航空路決定準備を進めてゐる、ツエツペリン會社一役員は航空路開設につきクロッサー案が通過し法律として實施されゝば二ケ年內に飛行船が就航する運びになるだらうと語つた

けふ戰蹟を見學
旅順訪問のプロ決る

日本學童使節一行は二十五日旅順を訪問するがその日程は左の如し

午前九時關東廳を訪問、當日關東廳表玄關には林警務局長、日下內務局長、田邊學務課長外學務課員六名、米內山旅順民政署長、旅順第一、第二小學校、公學堂各代表學年兒童四百名外に敎師十五名が整列して歡迎する林長官代理歡迎の辭を述べ學童使節代表これに應へ次いでメッセージの發表あり、關東廳及び南滿敎育會より一行に記念品を贈呈、記念撮影後同九時四十分白玉山に參拜玉串を奉奠、同十時十分市役所訪問同五十分戰利品記念館見學同十一時東鷄冠山

同十一時五十分旅順第二小學校講堂において開催の午餐會に出席、午餐會には使節學童一行十五名、附添ひ五名、警務局長、內務局長、秘書課長代理、學務課長、民政署長、民政署庶務課長、市長、學務課員六名、旅順初等學校長五名、兒童代表二十名及び附添ひ五名の六十二名で林長官代理挨拶に次いで旅順側兒童總代歡迎の辭を述べ學童使節代表これに應へ、會食の後旅順側兒童の成績品を閱覽し午後一時三十分萬歲を三唱して第二小學校を出發し同二時二〇三高地同五十分旅順博物館、同三時半後樂園を見學して同四時第二小學校生百名附屬公學堂生百名園內に集つて兒童代表送別の辭を述べ兒童使節總代これに應へ同四時一行は見送りを受けつゝ同二十分水師營に到着、記念撮影を行ひ同五十分旅大北道路を經て大連に同六時二十分到着の豫定

ブアインズを 佐藤破る

【ロスアンゼルス二十二日發】目下當地に擧行中の太平洋南西岸庭球選手權大會本日のシングルス準々決勝にて我佐藤次郎選手は米國が世界隨一と誇る名選手エルスワース ブアインズをストレートで破り日本庭球界の爲めに萬丈の氣を吐いた

佐藤次郎 六―四 六―四 ブアインズ

この日佐藤選手は頗る調子良くブアインズ選手の猛烈な返球を更に火の出るやうに鮮かなプレスメントできめつけ完全にブアインズ選手をたゝきつけた、今回のトーナメントではブアインズ選手は米國選手の第一佐藤選手は外國選手中の第三位にシートされてゐた

決勝戰に出場
オースチン敗退

【ロサンゼルス二十三日發】太平洋及び西南諸州庭球選手權大會二十二日の準々決勝戰で世界庭球界の第一人者エルスワース・ブアインズをストレートで一蹴した佐藤次郎選手は二十三日準決勝で英國のナンバーワン・オースチン選手と對戰接戰後遂に之を破り決勝戰で英國の强豪ペリー選手と對戰する事となつた、スコアー左の如し

佐藤(次) 八―六 七―五 四―六 〇―六 六―一 オースチン

辯護士の洪水に 許可制度請願か
關東州辯護士會協議

雨後の筍のやうに新規の辯護士が開業し近く四十名を突破しようといふ情勢に關東州辯護士會では自衞上起つて新規辯護士の食ひ止め策を講ずることゝなり二十四日午前十一時三十分から大連地方法院內で齋藤、大內、木原、高橋、小野、相川、河內山の諸氏が會合第一回委員會を開いた

卽ち關東州では內地と異り辯護士開業は放任主義で有資格者は關東廳へ登錄さへすればその日からも開業出來るがこれを內地と同樣開業に對し許可制度に改正し續出を食ひ止めようとするにあり近く法規改正請願運動を起す筈である、なほ當日は滿洲司法制度に關する件、事件促進に關する件などを協議した

日滿兩國人間に 語學熱旺盛
奉天に敎授所激增

事變以來日滿關係の緊密に伴ひ奉天における日滿兩國人間に語學熱旺盛となり殊に滿洲國人の日本語研究熱は非常に盛んとなり本年三月以來日本語敎授所が激增してゐるが九月十五日迄に授業を開始せるもの左の十箇所である【奉天電話】

奉天日語學院(大南門)(生徒數男九一、女二二)
奉天日語學院(小西關)(男九八、女一二)
日滿書院(男二九)
日滿協會語學部(男六)
大同學院(男一八五、女一五)
滿洲日語學院(男四八、女一一)
日語協會語學部(男二三五、女一一)
奉天日語學校(男六〇、女五)
日滿語講習所(男七二)
奉天高等語學院(男一四〇、女九)

戎克風で沈沒

二十四日午前四時五十分頃石灰と土管を滿載した六十石積戎克船劉德順號(船長王昆金以下二名)は貔子窩へ向け西溜りを出港せんとした際突然の旋風のため帆の操縱の自由を失ひそのまゝ沈沒した、幸ひ乘組員は滿鐵小蒸汽に救助されたが貨物の損害約六十圓の見込

孝子烈婦調査

王道政治下の滿洲國では國民の五常三綱を重んじ醇風美俗を招致することに努力してゐるが、今回文敎部では全國各縣に對し孝子節婦の調査を命じたが將來これを表彰して民衆の模範と爲さしめんとする計畫である【奉天電話】

グ機上海着

【上海二十三日發】グロナウ機は二十三日午後一時十五分無事當地に到着した

皇靈祭遙拜式

大連忠靈塔では二十三日秋季皇靈祭につき大連市役所主催で午前十一時より忠靈塔で小祭を行つた

衞研學術集談會

滿鐵衞生研究所第五回學術集談會は二十六日午後一時より同所圖書室にて開かれるが演題は左の通り

一、家兎血糖量の測定誤差並に生理的變動の範圍に就て　鈴木俊一
二、飲食物特に醬油中の「ナフトール」檢出法に就て　奥田久司
三、諸種吸血昆虫による發疹熱及び發疹チブス病毒媒介に關する實驗的研究　河野通男
四、滿洲に於ける狂犬病の小實驗並に卑見　西川襄

寺內通の小火

二十三日午後六時四十四分市內寺內通四十五番地大工職緒野忠男方の炊事場より發火したが炊事場の壁約半坪を燒いたのみで同七時五分鎭火した、原因は炊事場煙突が不完全であつたため漏火したものである

安樂椅子

ダンスホールが出來た、正式のダンス敎師が認可された、流行は恐ろしいものでまるで大連はダンス狂時代だ、猫も杓子もと言へば失禮だが若い者はもとより中年組、老年組、ダンス亡國論を唱へた人でさへダンスの稽古に熱中するといふ騷ぎだ。

◇……

老年組の中でも遼東ホテル社長山田三平サン等は最も熱心なダンス黨といふから面白い、何でも近頃稽古し初めたさうだがアレでフォクストロット等も平氣だといふのだから老てますます盛んなりと言ふべしだ。

◇……

一日山田サンに「近頃御熱心だそうですね」と水を向けると「イヤ僕は健康のためにやつてゐるんだがあれはいゝもので社交上缺くべからざるものだ、しかし近頃ホール等でパートナーを選擇する場合配偶者の承諾を得ないで直接に婦人に申込む人を見受けるがアレは嫌いだ、外國などでは斷然そうした事はなく全く禮儀正しいものだよ」と一かどのダンス通、外國に五六年も居て本場で磨いたやうな口振り――バテタ山田サンはいつ洋行したのか知ら……

興味の多い 寫眞入懸賞發表

來る二十七日の滿洲日報朝刊三面と六面の二頁續きで、素晴らしい懸賞募集が發表されます、卽ち二頁中に十六店の廣告が掲載されその廣告の中に日本內地と滿洲各地で代表的に有名な名所、舊蹟十六ケ所の寫眞を入れてあり、その內から自分の好きなものを八つだけ選び出し、その寫眞名と商店名とを官製ハガキで解答することであります、これは、小學生の方も婦人の方も、地理で知られてゐる所ばかりだから頗る興味があるのです應募者には、抽籤の上で左の如き美事な賞品を贈呈しますから奮つて應募して下さい

賞品
一等 クローム側腕時計 一名
二等 高級萬年筆 五名
三等 高級牛乳石鹼 半打宛 十名
四等 萬古二色シャープペンシル 十五名以上

曙の鐘 (416)

倉田潮　河野想多書

旅藝人（六）

春木が闇にかくれて見てゐるとも知らない春子はそつと戸を開けながら

「泉井さん、泉井さん」

と聲を落して呼んだ。すると、庭を近づいて來た靴の音は立ち止まつて

「春ちやん」

と呼び返した。春子は安心して背後の戸をしめると、下駄の音を忍びやかに立てながら、男の方に近づいて行つた。

春木は逃げるにも逃げられないで、二三間先の闇に寄りそつてイんでゐる二人の人影を仕方なく見つめてゐた。泉井と呼ばれた男は判然とは解らないが、多分四十前後と思はれる洋服をつけた九州訛のある言葉つきの男だつたが、まだ春子と逢ふのは二度目か三度目らしく、しきりに甘く熱烈な戀の告白をしてから

るだけだつた。泉井と云ふ男はなほも言葉をついで

「では、二人で此の土地をたつのは何時にしませうね」

「私、雨があがつてから三日過ぎた日の夜がよいと思つてゐるの。それまでにあなたも十分よく仕度をして待つてゐて下さい。私もその日まで此處に逗留してゐますから」

「では、さうしませう」

「それまでは人に氣づかれるといけないですから、もう逢はないことにしませう。此の土地をたてば毎日でも逢へますからね。たゞ荷物を一度にはこび出すと、あなたの家の者に氣づかれるといけないなら、先に此の宿へ大切な物だけ持ちはこんでおくといゝわ。私、持つて行く物と云つて、お恥しいことですが殆どないですから、あなたの物を持ちはこぶ手傳ひをしてあげてもいゝと思ふの」

「春ちやん、ほんとにあんた、親を捨てゝも私と一緒になつてくれるんだらうね」

と云つた。春子は口笛を吹きながら男の言葉を聞いてゐたが、問には答へないで

「あんた、この間たのんだ御金、持つて來てくれて」

「持つて來ましたとも。丁度今日が會社の、電力會社の月給日でしたから」

と取出して渡す金を受けとつてから

「何うして私があんたと一緒にならずにゐられるでせうか。初戀でまた最後の戀人のあんたと別れて何で私が生きてゐられるでせう」

「私も、春ちやん、あなたの爲に妻も捨てます、子も捨てます」

と男は顫へ聲で云つた。聞いてゐる春木は春子の正體を見屆けたと思つたが、先程の若い來た憐んでも、妻子のある此の男を憐むことは出來なかつた。同時にかうした世渡りを續けて來たであらう春子を、食をつないで貰つてゐる爲めか、別に憎む氣も起らなかつた。孤兒として今迄いろ〳〵不當な待遇を受けて來たらしい彼女は、今かう云ふ方法で社會に向つて復讐をしてゐるのではないかと思はれ

「では、さうしませう」

と話し合ひながら二人は庭を横切つて納屋の方に近づいて行つた。春木はやう〳〵釋放されて家の内に這入つたが、いよ〳〵出ていよ〳〵怪しい春子の正體に、今は

聽き棄れずにはゐられなかつた。それにしても此の事實をそのまゝ柳澤千引と云ふ、あの村の青年に打ちあけて、諦めさせた方がよいか、それとも春子に柳澤の切なる戀を說いて、反省をうながした方がよいか。春木はつひに後の考へを實行して見ることにした。

次日は雨も晴れかかつて、春子の出立の日も迫つて來たと思つたので、春木は午後の食事をすました後で春子を庭に呼び、先づ柳澤が昨夜訪れて來たことを話して、本當に結婚する氣かと訊いて見た

柳壇

銀高　高橋月南選

銀高に支那要人の腹太り　小倉　中村士太郎

銀高へ豚饅頭は小さくなり　大連　赤井一村

銀高へ狂ひがちなる勝手もと　大連　厚田孤舟

銀高が祟つて下宿のお肴へり

銀高が當りルンペンのパンが賣れ　普蘭店　河本登志緒

銀高に財界論する晝休み

損と得二つをさせて銀上り　大連　森田蜂男

銀高へブルジョア連不氣なり　奉天　高見不二夫

銀高を口實にする支那商人　奉山線　佐藤天橋

銀高で滿洲官吏ほくそゑみ　大連　高橋竹雪

自句

銀高の果報一人でほくそ笑み

銀高に頓着のない割烹會

三越へ銀高といふ支那の客

滿日柳壇課題

▽題　「金権」「力」「殉職」
▽期　十月三日（各別紙の事）
▽句　各題五句（住所氏名明記）
▽賞　佳吟に薄賞を呈す
▽宛　大連市能登町高橋月南

大連 JQAK　九月二十五日

▲午後〇時十分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時十分　ニュース
（以下內地中繼、六時三十分）
▲名曲鑑賞（第十三回）實演富本節「園部祭文滿雪姫道行念玉蔓」解說石黑千花、淨瑠璃富本豐前、同豐千代、同豐賀都、三味線同都路、上調子同豐常
▲漫談「秋の夜話」悟道軒圓玉
▲音曲噺「浮世風呂」柳家枝太郎
（以下大連放送局より）
▲新日本音樂（一）ゐにし（唄横川勝重、琴定村ハル）（二）米搗きて（唄ソプラノ横川勝重、同アルト長濱絹子、琴原口列子）（三）雲のあなた（唄横川勝重、琴板橋勤子）（四）母の唄（唄横川勝重、琴志摩敏子）尺八木鐵義俊　補導福森勾當
▲ニュース
▲氣象通報

第八回　滿日特選碁戰

五先 先番　四段　小杉丁一
四段　小島春一

—【6】—

一〇一タ七　一〇二ト四
一〇三リ三　一〇四ヌ五
一〇五リ七　一〇六ソ十四
一〇七タ九　一〇八タ十
一〇九ヨ九　一一〇レ十
一一一カ十一
黑中押勝（二一一手終）

對局者の感想

黑曰く　黑一〇一では一〇六に曲る方が大きくもあるし、たしかでした

白曰く　白一〇二は惡手でした打つに一〇六と押へ込むのでした

白曰く　白一一〇は一〇二からの見損です無論（ヨの十）に押して行かねばならなかつた黑に一一一と打たれて此大石に眼形が無いとは轉卒至極さんさんでした

4
ソウダ
モウ一ペン
ネテ
ヒコーキ
モラツテ
コヤウ

セイ坊

マンニチ

清史

童話　二羽のうづら

久富榮次郎作

二羽のうづらが海の上を飛んでゐます。今までゐた北の國が、寒くなつたものですから、暖かい南の國へ行かうとしてゐるのです。

青い海は、どこまでもひろがつてゐます。いたづらもの丶波は、おもしろさうに踊り狂つてゐます。

二羽とも大分疲れてきました。今朝早く飛び立つてから、まだ一度も休みなしです。休まうにも海ばかりで休むところがありません

「もう一息だよ。元氣を出して飛ばうれ」

兄さんうづらが話しかけました

「うん、元氣を出すよ」

弟うづらは答へました。だがその聲にはいつもの力はありませんでした。

又しばらく飛びました。

空はよく晴れてゐました。ところどころに、白い雲がすい／＼流れてゐます。そしてその青空のまん中には、お日樣がきら／＼輝いてゐます。

のどがかはいて來ました。

「水がのみたいよ」

弟うづらが言ひました。

「だめだよ。あの水はさてもからくて、飮めないよ」

「まだ遠い」

「あゝもう少しだよ。我慢して飛ばうれ」

兄さんうづらはさういつて、バタバタと翅を動かしつゞけました

弟うづらは、うらめしさうに下の廣い海の水をながめながら、これもバタ／＼翅を動かしました。一寸でも翅を休めたら、あの意地悪な海が、大きな口をあけて、一口に呑んでしまうでせう。

二羽のうづらは飛びつゞけました。海と空ばかりの中を飛びつゞけました。時には何百といふ飛魚の群がザザッと波の上に飛び出して、びつくりすることもありました。又白い鴎が

「うづら君、休んでゆきたまへ。水の上は又かくべつだよ」

とからかひながら、キヤツ／＼と笑ふこともありました。

「兄さんまだ?」

疲れきつた弟うづらは、聞えないぐらゐの聲でさういひました。

「うん。もう少し」

兄さんうづらもさういつたゞけでした。翅は折れるやうに痛みだしましたし、からだは火のやうに熱くなりました。どうかすると目がクラ／＼して、どこをどう飛んでゐるやらわからぬこともありました。

「自分だつてやつと我慢して飛んでるんだもの。弟はきつと疲れきつてゐるだらう」

兄さんうづらは、さう思ひながら眼をうるませて弟うづらを見ました。

お日樣が波に沈むと、涼しい風がやつて來ました。

「もうすぐですよ。元氣を出してれ。それではさようなら」

さういつて二羽のうづらを慰めて、風はすぐに行つてしまひました。

「飛ばうれ。すぐだつてよ。死ぬまで飛ばうれ。きつさい、野原が待つてゐるよ。れ、きつさだよ」

兄さんうづらは、弟うづらを勵まして、幾千萬のお星樣にまもられながら、どこまでもどこまでも飛びつゞけました。

第十三回　こどもの考へもの

大威張で歩く　この人に變な所が……

みなさんこの寫眞をよくみてください、大へん威張つて歩いてゐるようですが、どこかに間違つたところがありますれ、わかつた方はハガキで來る十月二日までに大連市東公園町滿洲日報社「滿日日曜附錄」係あてにお答へ下さい、いつもの樣に二十名にご褒美を差上げます

第十一回の答は朝てす

みなさんは朝起きでニハトリの鳴くのを聞くとみえて今度のお答へはほとんどこの人が當つてゐましたので、籤をひいて、次の人々へご褒美をあげることにしました、沿線の方には直接お送りしますが大連市内の方には當籤のハガキを出しますから本社でそれとご褒美を引かへて下さい

×　　×

なほご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱はどうかお菓子やさんの支那事變の「慰問兵士を勞りませう」と書いた箱に入れて下さい

當籤者

▲旅順市司令町永長隆▲銚子富東街湧純夫▲瓦房店日山街安生百合子▲普蘭店福讀街西村澄夫▲奉天平安街椽木野雄▲撫順西五條宮地公子▲公主嶺敷島町小松三郞▲鐵嶺若竹町濱野昌江▲大連市淸水町寺田善▲大連市鳴鶴臺室岡健次郞▲大連市朝日町勝野貞行▲大連市聖德街大石實市菫町山本澈人▲大連市山手町北泉知己▲大連市淡路町中西久子▲大連市磐城町森岡英之輔▲大連沙河口下葭町小林伸雄▲大連市沙河口京町岡留ナテコ▲大連市須磨町谷津治男

手工　踊るタコやコルクの栓の犬君

けふは古いハガキと木の糸卷芯で出來る「踊タコ」とコルクの栓で出來る犬の手工をして遊びませう

をどりタコ

古いハガキを高さ二寸五分、幅三寸の長方形に切つて(甲圖)の樣に上と下に七八ケ所の切り込みを入れます、次に木のツヅミ形の糸卷芯をとり(乙圖)の樣に上緣の切り込みにノリをつけて糸卷芯の下の緣にはりつけますと八本の足のある圓筒が出來ます、そこで糸卷の中央にタコのカホをかきます

いまこのタコをうすい板か、お盆の上にのせて、左の手で水平に支へて、右の手で左手の手クビを打てば、タコはその板の上をおもしろおかしくをどりまわります

甲　乙　3寸　2寸5分

コルク栓の犬

ブドー酒あるひはビールのコルク栓をとつて、犬の胴にします、頭とシツポはボール紙で切りぬき、胴の前端と後端とに切り込みを入れてはめます、また足には四本のマッチの棒を圖の樣につけます、これで犬が出來ましたが、頭とシツポをかへるといろ／＼の動物が出來るわけです

少年鼓手　ジョニー・クレム

アメリカのこどもが一番すきな兵隊さん

アメリカの老將軍ジョニー・クレム少將は今年八十一回の誕生日のお祝ひをしましたが、まだなかなかの元氣でお友達やアメリカの子供から「シロウの少年鼓手」といふあだなで呼ばれてゐます、八十二歲の老少將に少年鼓手といふあだなはおかしいですが、これにはわけがあるのです、クレム少將は十歲のときから戰場に出ました、それはあの有名な南北戰爭のときでした、そのころ十歲であつたクレム君は戰爭に行きたくてしかたがなかつたので、たび／＼兵隊さんにして下さいといつて方々の兵營を步きまわりましたが、何しろあまり小さいのでことわられました

しかしクレム君は何時までも熱心にたのみましたので、とう／＼しまひには隊長さんたちも感心して少年鼓手にやとうことになりミシガン軍に入れました、たつた十歲のクレム君は軍服をきて大いばりで戰爭に出ましたが、とても勇敢でいつもミシガン軍の一番先頭にたつて勇ましく太鼓をたゝいてゐました、或るときなどはクレム君の軍帽に敵の彈丸が三發もあたつたこともありましたが不思議にカスリきず一つうけず、とう／＼「小ジヨニークレム」と呼ばれミシガン軍の人氣者になりました、そして間もなく一人前の鼓手になりました、その後米西戰爭やいろ／＼の戰爭にも出でとう／＼少將になり、今はニユーヨークに住んでゐますが

アメリカの子供に「一番すきな兵隊さんはだれだ」とたづれると皆な「少年鼓手ジョニー・クレム」だと答へるそうです

兩足のない水泳選手　ドウバー海峽を往復する

チヤールス・ジーベルマンは有名な足のない水泳選手です、昨年日本にも來ましたが最近ロンドンで發表しました、ジーベルマン君は兩方の足がないのですが、大變上手に泳ぎ、しかも大變早く泳ぎます今度のドウバー海峽横斷はなかなか大仕事です、それに一度の横斷ではなく、休みなしに往復するのだそうです、そして必ず七十時間の内にやつてしまうといつてゐるそうです、これにはさすがののびのびとしてゐるロンドンの人々もびつくりしてしまつたそうです

ケフノツグワ

ミナサンノウレシイノリモノ

ジドウシヤデス　クレイヨンデキレイニヌツテクダサイ

グワイコクカラ ミナサンヘ コンナ シヤシン ガ ツキマシタ

イギリス ノ ジヨージ五セイ ヘイカ ハ ヨツト ノ キヤウソウ ニ オハイリ ニナツテ ノリクミ ノ ヒトタチ ト イツシヨ ニ オハタラキ ニ ナリマシタ コレハ ソノ トキ ノ オシヤシン デス。

セカイ一シュウヒカウ ヲ オハツテ カエツテ クル ニユウシ ヲ デムカヘ ニ デタ アメリカ ノカイグンヒカウキ デス ナント イサマシイ デハ アリマセンカ

アメリカヒヨウ ミナミアメリカ ニ スンデ ヰマス ガ オハラ ガ スタ ト コウヤツテ バナナ ヲ トツテ タベルノデス ウラヤマシク アリマセン カ

アリクヒ コレ モ ミナミアメリカ ニ ヰル ドウブツ デス イマ アリ ヲ タクサン タベテ キモチ ヨサソウ ニ キノウヘ デ オヒルネ シテ ヰル トコロデス

オホトカゲ （イグアナ）ニホン ニ ハ チイサナ トカゲ シカ ヰ マセン ガ ミナミアメリカ ニハ コンナ オホキイ ノガ ヰルノデス

米國第一の 家族もち 八十六さいで 百二十八人

今年八十六で死んだアメリカのジエームス・チエストナットといふ人は百二十八人の子供やまごを持つてゐて、アメリカ第一の家族持ちだといはれてゐました、チエストナット爺さんは十一人の子供を持つてゐましたが、その十一人の子供から三十六人の子供、つまりお爺さんの孫が生れました、そしてその孫がまた子供を生みました日本でいふひいまごですが、それが七十五人生れました、そしてチエストナット爺さんが死ぬまでにひいまごの子供が又四人生れました、アメリカで生きてゐるうちに百二十八人の家族を持つた人はまだ一人もゐないそうですが、世界でもあまりないでせう

長さ八尺もある 電氣うなぎ 四百ボルトの電氣をおこし 人間をわけなく倒す

今ロンドンで一番人氣をあつめてゐるのはロンドン大水族館の電氣うなぎだそうです、この電氣うなぎは長さが八尺もあつて、しかもその四分の三、つまり六尺はシッポです、ですから、シッポの中にからだがあるといつた方がいい位ですが、この六尺のシッポの中で電氣がおこるのです、何か自分の敵が來ると電氣うなぎはすぐ電氣をおこすのですが、四百ボルト位の電氣はわけなく起り人間位は平氣で倒してしまひます、南アメリカのアマゾン河といふ大きな河にすんでゐる動物ですが、アマゾン河地方を旅する人は先づ馬を河の中におひ込んで電氣うなぎがゐるかゐないかをしらべてから河をわたるそうです

時間をまもらないと 罰金

伊勢の津といふ町にある銀行の組合では今度時間の勵行をはかるためにきびしい規則をつくり、この組合の人はどんな場合にでもこの規則に從はねばならぬことになりました、その規則とは、ただしい理由なしに時間に遲れた場合は一圓の罰金をとられるので、又組合の人が十人以上集まるやうな場合に遲れると十圓の罰金をとられることになつてゐます、そしてこの組合では、銀行に勤めてゐる人ばかりでなく、どんな人でも會に入るやうにすゝめてゐますが、このため人々が非常に時間を守るやうになつたそうです

大空に翻るエロとグロ

秋の大空にヘンポンと五層の高楼を遙かに抜いて翻へる彼女のスカート、いなせな浴衣等々……こゝもまたエログロ一束ありますけれど首吊つた多くの品々が夏物だけに涼風そよぐけふこのごろマダム連の心掛けのよさ？と思ふんです。——ヤマトホテル洗濯部にて▽

◁坊やたちもおつきあい

冬も間近かに衣縫ふ母は忙しいけれど、おばあちやんに抱かれた坊やたちはなかなか寝つきさうにもない、パパが歸つたら「おやまだ起きてゐるのか」と驚くでせう

秋やうやく酣に、どこの家庭でも夏物の始末冬の仕度に忙しい。夜を鳴き過すこほろぎにもなんとなく心せかれる思ひですネ、キヤメラに映つたせわしい秋の情景五つ六つ……題して「肩はいで裾つげ」といひます

紺屋の白エプロン

幾重にもほされた染物の間に挾まつて働くおばさんはなんと「紺屋の白袴」ならぬ白エプロンに白足袋なんです赤く染まらう、黒くならうとよけいなおせつかいは無用です。なんといつても今が書入れなんですから——大阪屋にて

ても情けない

ズラリッと並んだ姐さん達の手はなんと機械的に、急速度に、働くことよ、そして新らしいセル着が冬着がドンドン仕立てあげられてゆきます……でも情けない彼女らはお小用にも立てないんです——三越裁縫部にて▽

こたへもトンチンカン

△そつと忍びよつて失禮とは思ひながらパチリ……「やあ失禮いたしました」と挨拶すると不意を喰つた若奥さん「ありがたうございました」と應へもトンチンカン、だが「しんし」は手際よく次からつぎへ伸びてゆく……

◁天井の彼女

天井に並んだ美しい繪模樣、冬に備へるうら若い彼女たちの衣裳がそのまま秋の色をなしてゐる、染物やさんも書入れ時です。

今週の獻立

	朝	晝	晩
日	1トースト 2南瓜のバタ炒 3紅茶	親子飯 奈良漬	1小鯵鹽燒、筆生姜 2茄子のしぎ燒 3落芋清汁
月	1蕪の味噌汁 2切するめ照煮	煎り卵の花	1豚肉とキャベツの芥子和 2赤だし蜆汁、粉山椒
火	1青菜、油揚味噌汁 2納豆とき辛子	コンビーフ莢いんげんバタ炒	1糖醋鯛魚 2枝豆にんじんの白和
水	1鮭のトースト 2果物 3紅茶	梅干 燒海苔	1豆腐揚出しおろし大根 2里芋蛸そぼろ、甘煮おろし柚子
木	1短冊茄子味噌汁 2雜魚佃煮 3おろし大根	金平ごぼう 甘諸のかんろ煮	1芝海老、青豆、小蕪のクリーム煮 2鰯つみ入、みつば清汁
金	1豆腐白味噌汁 2茄子辛子漬 しゆんぎく細々 3うづら豆甘煮	粕漬鮭燒 蓮根甘酢	1牛肉玉葱のかき揚、おろし大根 2きうりの胡麻酢和
土	1わかめ味噌汁 2林檎おろし和 3半熟卵子	こんにやく、里芋 さつま揚の煮込でんがく	1グリンピース、スープ 2蟹のフライエッグス 3野菜サラダ（人參、じやが芋、グリンピース）

親子飯

▲材料（五人前）＝白米五合、鶏挽肉五十匁、卵子五個、青豆少々、味淋七勺、醤油五勺、酒五勺、鹽少々

▲方法＝これは普通の親子丼とは味も體裁も全く異つたものです 先づ鍋に味淋五勺、油五勺を煮立て鶏挽肉を入れて箸でかきまぜ、醤油五勺を入れて一寸煮て味をしみこませ鍋を下し肉だけ引上げます、白米はよく洗ひ鶏の煮汁と水を加へ水加減して炊き上げ鶏肉半分を混ぜます、卵子五個はよく割りほぐし砂糖、鹽、味淋、味の素にて味をつけ極細かく炒ります 青豆は鑵から出し熱湯を通し飯を丼又は皿に盛りその上に半分は鶏肉、半分は炒り卵子と云ふやうに盛り其上から青豆をばらばらと散らします

芝えび、青豆小蕪のクリーム煮

▲材料＝芝えび百五十匁、青豆二分の一鑵、小蕪十個、バター中一匙、メリケン粉一杯、牛乳一合五勺、スープ一合、鹽、胡椒

▲方法＝芝えびはよく洗つてさつと鹽茹でにし殻をとり、青豆は鑵から出してよく洗ひ、小蕪は適宜にきり軟かくゆでておきます 次に鍋にバターを溶かしメリケン粉を入れてこがさぬやうにいため牛乳とスープとを少しづつまぜて手早くかきまぜなめらかに軟かいホワイトソースが出來ましたら右の材料を全部入れ中火でとつぷりと煮込み鹽、胡椒で味をつけます

蟹フライエッグス

▲材料＝蟹の鑵詰中一個、卵子十個、鹽、胡椒、フライ油

▲方法＝蟹は生ならば鹽茹にして身を出し鑵詰ならば殻などの混りゐるものをよくとりのぞき身をほぐしおきます、フライ鍋に油を引き弱火にかけ黄味をこはさぬやうに卵をしづかに割りこみ黄味を形よく眞中におき白味の上に蟹をのせ軽く鹽胡椒して上から蓋をして蒸燒にします これを皿にうつしパセリを飾つてすゝめます

鮭のトースト

▲材料＝鮭鑵詰一個、食パン一斤半、マヨネーズソース、パセリ

▲方法先づマヨネーズソースをつくります（始終出てゐますから省きます）次に鮭は鑵から出し布にとり熱湯をさつとかけて臭みをぬき小骨をとりばらばらに身をほぐします、食パンは三分位に切りこんがりと兩面を燒いて片面にバターをぬりその上に鮭を一面に平にのせ、更にその上にマヨネーズソースをしぼり出し袋に入れてきれいにしぼり出し上からみぢんパセリをばらりとまきます、これを皿に三片程盛りパセリを飾つてすゝめます

伏勢に退路斷れて二千の倭寇が潰滅

六百年前の史跡を普蘭店に訪ふ　望海堝のはなし

金頂山眞武廟內の倭寇に關する碑

州內には

倭寇に關する遺跡が非常に澤山殘つてゐます、文献によれば金州衛(大體現在の州內)に七十三座の墩架を設け、更に州內各地に小城を設けて倭寇にそなへたさいはれてゐますが、現在でもこの墩架、小城は半くづれさなつて殘つてゐます、墩架さいふものは見張り臺や烽火臺のことで、何れにしても外敵の看守所であります、旅順線に乘つて大連から少し行きますさ右手に當つて石を積み上げたものが見えますがこれもその墩架の一つです、倭寇に關する從來の解釋は大變間違つてゐるやうです、支那の文献には日本邊民中、沿岸の鄙利に飫たらぬ者が、朝鮮沿海より山東遼東方面始め、南支方面まで抄掠しまわつた、これを倭寇さいふさ殘つてゐますが、これは勿論支那の文献ですから惡く書かれてゐるのは當然です、つまり一種の海賊さして取扱はれ、元來明初の頃から文献に現はれてゐます、我が國に於ても現在では大ていの人が倭寇さいへば支那沿岸を荒した日本の海賊の如く考へてゐる人が多いやうです然しその後各方面の權威者によつて調査された結果によりますさ

わが南朝

の遺臣達が國內に志を得ずして海に進出し外國へ行つたものが倭寇の中心人物で、倭寇が餘儀なくされた理由は目的地に就いて交易を行ひその意に滿たないさきに始めて非常手段を取つたさいふのが本當のやうです、しかも倭寇について慘虐な數々の話が殘つてゐますが、これは朝鮮、或は支那の本當の海賊が倭寇の名を借りて行つたものがその大部分のやうです、又本當の倭寇の中にも日本人の手先さして朝鮮人や支那人が相當加はつてをり、日本人の命令に反した慘虐な行爲も大分行つたやうです、そうして此等朝鮮人、支那人の行爲は全部眞實の倭寇の行爲さして誤り傳へられ、今日倭寇は日本の海賊の樣に信じられたものらしいのです

……×……

さて關東州內に殘つてゐる倭寇の遺跡ですが、このうちで最も大きく、又最も研究家に知られてゐるものは普蘭店管內亮甲店會王家店の望海堝です、この望海堝は德利形をした小城で、現在では研究家達によつて掘りかへされ、纔に外形がわかる程度で、たゞ烽火臺だけは割合完全に殘つてゐます、この烽火臺は歷史的に非常に有名なところで、歷史に殘つてゐるさころによれば望海堝並に近くの櫻桃園に於て倭寇二千餘人が全滅したところであります

それは明

(今から約六百年前)の永樂十七年の夏六月二千人の倭寇が朝鮮から大擧して來るさいふ知らせが金州衛の軍都督劉江の耳に入りました、これを知つた軍都督劉江は、直に管內七十三座の墩架に命じて警戒を嚴重にするさ共に、望海堝を中心に手兵の配備計畫をたてました、望海堝は假造りの小城ではありますが敵を眼下に見ることの出來るやうな高地にあるため地形からいへば最も有利なところであります、劉江の戰鬪準備が完全にできあがつた直後の或る夜、內報の通り二千餘人の倭寇が三十餘隻の船に分乘して普蘭店管內正明寺會の馬雄島に碇泊しました、海上にチラ〳〵さ見える灯影で倭寇の來たことを知つた劉軍では、直に烽火臺に信號の狼火を擧げて警戒につきましたが、一方倭寇の方でも金州衛附近の住民に全然交易の意志なく、それのみか既に戰鬪準備の出來てゐることを知つたので、曉を待つて一大決戰を行ふことになりました

幾月かの海上生活に髀肉の嘆を洩らしてゐた倭寇たちが、明日の戰ひをひかへて赤銅色の隆々たる腕に、思ひ思ひの得物を取つて脚を船緣にかけ、目差す陸上を睨んで立つた武者振りは、實に物凄いものであつたらうさ思はれます

拂曉から

倭寇は馬雄半島の北岸から上陸を開始しました、そして防禦軍の本據を一擧にして奪取すべく望海堝めざして殺到して來ました、しかし、あらかじめ倭寇の來ることを知つてゐた劉江軍に手ぬかりのあらう筈はありません、遼東志によれば――劉江親く全軍を指揮し、先づ倭寇の上陸に先だつて馬に充分の秣草を喰ましめ、兵は糧を取つて元氣を養つてゐました、更に劉都督の部下徐剛は一部隊を率ゐて伏兵さなり海岸近くの山かげに潛み、又百戸長姜隆は別働隊を率ゐて倭寇上陸後の倭船を襲擊すべく手配して同じく山かげに忍んでをり、旗さ號砲によつて行動をさるべく命ぜられてゐました、つまりこの伏兵は何れも倭寇の退路を遮斷するため、袋の鼠さして全滅せしめる計畫がたてられてゐたのですさあります、從つて防禦軍の作戰が如何に周到であつたかおわかりでせう

……×……

敵前上陸を敢行した倭寇軍は一氣に望海堝に向つて進んで來ました、戰鬪隊形は想像することが出來ませんが、戰鬪振に就いて記錄に現はれたところによるさ、毎隊三十人位で、隊の間隔を約一支里にさつて進み、法螺を吹いて相救援すさあります、又遼東志には倭寇直に堝(望海堝のこさ)下に迫る、一賊(多分指揮官のこさ)あり、貌甚だ醜惡、諸賊を率ゐて無人の境を入る……さありますから、倭寇の進擊はなか〳〵凄かつたものさ思へます、しかしこれは結局防備軍の作戰に陷つた結果さなりました、近づけるだけ近づけた防備軍は伏兵を發して、留守の倭船を燒き拂ひ完全に倭寇の退路を遮斷することに成功しました

……◇……

唯一の根據たる船隊を燒かれ退路を斷たれては、如何に突擊するのが隼の如く、その去るのが疾風の如しさ唱はれた倭寇も全く進退谷まりました、そうして一たん望海堝の下より退き、近くの櫻桃園の積堡に逃げ込みましたが、結局、劉江は卽ち軍を合してこれを圍み擒戮遺す所なし……さいふことになり、倭寇軍は全滅しました、この戰ひは辰より始まつて酉に至るさありますから、恰も今の午前八時に始まつて午後六時に及んだのであります、遼東志五卷の劉江傳には「生擒するもの八百五十七名、斬首するもの七百四十二級、後倭遂に絕す」さあり又、某書には「爲に蒼海紅に變じ、風腥さし」さのべてあります

望海堝の

位置は前南京書院長岩間德也氏が發見して亮甲店會金頂山眞武廟にある碑記によつて明かさなりましたが、眞實の倭寇最後の地さなつた櫻桃園は記錄がないため未だに判明してゐません、望海堝には有名な鳥井博士等もしば〳〵調査に行つてをり、又毎年研究家が大勢赴くそうですが、こゝからは又石器時代の遺物も澤山出るのでアマチュア研究家達は大喜びです、なほ遼東志には「後倭遂に絕す」さありますが、これは出駄羅目で、その後も倭寇は非常な勢力を南支方面にまで振ひ、最後には支那沿岸だけでは飽き足らず、更に驥足を南方に伸し、ヒリッピン群島、マラッカ海峽の邊まで襲つて「八幡船」或は「日本甲蝶」の名によつて世界の人々より恐れられ、海國男兒の意氣を遺憾なく發揮したものです。

【寫眞は望海堝堡內の烽火臺×印】

落語　ムチャ語

桂小文治

一年前

二十五日　ハルビンの邦人家屋に再度爆彈投下事件發生し、憲兵軍出動して警戒す▲香港の反日機運激化し終に日本人商店に闖入暴行し通行中の邦人を襲ひ、多數の邦人を虐殺し、市中は恰も無警察狀態さなる

二十六日　奉天の商工總會は學良の暴擧に反對し、二十年間の搾取に對する呪ひの叫びをあぐ▲午前中皇姑屯驛を發した北平行き列車は正午錦陽河驛附近で敗殘兵に襲擊され、外人六名の被害者始め死傷者六十餘名を出す

二十七日　八旅堡を敗殘兵約百名現はれ殺掠を行ふ▲中村大尉並びに井杉曹長の陸軍葬が午前九時より偕行社前廣場で行はれ、各宮家の御代拜に餘榮輝く

二十八日　外交部長王正廷は數百名の學生に家屋を包圍され毆打されて瀕死の重傷をうけ、同仁醫院に逃げ込む▲滿鐵ハルピン事務所技術員佐藤忠氏は東支南部線にて十九日來行方不明さなつてゐたが、一間堡驛附近で支那兵に慘殺されたこさ判明す、事變における滿鐵最初の犧牲者である

二十九日　吉林省熙治參謀長の吉林省獨立政府組織宣言發布されこれさ同時に黑龍江省、熱河省その他に於ても獨立宣言の準備をなす▲滿蒙時局につき陸海軍巨頭會議を陸相官邸に於て開き、重要會議を遂ぐ

三十日　南京政府中央政治會議に於て王正廷の辭職許され、その後任さして駐佛公使施肇基任命に決定▲田中鄭州領事、漢口に避難し來り、鄭州反日團が我が領事館に掲揚されてゐた日本國旗に對し盛んに發砲したる事實を傳へ、ために日本官民憤激す

十月一日　南京、上海方面の學生團並に支那兵が「打倒日本」「日本人を鏖殺せよ」さ叫び傍若無人の遊行をなす▲敗殘兵續々さ集結して奉天城近くに迫り再び物情騷然さなり、我が歩哨兵の傷くもの多し